

Gilgit 写本 *Larger Prajñāpāramitā* の翻刻研究

大乘経典思想研究会

(概要)

本研究は大乘仏教における最も重要なテキストの一つである大品系般若経のうち、古形を保ちながら未だ全体の研究がなされていない Gilgit 写本般若経 (Gilgit manuscript of the *Larger Prajñāpāramitā*) について、全体の transliteration の公開を中心とする総合的な解明を目指す。既に校訂のなされた大品系般若経のサンスクリットテキストにはネパール系『二万五千頌般若』があるが、後世の論書の影響を受けて構成が改変されており、完全に古形を留めているとは言い難い。然るに本研究において、Gilgit 写本般若経の全体像を解明することで、論書の影響を受けていない大品系般若経サンスクリット本が初めて明らかになる。そのことから、本研究の成果は、鳩摩羅什訳『摩訶般若波羅蜜経』(別名『大品般若経』)をはじめとする大品系般若経の漢訳諸本および『大品般若』を注釈対象とする『大智度論』の新たな研究基盤となろう。さらに本研究では、Gilgit 写本般若経の transliteration に際し、同経典と緊密な対応関係を有するサンスクリット本『十万頌般若』の並行箇所を提示し、チベット語訳『十万頌般若』デルゲ版・『大般若波羅蜜多経』初会のロケーションを記載することにより、拡大般若経の包括的研究を視野に入れる。本稿においては、Zacchetti [2005] の公開した箇所の後、竺法護訳第4品に相当する fol. 27v-37v の transliteration を提示する。

1. はじめに

般若経経典群は(1)基本的般若経、(2)発展的般若経、(3)密教系般若経に分類され、(1)基本的般若経はさらに拡大般若経と短縮形般若経に分けられる¹。係る括

¹ Komine et al. [2015] pp. 63-65 参照。

大般若経のうちでも基本となるのが、『八千頌般若』である。『八千頌般若』は早くからネパール系梵本の校訂がなされており、近年、紀元後1世紀頃と見られるガンダーラ語の同経典の古写本が発表され²、また最古の漢訳『道行般若経』の語彙集 (Karashima [2010])・校訂本 (Karashima [2011]) が出版されるなど、研究が進んでいるテキストであると言える。

一方、その『八千頌般若』と比しても、拡大般若経のうち最も仏教史において重要視されたのが、本研究において取り扱う『二万五千頌般若』である。そのことは、インド・チベットにおいて般若経の解釈学の根本となった『現觀莊嚴論』と、東アジアの仏教に多大な影響を与えた『大智度論』が、ともに『二万五千頌般若』の注釈書であることから明らかである。

然るに『二万五千頌般若』は、その重要性にも拘らず、未だ研究の充分に進んでいないテキストの一つでもある。Kimura [1986-2009] は同経典のネパール写本の校訂をなしたが、ネパール系『二万五千頌般若』は『現觀莊嚴論』に基づいて構成が改変されており、鳩摩羅什訳『摩訶般若波羅蜜経』(別名『大品般若経』)をはじめとする漢訳諸本および『大品般若経』を注釈対象とする『大智度論』には必ずしも対応していない。

この『二万五千頌般若』の系統のテキストのうちでも、サンスクリット本として最も重要なのが、本研究の対象とする Gilgit 写本般若経 (Gilgit manuscript of the *Larger Prajñāpāramitā*, 以下 LPG) である。LPG は 1931 年に Kashmir 近郊の Gilgit で発見された所謂 Gilgit 写本に含まれる般若経写本であり、奥書から7世紀の書写であることが知られる。従来、Conze によって、LPG は『一万八千頌般若』『二万五千頌般若』の非完本であると分類されてきた。ところが Zacchetti [2005] によって、別々のテキストと考えられてきたこれらの写本が、巨大な、同一の般若経テキストの写本であることが指摘された。さらに 2016 年、創価大学国際仏教学高等研究所より、ネパール系『二万五千頌般若』サンスクリット校訂本・チベット語訳・漢訳諸本の並行箇所のパラグラフを付した、当該写本の高精度の写真版 (Karashima et al. [2016]) が出版された。そのことにより、LPG の全体像が我々に明らかとなりつつある。

² Falk and Karashima [2012 and 2013] 参照。

それらの先学の成果に基づき、本研究では、LPG の transliteration の公開を行い、大品系般若経諸本の新たな研究基盤を構築する。

2. 写本の概略と先行研究³

Gilgit 写本には 3 種の般若経写本があり、National Archives of India において、まず 1 種はシリアルナンバー (A) 24, 25, 28, 後者 2 種は (B) 26, 27, 50 として保管されている。そのうち本研究の取り扱うのは、写真版の刊行された (A) である。当該写本は所謂 Gilgit/Bāmiyan type I (丸形グプタ文字) で書写されており、上記のように、奥書から 7 世紀の書写であることが解る⁴。また当初 307 folios から構成され、そのうち 10 folios が散逸していると指摘されている。また奥書には *Prajñāpāramitā* とのみ記されており、当該写本が諸本のうちどのテキストに近接しているのかは今後の課題となる。写本の folio 毎の状態については、Karashima et al. [2016] を参照されたい。

当該写本について、Conze [1974] は、fol. 187 verso 6 までを『二万五千頌般若』第 37 章とし、すぐに『一万八千頌般若』第 48 章が続いていると見做した。しかし実際には、Karashima et al. [2016] により、諸本の並行箇所を検討から、fol. 187 verso と 188 recto は、内容上切れ目なく連続していることが確認されている。

これまでになされた当該写本の transliteration は以下の通りである。即ち、folio 1-27r, 202-205, 218v-263, 265r6-308 が、順に Zacchetti [2005], Choong [2006], Conze [1962 and 1974] によってなされている。また、Karashima et al. [2016] において、fol.124v7-210 の蔡耀明氏による未発表の transliteration および、fol. 27v-124v7, 214 (?), 264-265r5 の玉井達士博士による未発表の transliteration が用いられたことが記されている。

3 以下、項目 2、3 の記述は Karashima et al. [2016] に基づく。

4 当該写本の奥書については von Hinüber [1980 and 2016] を参照。

3. ネパール系『二万五千頌般若』・漢訳・チベット語訳

および中央アジア梵文写本

上述のように、ネパール系『二万五千頌般若』は Kimura [1986-2009] によって校訂がなされているが、同『二万五千頌般若』は『現観莊嚴論』に基づいて構成が改変されている。

大品系般若経には以下の5種の漢訳がある：

- ①竺法護訳『光讚経』(286年)、②無叉羅訳『放光般若経』(291年)、③鳩摩羅什訳『摩訶般若波羅蜜多経』(403年)、④玄奘訳『大般若波羅蜜多経』第二会(663年)、⑤玄奘訳『大般若波羅蜜多経』第三会(663年)

これらの漢訳は当然乍ら『現観莊嚴論』の影響を受けておらず、古形を保っている。LPGの書写年代は④⑤の玄奘訳に近接している。写本全体にわたる漢訳諸本との比較は今後の課題となる。

また大品系般若経のチベット語訳には『二万五千頌般若』『一万八千頌般若』がある。同『二万五千頌般若』にはチベット大蔵経テンギユル所収本と同カンギユル所収本の2本があるが、そのうち、テンギユル所収本がネパール系『二万五千頌般若』に近いことが知られている。即ち、大品系般若経チベット語訳では、カンギユル所収本『二万五千頌般若』および『一万八千頌般若』が『現観莊嚴論』の影響を受けていない系統であると言える。これらのチベット語訳は未だ研究がなされておらず、本研究により、『現観莊嚴論』の影響を受けていない系統に属する大品系般若経のサンスクリット本が明らかにされることで、大品系般若経チベット語訳の研究基盤の確立が可能となる。

また、中央アジアからは、敦煌出土写本である Suzuki and Nagashima [2015] を始め、LPGと書写年代の近い般若経写本断片が多数出土している。それらの断片には大品系である『二万五千頌般若』『一万八千頌般若』が多数含まれていることが Zacchetti [2015] により指摘されている。本研究により、中央アジア写本に近い形を有するLPGの全体像が明らかになることで、中央アジア般若経写本研究の比較基準を提供し得る。

4. Gilgit 写本 *Larger Prajñāpāramitā* とチベット語訳との対応関係

それでは、LPG は、チベット語訳カンギル所収の『二万五千頌般若』と『一万八千頌般若』のうち、いずれかと一致（あるいは近似）するものなのであろうか⁵。本稿で扱った範囲の中から LPG fol.32r の一部をサンプルとして取り出し、同写本と両チベット語訳を比較したところ、同写本がチベット語訳『二万五千頌般若』と近似している箇所があることを確認した。それは「世尊は言った。『シャーラドヴァティープトラよ、六波羅蜜において行じている菩薩摩訶薩（ら）は、色〔……輪廻と涅槃〕について考えてはならない』⁶ という箇所であるが、経典はこの後つづけて識までの五蘊について言及し、さらにいくつかの法数を提示し、それらについて考えてはならない、と述べる。同箇所について、LPG、ネパール系『二万五千頌般若』、チベット語訳『二万五千頌般若』、同『一万八千頌般若』に示される法数を比較すると、これら四本で完全に一致するものはないことがわかる。それらを一覧表にすると p.8 以下の別表の通りである。なお、ここでは当該箇所の法数を便宜的に次のように分類しておく：

⁵ チベット語訳『十万頌般若』『二万五千頌般若』『一万八千頌般若』『一万頌般若』『八千頌般若』は9世紀前半に編纂された『デンカルマ』『パンタンマ』といった経録に記載がある。このことから、これらはチベット仏教前伝期には翻訳が完了していたことになる。なお、カンギル諸版においてこれら般若経の訳者に関する記載には異同がみられ、これら般若経がそれぞれ個別に翻訳されたものであろう点にも注意が必要である。また、ネパール系『二万五千頌般若』によく対応するチベット語訳はテンギルに『二万五千頌般若』として収められているものであるが、その奥書にはそれが後伝期にネパールのスヴァヤンブーにて翻訳されたものであると明記されている。

⁶ LPG 等の対応箇所は次の通りである。

LPG: bhagavān āha • [ya]dā Śāradvatiputra (bodhi)[sa]tvā mahāsattvā ṣaṣṭsu pāramitās(u) caranto rūpan na manyante • (LPG32r 1ff.)

PvsP(K): punar aparāṃ sāriputra bodhisattvo mahāsattvaḥ ṣaṣṭsu pāramitāsu caran na rūpaṃ manyate (Kimura 2007: 90, 12ff.)

PvsP(Tib.D): bcom ldan 'das kyis bka' stsal pa / nam byang chub sems dpa' sems dpa' chen po shes rab kyi pha rol du phyin pa la spyod pa'i tshes / gzugs la rlom sems med pa dang / (D[ka]69b5ff.)

AdsP(Tib.D): bcom ldan 'das kyis bka' stsal pa / shā ri'i bu 'di la byang chub sems dpa' sems dpa' chen po pha rol tu phyin pa drug la spyod pa gzugs la rlom sems mi byed pa dang / (D[ka]44a7ff.)
『十万頌般若』の対応箇所は次の通りである。

ŚsP(Gh): bhagavān āha / yadā bodhisattvā mahāsattvāḥ ṣaṣṭsu pāramitāsu caranto na rūpaṃ manyante (Ghosa 1913: 283, 6ff.)

ŚsP(Tib.D): bcom ldan 'das kyis bka' stsal pa / nam byang chub sems dpa' sems dpa' chen po shes rab kyi pha rol tu phyin pa la spyod pa'i tshes / gzugs la rlom sems myed pa dang / (D[ka]172a3ff.)

なお、LPG は舍利弗をシャーラドヴァティープトラと表記している。以上の例からはわからないが、LPG と同様にシャーラドヴァティープトラと表記するのは PvsP(Tib.D) と ŚsP(Gh) と ŚsP(Tib.D) である。PvsP(K) と AdsP(Tib.D) はシャーリプトラと表記する。

①五蘊、②十二処(a)、③六大、④十二処(b)、⑤十八界、⑥縁起、⑦六波羅蜜(a)、⑧空性、⑨四念処など、⑩四諦など、⑪六波羅蜜(b)、⑫如来の十力、四無所畏など、⑬預流果など、⑭独覚など、⑮輪廻と涅槃

詳細は表に示すが、例えば十二処を示す際、上記4種の經典間において、それを③六大の前に置くものと、③六大の後に置くものがある。そのため、ここでは②十二処(a)、④十二処(b)というように、(a)と(b)で表示している(別表中、特徴的な箇所には下線を付した)。

下のように比較してみると、最後が⑮輪廻と涅槃となるのがLPGとチベット語訳『二万五千頌般若』(PvsP <Tib.D)のみであることなどから、この箇所に関する限り両者が近似したテキストであることがわかる。ただし、以上の諸本のうち、上記の⑥縁起、⑧空性、⑩四諦などは、チベット語訳『二万五千頌般若』のみに見られる。このことから、以下の例に関する限り、LPGの発展形がチベット語訳『二万五千頌般若』であるように推定することが可能である。しかしながら、ここに示したのは写本全体からするとわずかな例にすぎない。LPGとチベット語訳『二万五千頌般若』、そして『一万八千頌般若』との対応関係に関する調査は、諸漢訳の他、『十万頌般若』も含め、拡大般若経の包括的研究という観点から今後も継続して行う必要がある。

5. 『十万頌般若』と Gilgit 写本 *Larger Prajñāpāramitā*

『十万頌般若』は大品系般若経を拡大させたテキストである。同經典は全体が4部に分けられ、そのうち、第1部がGhoṣa [1902-1914]により、第2部の第23章までがKimura [2009-2014]により校訂されている。係る『十万頌般若』は、成立が新しいにも拘らず、『現觀莊嚴論』の影響を受けておらず、ネパール系『二万五千頌般若』よりもLPGに近いことがZacchetti [2015]により指摘されている。

本研究ではZacchetti [2015]の指摘に基づき、LPGを『十万頌般若』と合わせて読み進めた。その結果、両テキストの対応関係が、構文・中期インド語形等の共通点を含む、非常に緊密なものであることが確認された。LPGは、ブラーフミー文字で記された写本として非常に保存状態は良いが、写本の上下

が欠落している箇所も散見される。本研究において、『十万頌般若』の並行箇所を確認することにより、欠落部分の正確な再構成が可能となった。

後述するように、本稿では、テキスト間の相互関係を確認できるよう、LPG の transliteration に『十万頌般若』およびネパール系『二万五千頌般若』の並行箇所を提示する。さらに LPG の folio 毎に、チベット語訳『十万頌般若』デルゲ版・『大般若波羅蜜多經』初会の並行箇所のロケーションを注記する。そのことにより、本研究は、未だ研究の十分になされていない『十万頌般若』を含む、拡大般若經の包括的研究の端緒となる。

6. 本稿の構成

本稿では Karashima et al. [2016] に倣い、LPG の写本 recto 或いは verso 毎に、諸本の並行箇所のロケーションとともに、写本の transliteration を提示する。ロケーション一覧については同 [2016] より転載している⁷。また当該写本との対照のために鳩摩羅什訳の並行箇所を提示し、併せて『十万頌般若』(Ghoṣa [1904-1914])、ネパール系『二万五千頌般若』(Kimura [1986-2009]) のサンسكريットテキストを並記している。なお Ghoṣa [1902-1914] のテキストは Göttingen Register of Electronic Texts in Indian Languages (GRETIL) より転載している。またチベット語訳『十万頌般若』デルゲ版・『大般若波羅蜜多經』初会の並行箇所のロケーションを注記する。

当該写本の fol. 1-27r 迄の transliteration をなした Zacchetti [2005] は竺法護訳『光讚經』第 1-3 品までの訳注研究であり、同書の翻刻箇所は竺法護訳の第 3 品迄に相当している。そのことから、本稿では、それに続く竺法護訳第 4 品相当箇所である fol. 27v-37v の transliteration を提示する。

7. 本研究会のメンバーおよび役割分担

本研究会は Karashima et al. [2016] の編著者・協力者を始めとする研究者を中心に構成されている。メンバーは以下の通りである：

- ・伊久間洋光 (総合仏教研究所研究員・研究会代表)

⁷ その為、略号表についても同様に Karashima et al. [2016] より転載している。

- ・長島潤道（本学准教授）
- ・玉井達士（一般社団法人セリンディア研究所代表理事）
- ・鈴木健太（北海道武蔵女子短期大学教授）
- ・庄司史生（立正大学准教授）
- ・宮崎展昌（鶴見大学仏教文化研究所准教授）
- ・大塚恵俊（本学非常勤講師）
- ・横山祐明（総合仏教研究所主任）
- ・名取玄喜（真言宗豊山派総合研究院宗学研究所研究員）
- ・木村美保（総合仏教研究所研究員）
- ・張美僑（国際仏教学大学院大学博士後期課程）
- ・児玉瑛子（大正大学大学院博士後期課程）

役割分担として、鈴木健太・宮崎展昌・張美僑の3名が鳩摩羅什訳並行箇所
の読み・句読点を提示し、鈴木氏が『大般若波羅蜜多經』初会のロケーション
を同定する。また庄司史生氏がチベット語訳『二万五千頌般若』『一万八千頌
般若』とLPGとの関係を検討し（項目4）、チベット語訳『十万頌般若』デル
ゲ版のロケーションを同定する。また玉井達士博士と伊久間が読みの提示・ス
クライバルエラー修正等を行い、定期研究会で写本プレートと合わせ全員で検
討している。

述べたように、本研究は Karashima et al. [2016] の成果の上に成り立っている。
故辛嶋静志教授を始め、同書に携わられた全ての方々に満腔の敬意を表す
ものである。

なお、本研究は JSPS 科研費 JP20H01185 の助成を受けている。

別表 Gilgit 写本と『二万五千頌般若』『一万八千頌般若』の法数の比較（LPG32r より）

	LPG	PvsP (K)	PvsP (Tib.D)	AdsP (Tib.D)
①五蘊	rūpan, vedanā, saṃjñā, saṃskāra,	rūpa, vedanā, saṃjñā, saṃskāra,	gzugs, tshor ba, 'du shes, 'du byed,	gzugs, tshor ba, 'du shes, 'du byed rnam,

	vijñāna	vijñāna	rnam par shes pa	rnam par shes pa
②十二処(a)	caḥsurūpa ~(yāvat) manodharma		mig dang gzugs, rna ba dang sgra, sna dang dri, lce dang ro, lus dang reg bya, yid dang chos	
③六大	[p]ṛthividhāt[u], ab[dh]ātu, tejobhātu, vāyudhātu, ākāśadhātu, vijñānadhātu	pṛthividhātu, abdhātu, tejobhātu, vāyudhātu, ākāśadhātu, vāyudhātu	sa'i khams, chu'i khams, me'i khams, rlung gi khams, nam mkha'i khams, rnam par shes pa'i khams	sa'i khams, chu'i khams, me'i khams, rlung gi khams, nam mkha'i khams, rnam par shes pa'i khams
④十二処(b)				mig dang gzugs, rna ba dang, sgra, sna dang, dri, lce dang, ro, lus dang, reg bya, yid dang, chos
⑤十八界	caḥsurdhātu, rūpadhātu, caḥsurvijñānadhātu, śrotradhātu, śab[d]adhātu, śrotravijñānadhātu, ghrāṇadhātu, gandhadhātu, ghrāṇavijñānadhātu, jihvādhātu, rasadhātu, jihvāvijñānadhātu, kāyadhātu, [s]praṣṭavyadhātu, kāyavijñānadhātu, manodhātu,	caḥsurdhātu, rūpadhātu, caḥsurvijñānadhātu, śrotradhātu, śabdadhātu, śrotravijñānadhātu, ghrāṇadhātu, gandhadhātu, ghrāṇavijñānadhātu, jihvādhātu, rasadhātu, jihvāvijñānadhātu, kāyadhātu, spraṣṭavyadhātu kāyavijñānadhātu, manodhātu,	mig gi khams, gzugs kyi khams, mig gi rnam par shes pa'i khams, rna ba'i khams, sgra'i khams, rna ba'i rnam par shes pa'i khams, sna'i khams, dri'i khams, sna'i rnam par shes pa'i khams, ice'i khams, ro'i khams, lce'i rnam par, shes pa'i khams,	mig gi khams, gzugs kyi khams, mig gi rnam par shes pa'i khams, rna ba'i khams, sgra'i khams, rna ba'i rnam par shes pa'i khams, sna'i khams. dri'i khams, sna'i rnam par shes pa'i khams, ice'i khams, ro'i khams, lce'i rnam par, shes pa'i khams,

	dharmadhātu, manovijñānadhātu	dharmadhātu, manovijñānadhātu	lus kyi khams, reg bya'i khams, lus kyi rnam par shes pa'i khams, yid kyi khams, chos kyi khams, yid kyi rnam par shes pa'i khams	lus kyi khams, reg bya'i khams, lus kyi rnam par shes pa'i khams, yid kyi khams, chos kyi khams, yid kyi rnam par shes pa'i khams
⑥縁起			rten cing 'brel par 'byung ba	
⑦六波羅蜜 (a)	dāna, śīla, kṣānti, vīrya, dhyāna, prajñā		sbyin pa'i pha rol tu phyin pa, tshul khrims kyi pha rol du phyin pa, bzod pa'i pha rol du phyin pa, brtson 'grus kyi pha rol du phyin pa bsam gtan gyi pha rol tu phyin pa, shes rab kyi pha rol du phyin pa	
⑧空性			<u>nang stong pa</u> <u>nyid,</u> <u>dngos po med</u> <u>pa'i ngo bo nyid</u> <u>stong pa nyid</u>	
⑨四念処 など	catvāri smṛtyupasthānāni, ~ (yāvat) āryaṣṭāṅgaṃ mārgaṃ	smṛtyupasthānāni, samyakprahāṇāni, ṛddhipādān, indriyāṇi, balāni, bodhyaṅgāni, mārgaṃ	dran pa nye bar gzhag pa bzhi, yang dag par spong ba bzhi, rdzu 'phrul gyi rkang pa bzhi, dbang po lnga, stobs lnga,	dran pa nye bar gzhag pa, yang dag par spong ba rdzu 'phrul gyi rkang pa, dbang po, stobs,

			byang chub kyi yan lag bdun, 'phags pa'i lam yan lag brgyad pa	byang chub kyi yan lag, lan rnam
⑩四諦など			'phags pa'i bden pa bzhi, bsam gtan bzhi, tshad med pa bzhi, gzugs med pa'i snyoms par 'jug pa bzhi, rnam par thar ba brgyad, mthar gyis gnas pa'i snyoms par 'jug pa dgu, stong pa nyid, mtshan ma med pa, smon pa med pa, mngon par shes pa rnam, ting nge 'dzin rnam, gzungs kyi sgo rnam	
⑪六波羅蜜 (b)		dānapāramitā, śīlapāramitā, kṣāntipāramitā, vīryapāramitā, dhyānapāramitā, prajñāpāramitā		sbyin pa'i pha rol tu phyin pa, tshul khriṃs dang, bzod pa dang, brtson 'grus dang, bsam gtan dang, shes rab kyi pha rol tu phyin pa
⑫如来の十 力、四無所	daśa tathāgatabalāni, catvāri vaiśāradyaṇi,	vaiśāradyaṇi, pratiṣaṃvidā,	de bzhin gshegs pa'i stobs bcu,	de bzhin gshegs pa'i stobs bcu,

畏など	catasra pratisaṃvido, a[ṣṭ]i(ā)daśā(ṃ)veṇik- ān buddhadharmān	daśatathāgatabalāni, aṣṭādaśāveṇikān buddhadharmān	mi 'jigs pa bzhi, so so yang dag par rig pa bzhi, <u>byams pa chen</u> po, <u>snying rje chen</u> po, sangs rgyas kyi chos ma 'dres pa bcwo brgyad	mi 'jigs pa bzhi, so so yang dag par rig pa bzhi, sangs rgyas kyi chos ma 'dres pa bcwa brgyad
⑬ 預流果など	srotāpattiphala, ~ (yāvat) arhatva	srotaāpattiphala, sakṛdāgamiphala, anāgāmiphala, arhattva	rgyun tu zhugs pa'i 'bras bu, lan cig phyir 'ong ba'i 'bras bu, phyir mi 'ong ba'i 'bras bu, dgra bcom pa nyid	rgyun tu zhugs pa'i 'bras bu, lan cig phyir 'ong ba'i 'bras bu, phyir mi 'ong ba'i 'bras bu, dgra bcom pa nyid
⑭ 独覚など	pratyekabodhiṃ, anuttarāṃ samyaksaṃbodhi(ṃ)	pratyekabodhiṃ, bodhisattvaṃ mahāsattvaṃ, anuttarāṃ samyaksaṃbodhiṃ	rang byang chub, <u>lam gyi rnam pa</u> <u>shes pa nyid,</u> bla na med pa yang dag par rdzogs pa'i byang chub	rang byang chub, <u>byang chub sems</u> <u>dpa'</u> bla na med pa yang dag par rdzogs pa'i byang chub
⑮ 輪廻と涅槃	samsāra, ni[rv](ā)ṇa		'khor ba, mya ngan las 'das pa	

SYMBOLS USED IN THE TRANSLITERATION

- + lost *akṣara*
- () restored *akṣara*
- [] damaged *akṣara*
- <> omitted *akṣara*
- <<>> interlinear correction
- { } superfluous *akṣara* or part of it
- { { } cancelled by correction mark
- .. illegible *akṣara*
- . single element thereof
- erased *akṣara*(s), e.g. *viñña*
- /// leaf broken off here
- | *daṇḍa*
- || double *daṇḍa*
- punctuation mark
- * *virāma*
- ' *avagraha*

BIBLIOGRAPHY, ABBREVIATIONS AND SIGNS

β = In AdsP (Tib.S) *ga*, there are two folios which are numbered 152. The first one is indicated as 152 α and the second one as 152 β .

Bapat, P. V.

1949 "Another valuable collection of Buddhist Sanskrit Manuscripts", in:
Annals of the Bhandarkar Oriental Institute (Poona) 30, pp. 241–
 253.

BLSF = *Buddhist Manuscripts from Central Asia: The British Library Sanskrit Fragments*, editors-in-chief, Seishi Karashima and Klaus Wille,

(122)

Tokyo, vol. I (2006), vol. II (2009), vol. III (2015): International Research Institute for Advanced Buddhology, Soka University.

BMSC = *Manuscripts in the Schøyen Collection: Buddhist Manuscripts*, vol. I (2000), vol. II (2002), vol. III (2006), ed. Jens Braarvig et al., Oslo: Hermes Publishing.

Choong, Yoke Meei

2006 *Zum Problem der Leerheit (śūnyatā) in der Prajñāpāramitā*, Frankfurt: Peter Lang (Europäische Hochschulschriften).

Conze, Edward

1962 *The Gilgit Manuscript of the Aṣṭādaśasāhasrikāprajñāpāramitā: Chapters 55 to 70 Corresponding to the 5th Abhisamaya*, edited and translated, Roma: Istituto Italiano per il Medio ed Estremo Oriente (SOR 26).

1974 *The Gilgit Manuscript of the Aṣṭādaśasāhasrikāprajñāpāramitā: Chapters 70 to 82 Corresponding to the 6th, 7th, and 8th Abhisamayās*, edited and translated, Roma: Istituto Italiano per il Medio ed Estremo Oriente, 1974 (SOR 46).

1978 *The Prajñāpāramitā Literature*, 2nd ed., rev. and enl., Tokyo: The Reiyukai (Bibliographia Philologica Buddhica Series Maior, I).

Dutt, Nalinaksha

1934 *Pañcaviṃśatisāhasrikā Prajñāpāramitā*, London: Luzac (Calcutta Oriental Series, no. 28).

1959 *Gilgit Manuscripts*, vol. 4, Calcutta, Srinagar; Delhi 2 1984: Sri Satguru Publications.

FE = Raghu Vira and Lokesh Chandra, *Gilgit Buddhist Manuscripts* (Facsimile Edition), 10 pts., New Delhi 1959–1974 (Śata Piṭaka Series 10).

FE (re) = Raghu Vira and Lokesh Chandra, *Gilgit Buddhist Manuscripts*, revised and enlarged compact facsimile edition, 3 vols, Delhi 1995: Sri Satguru Publications (Bibliotheca Indo-Buddhica Series 150–152).

Falk, Harry and Seishi Karashima

2012 “A first-century *Prajñāpāramitā* manuscript from Gandhāra – *parivarta* 1 (Text from the Split Collection 1)”, in: *Annual Report of The International Research Institute for Advanced Buddhology at Soka University*, vol. XV, pp. 19–61.

2013 “A first-century *Prajñāpāramitā* manuscript from Gandhāra – *parivarta* 5 (Text from the Split Collection 2)”, *ibid.* 97–169.

Hinüber, Oskar von

1980 “Die Kolophone der Gilgit Handschriften”, in: *Studien zur Indologie und Iranistik* 5/6: 49–82 = 2009: 688–721.

2004 *Die Palola Śāhis: Ihre Steininschriften, Inschriften auf Bronzen, Handschriftenkolophone und Schutzzauber: Materialien zur Geschichte von Gilgit und Chilas*, Mainz: Philipp von Zabern (Antiquities of Northern Pakistan, Band 5).

2009 *Kleine Schriften*, hrsg. von Harry Falk und Walter Slaje, 2 Bde, Wiesbaden 2009: Harrassowitz (Glasenapp-Stiftung 47).

2014 “The Gilgit Manuscripts: An Ancient Buddhist Library in Modern Research”, in: *From Birch Bark to Digital Data: Recent Advances in Buddhist Manuscript Research: Papers Presented at the Conference Indic Buddhist Manuscripts: the State of the Field*, Stanford, June 15 – 19, 2009, ed. Paul Harrison and Jens-Uwe Hartmann, Wien: Verlag der Österreichischen Akademie der Wissenschaften (Denkschriften / Oesterreichische Akademie der Wissenschaften, Philosophisch-Historische Klasse 460) (Beiträge zur Kultur- und Geistesgeschichte Asiens, 80), pp. 79–135.

2016 “Names and Titles in the Colophon of the ‘Larger *Prajñāpāramitā*’ from Gilgit [5 figures]”, in: *Annual Report of The International Research Institute for Advanced Buddhology at Soka University*, vol. XX, pp. 129–138.

Karasima, Seisih

2010 *A Glossary of Lokakṣema's Translation of the Aṣṭasāhasrikā Prajñāpāramitā* 道行般若經詞典, Tokyo: The International Research Institute for Advanced Buddhology at Soka University (Bibliotheca Philologica et Philosophica Buddhica XI).

2011 *A Critical Edition of Lokakṣema's Translation of the Aṣṭasāhasrikā Prajñāpāramitā* 道行般若經校注, Tokyo: International Research Institute for Advanced Buddhology, Soka University (Bibliotheca Philologica et Philosophica Buddhica XII).

Karashima, Seishi, Youngjin Lee, Jundo Nagashima, Fumio Shoji, Kenta Suzuki, Ye Shaoyong and Stefano Zacchetti

2016 *Mahāyāna Texts: Prajñāpāramitā Texts* (1), Tokyo: The National Archives of India, New Delhi and The International Research Institute for Advanced Buddhology at Soka University, Tokyo (Gilgit Manuscripts in the National Archives of India: Facsimile Edition, vol. II.1).

KT = Harold Walter Bailey, *Khotanese Texts*, 5 vols, Cambridge 1945–1963: Cambridge University Press; repr. Cambridge 1969, 1980.

Komine, Yagen 小峰弥彦, Yugen Katsuzaki 勝崎裕彦 and Shogo Watanabe 渡辺章悟

2015 *Hannyakyō Taizen* 般若經大全, Tokyo: Shunjū sha 春秋社.

Matsunami, Seiren

1965 *A Catalogue of the Sanskrit Manuscripts in the Tokyo University Library*, Tokyo: Suzuki Research Foundation.

Sferra, Francesco

2008 *Sanskrit Texts from Giuseppe Tucci's Collection*, Part I, Roma: Istituto Italiano per il Medio ed Estremo Oriente (SOR 104; Manuscripta Buddhica, vol. I).

SOR = *Serie Orientale Roma*, Roma

ŚsP (Gh) = *Śatasāhasrikā Prajñāpāramitā*, ed. Ghoṣa, P., Calcutta, 1902–1914 (Bibliotheca Indica).

ŚsP (K) = *Śatasāhasrikā Prajñāpāramitā*, ed. Takayasu Kimura, 4 vols, Tokyo 2009–2014: Sankibō Busshorin, II 1–II 23.

ŚsP (Tib.D) = Tibetan translation of the *Śatasāhasrikā Prajñāpāramitā*, the Derge block-print edition of the Kanjur, sher phyin, Tohoku, no. 8, ka 1b1-394a7, kha 1b1-402a7, ga 1b1-394a4, nga 1b1-381a7, ca 1b1-385a5, cha 1b1-382a7, ja 1b1-398a7, nya 1b1-399a7, ta 1b1-384a7, tha 1b1-387a7, da 1b1-411a7, a 1b1-395a6.

Suzuki, Kenta and Jundo Nagashima

2015 “The Dunhuang Manuscript of the *Larger Prajñāpāramitā*”, in: BLSF III.2, pp. 593–821.

T = *Taishō Shinshū Daizōkyō* 大正新脩大藏經, ed. Junjirō Takakusu 高楠順次郎, Kaikyoku Watanabe 渡邊海旭, 100 vols., Tokyo 1924–1934.

Tib (Pk) = *The Tibetan Tripiṭaka: Peking Edition* 影印北京版西藏大藏經, ed. Daisetz T. Suzuki, 168 vols., repr. under the Supervision of Otani University, Kyoto, Tokyo 1955–1961: Tibetan Tripitaka Research Institute.

Zacchetti, Stefano

2005 *In Praise of the Light: A Critical Synoptic Edition with an Annotated Translation of Chapters 1–3 of Dharmarakṣa’s Guang zan jing* 光讚經: *Being the Earliest Chinese Translation of the Larger Prajñāpāramitā*, Tokyo: International Research Institute for Advanced Buddhism, Soka University (Bibliotheca Philologica et Philosophica Buddhica, 8).

2015 “*Prajñāpāramitā Sūtras*”, in: *Brill’s Encyclopedia of Buddhism: Literature and Languages (Handbook of Oriental Studies)*, ed. Jonathan A. Silk et al., Leiden: Brill, pp. 171–209.

Abbreviations for the *Larger Prajñāpāramitā*

LPG = Gilgit manuscript of the *Larger Prajñāpāramitā* reproduced in this Karashima [2015]

Cz = Conze 1974b

Dhr = Dharmarakṣa's Chinese translation of the *Larger Prajñāpāramitā*, namely the *Guangzan jing* 光讚經 (286 C.E.), T. 8, no. 222, 147–216.

Mo = Mokṣala's Chinese translation of the *Larger Prajñāpāramitā*, namely the *Fanguang Banre jing* 放光般若經 (291 C.E.), T. 8, no. 221, 1–146.

Kj = Kumārajīva's Chinese translation of the *Larger Prajñāpāramitā*, namely the *Mohe Banre Boluomi jing* 摩訶般若波羅蜜經 (404 C.E.), T. 8, no. 223, 217–424.

Xz (I) = Xuanzang's Chinese translation of the *Larger Prajñāpāramitā*, namely the *Da Banre Boluomiduo jing, di erhui* 大般若波羅蜜多經, 初會 (660–663 C.E.), T. 5-6, no. 220,

Xz (II) = Xuanzang's Chinese translation of the *Larger Prajñāpāramitā*, namely the *Da Banre Boluomiduo jing, di erhui* 大般若波羅蜜多經, 第二會 (660–663 C.E.), T. 7, no. 220, 1–426.

Xz (III) = Xuanzang's Chinese translation of the *Larger Prajñāpāramitā*, namely the *Da Banre Boluomiduo jing, di sanhui* 大般若波羅蜜多經, 第三會 (660–663 C.E.), T. 7, no. 220, 427–761.

PvsP (K) = *Pañcaviṃśatisāhasrikā Prajñāpāramitā*, ed. Takayasu Kimura, 6 vols, Tokyo 1986–2009: Sankibō Busshorin.I 1–VIII 179

PvsP (D) = *Pañcaviṃśatisāhasrikā Prajñāpāramitā*, ed. Nalinaksha Dutt, London 1934; Luzac (Calcutta Oriental Series, no. 28).

AdsP (Tib.U) = Tibetan translation of the *Aṣṭādaśasāhasrikā Prajñāpāramitā*, the Ulaanbaatar manuscript version of the Kanjur, sher phyin, no. 11, ka 1b1-352a8, kha 1b1–382a7, ga 1b1–360a8.

AdsP (Tib.S) = Tibetan translation of the *Aṣṭādaśasāhasrikā Prajñāpāramitā*,

the Stog Palace manuscript version of the Kanjur, no. 13, ka 1b1-382a7, kha 1b1-399a4, ga 1b1-392a7.

AdsP (Tib.Pk) = Tibetan translation of the *Aṣṭādaśasāhasrikā Prajñāpāramitā*, the Peking block-print edition of the Kanjur, vol. 19, 205-318, vol. 20, 1-205, sher phyin, ni 1b1-282a8, pi 1b1-281a8, phi 1b1-223b8.

AdsP (Tib.D) = Tibetan translation of the *Aṣṭādaśasāhasrikā Prajñāpāramitā*, the Derge block-print edition of the Kanjur, sher phyin, Tohoku, no. 10, ka 1b1-300a7, kha 1b1-304a7, ga 1b1-206a7.

PvsP (Tib.U) = Tibetan translation of the *Pañcaviṃśatisāhasrikā Prajñāpāramitā*, the Ulaanbaatar manuscript version of the Kanjur, sher phyin, no. 10, ka 1b1-364a8, kha 1b1-353a8, ga 1b1-383a7, nga 1b1-362a7.

PvsP (Tib.S) = Tibetan translation of the *Pañcaviṃśatisāhasrikā Prajñāpāramitā*, the Stog Palace manuscript version of the Kanjur, no. 12, ka 1b1-403a7, kha 1b1-381a7, ga 1b1-430a7, nga 1b1-394a7.

PvsP (Tib.Pk) = Tibetan translation of the *Pañcaviṃśatisāhasrikā Prajñāpāramitā*, the Peking block-print edition of the Kanjur, vol. 18, 39-323, vol. 19, 1-202, sher phyin, nyi 1b1-300a6, ti 1b1-311a4, thi 1b1-312a8, di 1b1-282a7.

PvsP (Tib.D) = Tibetan translation of the *Pañcaviṃśatisāhasrikā Prajñāpāramitā*, the Derge block-print edition of the Kanjur, sher phyin, Tohoku, no. 9, ka 1b1-382a4, kha 1b1-393a6, ga 1b1-381a5.

IOL San 1492 = Suzuki / Nagashima 2015

Choong = Choong 2006

(128)

(LPG 27v) ⁸Dhr 155c27-156a21; Mo 7b5-b-1; Kj 225a22-b14; Xz(II) 17c22-18a27; Xz(III)439a26-b24; PvsP(K) I 79.28-81.5; PvsP(D) 60.2-61.15; AdsP(Tib. U) ka 50a3-51a3; AdsP(Tib.S) ka 53a6-54b2; AdsP(Tib.Pk) ni 32b3-33a7; AdsP(Tib.D) ka 37a1-b5; PvsP(Tib.U) ka 72a7-73a6; PvsP(Tib.S) ka 80a2-81a2; PvsP(Tib.Pk) nyi 62b6-63b3; PvsP(Tib.D) ka 61a6-62a2

na vikṣepacittam na dausprajñacittam utpādayati |

1 evam ukte āyūṣmāc chāradvatīputro bhagavantam etad avocat* yaḥ punar bhagavan bodhi-

2 satvo mahāsatvo (')nena prajñāpāramitāyogena viharati • sa kutaś cyavitvehopapanna iha {ś}cyutvā kuhopapatsyate • bhagavān āha • yaḥ śāradvatīputra bodhisatvo

3 mahāsatvo (')nena prajñāpāramitāyogena viharati • satyebhyo buddhakṣettyaś⁹ cyutveh[o]papanno veditavyaḥ tuṣitebhyo vā devanikāyebhyaś cyutvehopapanno • manuṣyebhyo vā

4 {ś}cyutvehopapanno veditavyaḥ tatra śāradvatīputra yo (')yaṃ bodhisatvo mahāsatvo (')nyebhyo buddhakṣetrebhyo {ś}cyutvehopapannaḥ eṣa kṣipram imaṃ yogaṃ samāpadya-

5 te yad uta prajñāpāramitāyogaṃ asya jātivyativṛttasyāmī gaṃbhīrā dharmā āmukhibhavanti • paścāt prajñāpāramitāyogaṃ samāpadyate • || yatra ya-

6 tra buddhakṣetreṣu tathāgatā arhantaḥ samyaksambuddhās tiṣṭhanti yāpayanti tatropapadyate • || tāṃś ca tathāgatān arhataḥ samyak-sambuddhān ārāgayanti • asti

7 khalu punaḥ śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvā ye tuṣitebhyo devanikāyebhya{h}ś cyutvehopapannaḥ ekajātipratibaddhās teṣā{m}m

⁸ Following Zacchetti[2005], p. 63 end. ŚsP(Gh) pp. 266-267; ŚsP(Tib.D) ka 160a5-161a2; Xz(I) 37b14-c13.

⁹ buddhakṣettyaś: *Read* buddhakṣetrebhyaś.

avipranaṣṭā¹⁰ bhavanti

8 ṣaṭ pāramitā atrāgatās ca bhavanti sarvadhāraṇīsamādhimukhāni • ||
yaḥ punaḥ śāradvatīputra bodhisatvo mahāsatvo manuṣyebhyaś cyutvā
manuṣyā[nā]m eva

9 sahabhāgatāyai upapadyate • asya bodhisatvasya mahāsatvasya
avaivartikaṃ bodhisatvaṃ mahāsatvaṃ sthāpayitvā dhanvānīndriyāṇi
bhavanti na ca kṣipraṃ

10 prajñāpāramitāyogaṃ samāpadyate • na cāsya dhāraṇīmukhāny
āmukhībhavaṃti • na samādhimukhāni • ya{h}t punaḥ śāradvatīputraivaṃ
vadasi yo (')yaṃ bodhisa-

11 tvo mahāsatva imaṃ prajñāpāramitāyogaṃ samāpadyate • sa itaś cyutaḥ
kuhopapatsyata iti sa śāradvatīputra bodhisatvo mahāsatvo ito vu-¹¹

12 ddhakṣetrā cyuto buddhakṣetrād buddhakṣetraṃ saṃkramaṣyati yatra
buddhā bhagavantas tiṣṭhaṃti yāpayāṃti • na ca kadācid buddhair
bhagavadbhir avirahito bhaviṣyati¹² • a-

PvsP(K)

na vikṣiptacittam utpādayati, na dauṣprajñācittam utpādayati.

iti dharmaratnāvavādaḥ

*evam ukte āyuṣmān śāriputro bhagavantam etad avocat: yo bhagavan
bodhisattvo 'nena prajñāpāramitāvihāreṇa viharati sa kutaś cyuta
ihopapadyate, ito vā cyutaḥ kutropapatsyate?*

*evam ukte bhagavān āyuṣmantaṃ śāriputram etad avocat: yaḥ śāriputra
bodhisattvo mahāsatvo 'nena prajñāpāramitāvihāreṇa viharati sa itaś cyuta
ihaiva buddhakṣetre upapadyate, anyebhyo vā buddhakṣetrebhyaś cyutas
tuṣitebhyo vā devebhyaś cyuta ihopapadyate.*

¹⁰ avipranaṣṭā: PvsP(K): avipramuṣitāḥ.

¹¹ vu: *Read* bu.

¹² na ca kadācid buddhair bhagavadbhir avirahito bhaviṣyati: PvsP(K): na kadācid
buddhavirahito bhaviṣyati.

(130)

iti bodhisattvo 'ṣṭamakaḥ

tatra śāriputra yo 'yaṃ bodhisattvo mahāsattvo manuṣyebhya eva cyutvā manuṣyāṇām eva sabhāgatāyām upapadyate, tasya bodhisattvasya mahāsattvasyāvīnīvartanīyān bodhisattvān mahāsattvān sthāpayitvā dhanvānīndriyāṇi bhavanti, na ca kṣipraṃ prajñāpāramitāyogaṃ samāpadyate, na cāsya dhāraṇīmukham abhimukhībhavati na ca samādhimukham,

yat punaḥ śāriputra evaṃ vadasi, yo bhagavan bodhisattvo mahāsattvaimaṃ prajñāpāramitāyogaṃ samāpadyate sa itaś cyutaḥ kutropapadyata iti, yaḥ śāriputra bodhisattvo mahāsattva imaṃ prajñāpāramitāyogaṃ samāpadyate, sa ito buddhakṣetrāc cyutaḥ buddhakṣetrād buddhakṣetraṃ saṃkramiṣyati, tatra buddhakṣetre buddhān bhagavata ārāgyiṣyati, na kadācid buddhavirahito bhaviṣyati.

iti bodhisattvaśraddhānusārī

yaḥ punaḥ śāriputrāyaṃ bodhisattvo mahāsattvo 'nyebhyo buddhakṣetrebhyaś cyuta ihopapadyate tasya tīkṣṇānīndriyāṇi bhavanti, sa kṣipraṃ imaṃ yogam āpadyate, yad uta prajñāpāramitāyogaṃ, tasya jātivyativṛttasyāpy amī gambhīragambhīrā dharmā abhimukhībhavanti, sa paścāt prajñāpāramitāyogaṃ samāpadyate, yatra yatra buddhakṣetre upapadyate tatra tatra tathāgatān arhataḥ saṃyaksambuddhān ārāgyiṣyati.

yaḥ punaḥ śāriputra bodhisattvo mahāsattvaḥ tuṣitebhyo devebhyaś cyutvā ihopapanno bhavati tasyāpi paṭutarāṇīndriyāṇi bhavanti, avipramuṣitāḥ ṣaṭ pāramitāḥ sarvadhāraṇīsamādhimukhāni cābhimukhībhavanti.

iti bodhisattvadharmānusārī

santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvāḥ prajñāpāramitāyāṃ caranto ghaṭamānā vyāyacchantaḥ sattvapariṣkāyopāyakaauśalyabalena srotaāpattiphalaṃ sākṣātkurvanti, na ca tena manyante.

iti srotaāpannaḥ

ŚsP(Gh)

*na vikṣepacittaṃ na dauṣprajñacittam utpādayati / evam ukte
 āyuṣmān* śāradvatīputro bhagavantam etad avocat / yo bhagavan
 bodhisattvo mahāsattvo 'nena prajñāpāramitāyogena viharati / sa kutaś
 cyutvehopapannaḥ / ito vā cyutaḥ kutropapatsyate /
 bhagavān āha / yaḥ śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvo 'nena prajñā-
 pāramitāyogena viharati so 'nyebhyo buddhakṣetrebhyaś cyutvehopapanno
 veditavyaḥ / tuṣitebhyo devanikāyebhyo manuṣyebhyo vā cyutvehopapanno
 veditavyaḥ / tatra śāradvatīputra yo 'yaṃ bodhisattvo mahāsattvo
 'nyebhyo buddhakṣetrebhyaś cyutvehopapannaḥ / eṣa kṣipram imaṃ yogaṃ
 samāpadyate / yad uta prajñāpāramitāyogaṃ / asya jātivyativṛttasyāpīme
 gambhīrā dharmā abhimukhībhavanti / paścāt prajñāpāramitāyogaṃ
 samāpadyate / yatra yatra ca buddhakṣetreṣu tathāgatā arhantaḥ
 samyaksambuddhās tiṣṭhanti dhriyante yāpayanti tatra tatropapadyate /
 tāṃś ca tathāgatān arhataḥ samyaksambuddhān ārāgayati / tatra
 śāradvatīputra yo 'yaṃ bodhisattvo mahāsattvas tuṣitebhyo {Ghosa1913,
 p. 267} devanikāyebhyaś cyutvehopapanno veditavyaḥ / sa khalu
 ekajātipratibaddhās tasyāvipranaṣṭā bhavati ṣaṭpāramitā / atrāntargatāni
 bhavanti sarvvadhāraṇīmukhasamādhimukhāni / yaḥ punaḥ śāradvatīputra
 bodhisattvo mahāsattvo manuṣyebhyaś cyutvā manuṣyāṇām eva
 sabhāgatāyā upapadyate / tasya bodhisattvasya mahāsattvasyāvaiivarttikaṃ
 bodhisattvaṃ mahāsattvaṃ sthāpayitvā dhanyānīndriyāṇi bhavanti / na
 ca kṣipram imaṃ prajñāpāramitāyoga samāpadyate / buddhakṣetrāt*
 cyuto buddhakṣetraṃ saṃkramiṣyati yatra buddhā bhavagantas tiṣṭhanti
 dhriyante yāpayanti / na ca kadācid api buddhair bhagavadbhir vvirahito
 bhaviṣyati yāvad anuttarāṇ samyaksambodhim abhisambuddhaḥ /*

a-

Kj

(132)

摩訶般若波羅蜜經卷第二 後秦龜茲國三藏鳩摩羅什譯

往生品第四

舍利弗白佛言「世尊、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜、能如是習相應者、從何處終來生此間。從此間終當生何處」

佛告舍利弗「是菩薩摩訶薩行般若波羅蜜、能如是習相應者、或從他方佛國來生此間、或從兜率天上來生此間、或從人道中來生此間。

舍利弗、從他方佛國來者、疾與般若波羅蜜相應。與般若波羅蜜相應故、捨身來生此間、諸深妙法皆現在前、後還與般若波羅蜜相應、在所生處常值諸佛。

舍利弗、有一生補處菩薩兜率天上終來生是間、是菩薩不失六波羅蜜、隨所生處一切陀羅尼門・諸三昧門、疾現在前。

舍利弗、有菩薩人中命終還生人中者、除阿惟越致、是菩薩根鈍不能疾、與般若波羅蜜相應、諸陀羅尼門・諸三昧門不能疾現在前。

舍利弗、汝所問菩薩摩訶薩與般若波羅蜜相應。從此間終當生何處者。

舍利弗、此菩薩摩訶薩從一佛國至一佛國、常值諸佛、終不離諸佛。

(LPG 28r)¹³ Dhr 156a21-b17; Mo 7b-1-c9; Kj 225b15-c2; Xz(II) 18a28-b23; Xz(III)439b25-c14; PvsP(K) I 81.6-23, 82.27-30; PvsP(D) 61.15-62.12, 64.7-10; AdsP(Tib.U) ka 51a3-b6; AdsP(Tib.S) ka 54b2-55a7; AdsP(Tib.Pk) ni 33a7-b6; AdsP(Tib.D) ka 37b5-38a6; PvsP(Tib.U) ka 73a6-74a6; PvsP(Tib.S) ka 81a3-82a3; PvsP(Tib.Pk) nyi 63b3-64a8; PvsP(Tib.D) ka 62a3-b6

1 [s]t(i) śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvā anupāya[k]u(śa)lāḥ
prathamam dhyānam samāpadyante • yāvac caturtham ṣaṣṣu pāramitāsu
caranti te dhyānapratilāmbhena dīrghāyuskeṣu

2 deveṣūpāpadyante • sacen manuṣyapratilābham labdhā buddhā
bhagavanta ārāgayanti • teṣāṃ dhanvānīndriyāṇi bhavanti na tikṣṇāni • ||
asti punaḥ śāradvatīputra bodhisatvā mahā-

3 satvā dhyānāni samāpadyante • prajñāpāramitāyāṃ caramti te

¹³ ŚsP(Gh) pp. 267-269; ŚsP(Tib.D) ka 161a2-162a2; Xz(I) 37c14-38a27.

cānupāyakuśalā dhyānāny utsṛjanti • te punar eva kāmadhātāv upapadyante teṣām api śāradvatīputra bodhisatvā-

4 nām mahāsatvānām dhanvānīndriyāṇi bhavaṃti na tikṣṇāni || asti punaḥ śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvā dhyānāni samāpadyante • prajñāpāramitāyāṃ caranti • te cānu-

5 pāyakuśalā dhyānāny utsṛjanti • te punar eva kāmadhātāv upapadyante • teṣām api śāradvatīputra bodhisatvānām mahāsatvānām dhanvānīndriyāṇi bhavanti na tikṣṇāni ||

6 asti śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvāḥ prathamam dhyānam samāpadyante • yāvac caturtham maitrīm samāpadyante • karuṇam muditām upekṣam samāpadyante • ākā-

7 śānantiyāyatanam samāpadyante • yāvan naivasamjñānāsamjñāyatanam samāpadyante • || catvāri smṛtyupasthānāni samāpadyante • catvāri samyakprahāṇāni catura-

8 riddhipādātmaṃ cendriyāṇi paṃ[c]abalāni saptabodhyaṃgāny āryāṣṭāṃgaṃ mārgam samāpadyante • yāvan mahākāruṇam samāpadyante • te mahākāruṇikā upāyakaūśale-

9 na na dhyānavaśenopapadyante • na brāhmavaśenopapadyante¹⁴ • nārūpya-samāpattivaśenopapadyante • tatra punar upapadyante yatra buddhā bhagavantas tiṣṭhanti yāpaya-

10 nti • te puna prajñāpāramitāyogenāvīrahitā ihaiva bhadrakalpe (')nuttarām samyaksaṃboddhim abhisambuddhyante • asti punaḥ śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvāḥ pratha-

11 mam dhyānam samāpadyante • yāva caturtham maitrīm karuṇam muditām upekṣam samāpadyante • ākāśānamtyāyatanam yāvan naivasamjñānāsamjñāyatanam samāpadyante • ||

12 te copāyakaūśalena na dhyānasamādhisamāpattivaśenopapadyante • te punar eveha kāmadhātāv upapadyante • kṣatriyamahāsālakuleṣu vā

¹⁴ brāhmavaśenopapadyante: PvsP(K): nāpramā vaśena(S. e.?).

(134)

brāhmaṇa-

PvsP(K) I

LPG28r1-10= 81.5-23.

santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā anupāyakuśalā ye catvāri dhyānāni niṣpādayanti pāramitāsu ca caranti, tena ca dhyānalābhena dīrghāyuṣkeṣu deveṣūpapadyante, sacet tataś cyutvā manuṣyeṣu deveṣu copapadyante, buddhāṃś ca bhagavata ārāgayiṣyanti, teṣāṃ api dhanvānīndriyāṇi bhavanti na tīkṣṇāni.

santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā dhyānāni ca samāpadyante prajñāpāramitāyāṃ ca caranti, te cānupāyakausālyena dhyānāny utsrjya kāmādhātāv upapadyante, teṣāṃ api śāriputra bodhisattvānāṃ mahāsattvānāṃ dhanvānīndriyāṇi bhavanti na tīkṣṇāni.

iti dvitīyatṛtīyaphalapatipannakaḥ śraddhādhimuktaḥ

santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvāś catvāri dhyānāny utpādyā catvāry apramāṇāni samāpadyante, catasra ārūpyasamāpattīḥ smṛty-upasthānasamyakprahāṇarddhipādendriyabalabodhyaṅgamārgān samāpadyante, mahākāruṇikā upāyakausālyena copapadyante, na dhyānavaśena nāpramāṇavaśena nārūpyasamāpattivaśena tatra copapadyante yatra tathāgatān arhataḥ samyaksaṃbuddhān ārāgayiṣyanti, te punaḥ prajñāpāramitāvihāreṇāvīrahitā ihaiva bhadrakalpe anuttarāṃ samyaksaṃbodhim abhisamḃhotsyante.

iti dvitīyatṛtīyaphalapatipannako dṛṣṭiprāptaḥ

LPG28r10-12 =82.27-30(!).

santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvāś catvāri dhyānāny utpādyā catvāry apramāṇāni catasra ārūpyasamāpattīḥ, te copāyakausālyena samanvāgatāḥ samādhisamāpattibhyo nivṛtya kāmādhātāv upapadyante, kṣatriyamahāsālakuleṣu vā brāhmaṇa-

ŚsP(Gh)

*sti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvā anupāyakuśalāḥ prathamam
dhyānam samāpadyante / dvitīyam dhyānam samāpadyante / tṛtīyam
dhyānam samāpadyante / caturtham dhyānam samāpadyante /
ṣaṭpāramitāsu caranti / te dhyānapratilambhena dīrghāyuskeṣu
deveṣūpapadyante / sacet punar mānuṣyam pratilambham labdhā buddhān
bhagavata ārāgayanti / teṣāṃ dhanvānīndriyāṇi bhavanti na tikṣṇāni /
asti punaḥ śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvā dhyānāni
samāpadyante prajñāpāramitāyāṃ caranti te cānupāyakuśalāḥ
dhyānāny utsrjanti / te punar eva kāmādhātāv upapadyante / teṣāṃ
api śāradvatīputra bodhisattvānāṃ mahāsattvānāṃ dhanvānīndriyāṇi
bhavanti / na {Ghosa1913, p. 268} tikṣṇāni / asti śāradvatīputra bodhisattvā
mahāsattvāḥ prathamam dhyānam samāpadyante / dvitīyam dhyānam
samāpadyante / tṛtīyam dhyānam samāpadyante / caturtham dhyānam
samāpadyante / maitrīm samāpadyante / karuṇām samāpadyante /
muditām samāpadyante / upekṣām samāpadyante / ākiṅcanāntyāyatanaṃ
samāpadyante / vijñānāntyāyatanaṃ samāpadyante / ākiṅcanāntyāyatanaṃ
samāpadyante / naivasamājñānāsamājñāyatanaṃ samāpadyante / cattvāri
smṛtyupasthānāni samāpadyante / catvāri samyakprahāṇāni samāpadyante /
catura ṛddhipādān samāpadyante / pañcendriyāṇi samāpadyante /
pañca balāni samāpadyante / sapta bodhyaṅgāni samāpadyante /
āryāṣṭāṅgamārgam samāpadyante / mahākaruṇām samāpadyante /
mahākaruṇāḥ santa upāyakuśalena / na dhyānavasenopapadyante / na
brāhmavihārasena / nārūpyasamāpattivasenopapadyante / tatra punar
upapadyante yatra buddhā bhagavantas tiṣṭhanti dhriyante yāpayanti /
te punaḥ prajñāpāramitāyogenāviraḥitā ihaiva bhadrakalpe ’nuttarām
samyaksambodhim abhisambhotsyante /
asti punaḥ śāradvatīputra bodhisattvāḥ mahāsattvāḥ prathamam
dhyānam samāpadyante / dvitīyam dhyānam samāpadyante / tṛtīyam*

(136)

dhyānaṃ samāpadyante / caturthaṃ dhyānaṃ samāpadyante / mairiṃ samāpadyante / mahākaruṇāṃ samāpadyante / muditāṃ samāpadyante / upekṣāṃ samāpadyante / ākāśānantyāyatanaṃ samāpadyante / vijñānānantyāyatanaṃ samāpadyante / {Ghosa1913, p. 269} ākiñcanyāyatanaṃ samāpadyante / naivasamjñānāsamjñāyatanaṃ samāpadyante / te copāyakauśalena dhyānasamādhisamāpattivāsenopapadyante / te punar eveha kāmādhātāv upapadyante / kṣatriyamahāsālakuleśūpapadyante / brāhmaṇa-

Kj

舍利弗、有菩薩摩訶薩不以方便、入初禪乃至第四禪、亦行六波羅蜜、是菩薩摩訶薩得禪故、生長壽夭、隨彼壽終、來生是間、得人身、值遇諸佛、是菩薩諸根不利。

舍利弗、有菩薩摩訶薩入初禪乃至第四禪、亦行般若波羅蜜、不以方便故、捨諸禪、生欲界、是菩薩諸根亦鈍。

舍利弗、有菩薩摩訶薩入初禪乃至第四禪、入慈心乃至捨、入虛空處乃至非有想非無想處、修四念處乃至八聖道分、行佛十力乃至大慈・大悲、是菩薩用方便力、不隨禪生、不隨無量心生、不隨四無色定生、在所有佛處於中生、常不離般若波羅蜜行。如是菩薩賢劫中當得阿耨多羅三藐三菩提。

舍利弗、有菩薩摩訶薩入初禪乃至第四禪、入慈心乃至捨、入虛空處乃至非有想非無想處、以方便力故、不隨禪生、還生欲界、若利利大姓・婆羅門

(LPG 28v)¹⁵ Dhr 156b17-c12; Mo 7c9-23; Kj 225c3-21; Xz(II) 18b23-c23; Xz(III) 439c14-440a9; PvsP(K) I 81.25-82.8, 82.30-83.16; PvsP(D) 62.14-63.7, 64.10-65.8; AdsP(Tib.U) ka 51b6-52b6; AdsP(Tib.S) ka 55a7-56b2; AdsP(Tib.Pk) ni 33b7-34b2; AdsP(Tib.D) ka 38a6-39a3; PvsP(Tib.U) ka 74a6-75b2; PvsP(Tib.S) ka 82a3-83b2; PvsP(Tib.Pk) nyi 64a8-65b2; PvsP(Tib.D) ka 62b6-63b7

¹⁵ ŚsP(Gh) pp. 269-271; ŚsP(Tib.D) ka 162a2-163b1; Xz(I) 38a27-c17.

- 1 mahāsālakuleṣu vā • gr̥hapatimahāsālakuleṣu vopapadyante • satvaparipākāya • || asti śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvāḥ prathamam dhyānaṃ samāpadyante
- 2 yāvac caturthaṃ maitrīṃ karuṇāṃ muditāṃ upekṣāṃ samāpadyante • yāvan naivasamjñānāsamjñāyatanaṃ samāpadyate • te upāyakausalena na teṣāṃ vaśenopapadyate • te cātu-
- 3 rmahārājakāyikānāṃ devānāṃ sabhāgatāyai upapadyante • trāya-strimśānāṃ yāmānāṃ tuṣitānāṃ nirmāṇaratīnāṃ parini(r)m(i)tavaśavartināṃ devānāṃ sabhāgatāyai upa-
- 4 padyante • || tatra sthitvā satvān paripācayamti • buddhakṣetraṃ ca pariśodhayamti buddhāṃś ca bhagavata āragayamti || asti śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvā prajñāpārami-
- 5 tūyāṃ caranta upāyakausalena prathamam dhyānaṃ samāpadyante • yāva caturthaṃ maitrīṃ karuṇāṃ muditāṃ upekṣāṃ samāpadyante • yāvan naiva-
- 6 samjñānāsamjñāyatanaṃ samāpadyante te itaś cyutā brahmaloka upapadyante • te tatra brahmāṇau¹⁶ bhavanti mahābrahmāṇa¹⁷ te tatra sthitvā buddhakṣetreṇa buddhakṣe-
- 7 traṃ saṃkrāmate • yatra tathāgatārhanṭaḥ samyaksambuddhā bodhim abhisambudyante • dharmacakraṃ pravartayanti • te tāṃ tathāgatān arhantaḥ samyaksambuddhān adhyeṣante dharmaca-
- 8 krapravartanāya || asti śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvā ekajātīpratibaddhā prajñāpāramitāyāṃ caranta upāyakausalena prathamam dhyānaṃ samāpa-
- 9 dyante • yāvac caturthaṃ maitrīṃ karuṇāṃ muditāṃ upekṣāṃ samāpadyante yāvan naivasamjñānāsamjñāyatanaṃ samāpattīṃ samāpadyante catvāri smṛtyupasthānāni bhāvayanti • yā-
- 10 vad āryāṣṭāṅgaṃ mārgaṃ bhāvayanti • śunyatānimittapraṇihitān

¹⁶ brahmāṇau : PvsP(K): brahmāṇo.

¹⁷ mahābrahmāṇa: PvsP(K): mahābrahmāṇas.

(138)

samādhīn samāpadyante • na ca teṣāṃ vaśenopapadyante • te
saṃmukhibhūtān buddhān bhagavataḥ ārāgya tatra

11 brahmacaryaṃ caritvā tuṣitānāṃ devānāṃ sabhāgatāyai upapadyante • ||
te tatra yāvad āyu<ḥ> sthitvā • ahinendriyā smṛtā saṃprajānaṃta anekair
devatākoṭīniyutaśa-

12 tasahasraiḥ parivṛtā puraṣkṛtā ihopapattin darśayitvānuttarāṃ
samyaksaṃbodhim abhisambudhya dharmacakraṃ pravartayaṃti
nānābuddhakṣetreṣu • || asti śāradvatīpu-

PvsP(K) I

LPG28v1-8=82.30-83.16.

*mahāsālakuleṣu vā gr̥hapatimahāsālakuleṣu vopapadyante sattvapariṣākāya.
ity ayaṃ manuṣyakulaṃkulaḥ*

*santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvās catvāri dhyānāni samāpadyante
catvāry apramāṇāni catasra ārūpyasamāpattiḥ samāpadyante,
te 'py upāyakauśalyabalena dhyānasamādhisamāpattivaśena vā
cāturmahārājakāyikānāṃ api devānāṃ sabhāgatāyai upapadyante,
trayastrīṣānāṃ yāmānāṃ tuṣitānāṃ nirmāṇaratīnāṃ paranirmitava-
śavartināṃ sabhāgatāyai upapadyante, te tatra sthitvā sattvān pariṣācayanti,
buddhakṣetraṃ ca pariśodhayanti, buddhāṃś ca bhagavata ārāgayanti.*

*santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvās catvāri dhyānāni utpadya
catvāry apramāṇāni catasra ārūpyasamāpattiḥ, te tataś cyutāḥ santa
upāyakauśalyena brahmaloke yāvad akaniṣṭhe upapadyante, te tatra
bhavanti brahmāṇo mahābrahmāṇas teṣu brahmabhavaneṣu tiṣṭhanti, te
tatra sthitvā buddhakṣetreṇa buddhakṣetraṃ saṃkrāmanti, ye ca teṣu
buddhakṣetreṣu tathāgatā arhantaḥ samyaksambuddhās tāṃś tathāgatān
dharmacakrapravartanāyādhyeṣayanti.*

iti devakulaṃkulaḥ

LPG28v8-12=81.25-82.8.

santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā ekajātipratibaddhā ye prajñāpāramitāyāṃ caranta upāyakauśalyena catvāri dhyānāni samāpadyante, catvāry apramāṇāni catasra ārūpyasamāpattīḥ smṛtyupasthāna-samyakprahāṇarddhipādendriyabalabodhyaṅgamārgān bhāvayanti, śūnyatāsamādhiṃ samāpadyante, ānimittasamādhiṃ samāpadyante, apraṇihitasamādhiṃ samāpadyante, na ca teṣāṃ vaśena gacchanti saṃmukhībhūtāṃś ca buddhān bhagavata ārāgayitvā tatra brahmacaryaṃ caritvā punar eva tuṣitānāṃ sabhāgatāyai upapadyante, te tatra yāvad āyus tiṣṭhanti, te tatra yāvad āyuh sthitvā ahīnendriyāḥ smṛtīmantāḥ saṃprajānānā anekair devakoṭīniyutaśatasahasraiḥ parivṛtāḥ puraskṛtā ihopapattiṃ darśayitvā nānābuddhakṣetreṣv anuttarāṃ samyaksambodhim abhisambudhyante.

iti sakṛdāgāmī

santi śāripu-

ŚsP(Gh)

mahāsālakuleṣūpapadyante / gr̥hapatimahāsālakuleṣūpapadyante sattvapariṣkāya na punar bhavābhilāṣāt /

asti śāradvatīputra bodhisattvāḥ mahāsattvāḥ prathamāṃ dhyānaṃ samāpadyante / dvitīyaṃ dhyānaṃ samāpadyante / tṛtīyaṃ dhyānaṃ samāpadyante / caturthaṃ dhyānaṃ samāpadyante / maitrīṃ samāpadyante / karuṇāṃ samāpadyante / muditāṃ samāpadyante / upekṣāṃ samāpadyante / ākāśānantyāyatanaṃ samāpadyante / vijñānānantyāyatanaṃ samāpadyante / ākiñcanyāyatanaṃ samāpadyante / naivasamjñānāsamjñāyatanaṃ samāpadyante / upāyakauśalavasena na dhyānasamādhisamāpattivasenopapadyante / te cāturmahārājakāyikānāṃ devānāṃ sabhāgatāyāṃ upapadyante / trāyastriṃśānāṃ devānāṃ sabhāgatāyāṃ upapadyante / yāmānāṃ devānāṃ sabhāgatāyāṃ upapadyante / tuṣitānāṃ devānāṃ sabhāgatāyāṃ upapadyante / nirmmāṇaratīnāṃ devānāṃ sabhāgatāyāṃ

*upapadyante / paranirmitavaśavarttināṃ devānāṃ sabhāgatāyāṃ
 upapadyante / tatra sthitvā sattvān paripācayanti buddhakṣetraṅ ca
 parisodhayanti / buddhāṃś ca bhagavata ārāgayanti / asti śāradvatīputra
 bodhisattvā mahāsattvāḥ prajñāpāramitāyāṃ carantaḥ upāyakausalena
 prathamāṃ dhyānaṃ samāpadyante / dvitīyaṃ dhyānaṃ samāpadyante /
 tṛtīyaṃ dhyānaṃ samāpadyanta / caturthaṃ dhyānaṃ samāpadyante /
 maitrīṃ samāpadyante / karuṇāṃ samāpadyante / {Ghosa1913, p. 270}
 muditāṃ samāpadyante / upekṣāṃ samāpadyante / ākāśānantyāyatanaṃ
 samāpadyante / vijñānānantyāyatanaṃ samāpadyante / ākiñcanyāyatanaṃ
 samāpadyante / naivasamjñānāsamjñāyatanaṃ samāpadyante / ta
 itaś cyutvā brahmaloka upapadyante tatra brahmaṇo bhavanti /
 mahābrahmaṇaḥ / abhibhuvo daśāsatavarśavarttināś teṣāṃ sattvānāṃ
 agryā varā pravara varīṣṭāś te tatra sthitvā buddhakṣetreṇa
 buddhaṣetraṃ saṃkrāmanti / yathā tathāgatā arhantaḥ samyaksambuddhā
 anuttarāṃ samyaksambodhim abhiśambudhya dharmmacakraṃ
 pravarttayanti / te tāṃś tathāgatān arhataḥ samyaksambuddhān adhyeṣante
 dharmmacakrapravarttanāya /
 asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ ekajātipratibaddhāḥ /
 prajñāpāramitāyāṃ caranta upāyakausalena prathamāṃ dhyānaṃ
 samāpadyante / dvitīyaṃ dhyānaṃ samāpadyante / tṛtīyaṃ dhyānaṃ
 samāpadyante / caturthaṃ dhyānaṃ samāpadyante / maitrīṃ
 samāpadyante / karuṇāṃ samāpadyante / muditāṃ samāpadyante /
 upekṣāṃ samāpadyante / ākāśānantyāyatanasamāpattiṃ samāpadyante /
 vijñānānantyāyatanasamāpattiṃ samāpadyante / ākiñcanyāyatanasamāpattiṃ
 samāpadyante / naivasamjñānāsamjñāyatanasamāpattiṃ samāpadyante /
 catvāri smṛtyupasthānāni bhāvayanti / catvāri samyakprahāṇāni
 bhāvayanti / pañcendriyāni bhāvayanti / sapta bodhyaṅgāni bhāvayanti /
 āryyāṣṭāṅgamārgaṃ bhāvayanti / śūnyatānimittapraṇihitān samādhīn
 samāpadyante / na ca teṣāṃ vasenopapadyante / te sammukhibhūtān*

buddhān bhagavata ārāgya note: ārāgya (KW) tatra brahmacaryyaṃ caritvā tuṣitānāṃ devānāṃ sabhāgatāyāṃ upapadyante / te tatra {Ghosa1913, p. 271} yāvad āyuh sthitvā ahīnendriyāḥ smṛtāḥ samprajānanto 'nekair devakoṭṭiniyutaśatasahasre parivṛtāḥ puraskṛtāḥ ihopapattiṃ darśayitvānuttarāṃ samyaksambodhim abhisambudhya dharmmacakraṃ pravarttayanti nānābuddhakṣetreṣu / asti sāradvatīpu-

Kj

大姓・居士大家生、爲成就衆生故。

舍利弗、有菩薩摩訶薩入初禪乃至第四禪、入慈心乃至捨入虛空處、乃至非有想非無想處、以方便力故、不隨禪生、或生四天王天處、或生三十三天・夜摩天・兜率陀天・化樂天・他化自在天、於是中成就衆生、亦淨佛土、常值諸佛。

舍利弗、有菩薩摩訶薩行般若波羅蜜、以方便力故、入初禪。此間命終生梵天處、作大梵王。從梵天處、遊一佛國、至一佛國、在所有諸佛得阿耨多羅三藐三菩提、未轉法輪者勸請令轉。

舍利弗、有菩薩摩訶薩一生補處行般若波羅蜜、以方便力故、入初禪乃至第四禪、入慈心乃至捨、入虛空處乃至非有想非無想處、修四念處乃至八聖道分、入空三昧・無相・無作三昧、不隨禪生、生有佛處、修梵行。若生兜率天上隨其壽終、具足善根、不失正念、與無數百千億萬諸天圍繞恭敬、來生此間、得阿耨多羅三藐三菩提。復次、舍利弗、

(LPG 29r)¹⁸ Dhr 156c12-157a11; Mo 7c23-8a10; Kj 225c21-226a15; Xz(II) 18c23-19b3; Xz(III) 440a9-b12; PvsP(K) I 82.8-82.25, 83.23-30, 84.14-16, 83.32-84.4, 84.17-20, 87.6; PvsP(D) 63.7-64.6, 65.13-66.3, 66.15-67.1, 66.4-7, 67.1-3, 70.14; AdsP(Tib.U) ka 52b6-54a2; AdsP(Tib.S) ka 56b2-58a2; AdsP(Tib.Pk) ni 34b2-35b1; AdsP(Tib.D) ka 39a3-40a2; PvsP(Tib.U) 75b2-76b7; PvsP(Tib.S) ka 83b2-85a1; PvsP(Tib.Pk) nyi 65b2-66b6; PvsP(Tib.D) ka 63b7-5a

¹⁸ ŚsP(Gh) pp. 271-272; ŚsP(Tib.D) ka 163b1-164b3; Xz(I) 38c17-39b28.

(142)

1 tra bodhisatvā mahāsatvā śaṅṅām abhijñānām lābhinas te na kāmādhātāv
upapadyante na rūpadhātau nārūpyadhātāv upapadyante • te buddhakṣetreṇa
buddhakṣetraṃ saṃkrāmaṃti tathāgatān a-

2 rhataḥ samyaksambuddhān satkurvanto gurukurvanto mānayanta
pūjayantaḥ || asti śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvā śaṅṅām abhijñānām
lābhinaḥ te tābhir abhijñābhir vikriḍamānā

3 buddhakṣetreṇa buddhakṣetraṃ saṃkrāmanti • || yatra buddhakṣetreṣu na
śrāvākayānasya na pratyekabuddhayānasya śabdo (°)pi prajñāyate • || yatra
buddhakṣetreṣv aparimitam āyuṣṣpramāṇam ||

4 asti śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvā śaṅṅām abhijñānām lābhinaḥ
{s}te lokadhātor lokadhātuṃ saṃkrāmanti || yatra na buddhaśabdo na
dharmaśabdo na saṃghaśabdaḥ te tatra gatvā

5 buddhasya varṇam bhāṣante • dharmasya varṇam bhāṣante saṃghasya
varṇam bhāṣante • || te ca satvās tena buddhaśabdena dharmāśabdena
saṃghaśabdena yatra buddhā bhagavantas tatropapadyante • ||

6 asti śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvā prathamacittotpādam upādāya
caturṇām dhyānānām lābhinaḥ caturṇām brāhmavihārāṇām lābhinaḥ
caturṇām apramāṇānā<ṃ> lābhinaḥ

7 catasṛṇām ārūpyasamāpattinām paṃcānām abhijñānām caturṇām
smṛtyupa[s]thānām yāvad āryāṣṭāṃgikasya mārgasya lābhinaḥ te na kadācit
kāmādhātāv upapadyante • na rū-

8 padhāto nārūpyadhātau{v} upapadyante • tatra ca satvānām arthaṃ
kurvanti • || asti śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvā ye ṣaṣṣu pāramitāsu
caranta prathamacitto-

9 tpādenaiva bodhisatvanyāmam avakrāmaṃty avaiartikabhūmiṃ
cānuṣṭhānuvaṃti • || asti śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvāḥ
prathamacittotpādenaivānuttarāṃ samya-

10 ksaṃbodhim abhisambudhyante • abhisambudhya dharmacakraṃ
pravartyāprameyāṇām asaṃkhyeyānām satvānām arthaṃ kṛtvā anupadhiṣeṣe

nirvāṇadhātau parinirvānti • teṣāṃ parinirvṛtā-

11 nāṃ kalpaṃ vā kalpāvaśeṣaṃ vā saddharmas tiṣṭhati • || asti śāradvatīputra
bodhisattvā mahāsatvāḥ prathamacittotpādenaiva prajñāpāramitāyogaṃ
samāpadyante || te (°)nekair bo-

12 dhisattvakoṭīniyutaśatasahasraih sārddhaṃ buddhakṣetreṇa buddhakṣetraṃ
saṃkrāṃanti • buddhakṣetrapariśodhanārthaṃ • || asti śāradvatīputra
bodhisattvā mahāsatvāḥ prajñāpārami-

PvsP(K) I

LPG29r1-5 = 82.8-82.25

*tra bodhisattvā mahāsattvāḥ śaṅṅāṃ abhijñānāṃ lābhino ye na
kāmadhātau na rūpadhātau nārūpyadhātāv upapadyante, api tu
buddhakṣetreṇa buddhakṣetraṃ saṃkrāṃanti, tathāgatān arhataḥ
samyakṣambuddhān satkurvanto gurukurvanto mānayantaḥ pūjayantaḥ.*

*santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvāḥ śaṅṅāṃ abhijñānāṃ lābhinas
te tābhir abhijñābhir vikrīḍanto buddhakṣetreṇa buddhakṣetraṃ
saṃkrāṃanti yeṣu buddhakṣetreṣu na śrāvakaḥpratyekabuddhayānasya
prajñaptir apy asti.*

*santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvāḥ śaṅṅāṃ abhijñānāṃ lābhinas te
tābhir abhijñābhir vikrīḍanto buddhakṣetreṇa buddhakṣetraṃ saṃkrāṃanti
yeṣu buddhakṣetreṣu amitam āyuh.*

*santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvāḥ śaṅṅāṃ abhijñānāṃ lābhinaḥ
ye lokadhātor lokadhātuṃ saṃkrāṃanti, te tatropasaṃkramya yatra
na buddhaśabdo na dharmāśabdo na saṃghaśabdā tatrāvasthitāḥ
buddhaśabdaṃ ca dharmāśabdaṃ saṃghaśabdaṃ ca sattvānāṃ
saṃśrāvayanti, trayāṅgāṃ ca ratnānāṃ varṇaṃ bhāṣante, te tena
buddhaśabdena dharmāśabdena saṃghaśabdena tatas cyutā yatra yatra
buddhā bhagavanto bhavanti te tatra tatropapadyante.*

ity anāgāmī

(144)

LPG29rv6-8 = 83.23-30.

santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā ye prathamacittotpādāya caturṇāṃ dhyānānāṃ lābhino bhavanti, caturṇāṃ apramāṇānāṃ lābhino bhavanti, catasṇāṃ ārūpyasamāpattināṃ lābhino bhavanti, smṛtyupasthānasamyak-prahāṇarddhīpādendriyabalabodhyaṅgamārgān bhāvayanti, balavaiśāradya-pratisaṃvidāveṇīkabuddhadharmān pratilabhante, upāyakausālyena brahmakāyikeṣu deveṣu yāvad akaniṣṭheṣu deveṣūpapadyante, tatra cānuttarāṃ samyaksam̐bodhim abhisam̐budhya sattvānāṃ arthaṃ kurvanti.
LPG29r8-9 = 84.14-16.

santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā ye prathamacittotpādenaiva bodhisattvanyāṃ avakrāmanti, avinivartanīyabhūmau vāvatiṣṭhante, sarvabuddhadharmān vā samudānayanti.

LPG29r9-11 = 83.32-84.4.

santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā ye prathamacittotpādenaivānuttarāṃ samyaksam̐bodhim abhisam̐budhyante, dharmacakraṃ pravartayanty aprameyāṇāṃ asaṃkhyeyānāṃ sattvānāṃ cārthaṃ kṛtvā nirūpadhiṣeṣe nirvāṇadhātau parinirvānti, teṣāṃ parinirvṛtānāṃ kalpaṃ vā kalpavaśeṣaṃ vā saddharmas tiṣṭhati.

LPG29r11-12 = 84.17-20.

santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā ye prathamacittotpādenaiva prajñāpāramitāyāṃ yogam āpadyante, te 'nekair bodhisattvakoṭī-niyutaśatasahasraiḥ sārthaṃ buddhakṣetreṇa buddhakṣetraṃ svabuddhakṣetrapariśodhanāya saṃkrāmanti

LPG29r12 = 87.6.

santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā ye prajñāpārami-

ŚsP(Gh)

tra bodhisattvā mahāsattvāḥ ṣaṇṇāṃ abhijñānāṃ lābhinas te kāmadhātāv upapadyante / nārūpyadhātāv upapadyante / te buddhakṣetreṇa

*buddhakṣetraṃ saṃkrāṃanti / tathāgatān arhataḥ samyaksambuddhān
saturvanto gurūkurvanto mānayantaḥ pūjayaṃtaḥ /
asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ śaṅṅāṃ abhijñānāṃ lābhinas te
tābhir abhijñābhir vvikriḍanto buddhakṣetreṇa buddhakṣetraṃ saṃkrāṃanti /
yatra buddhakṣetre na śrāvakayānasya na pratyekabuddhayānasya śabdo
'pi prajñāyate 'nyatra buddhayānāt /
asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ śaṅṅāṃ abhijñānāṃ lābhinas
te tābhir abhijñābhir vvikriḍamānā buddhakṣetreṇa buddhakṣetraṃ
saṃkrāṃanti / yatra buddhakṣetreṣu aparinirmmitam āyuspramāṇaṃ
sattvānāṃ /
asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ śaṅṅāṃ abhijñānāṃ
lābhinas te lokadhātum saṃkrāṃanti / yatra na buddhaśabdo na
dharmmaśabdo na saṃghaśabdā te tatra gatvā buddhasya varṇaṃ
bhāṣante dharmmasya saṃghasya varṇaṃ bhāṣante te ca sattvās tena
buddhaśabdena saṃghaśabdena cittāni prasādyā yatra buddhā bhagavantas
tatropadyante /
asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ prathamacittotpādam
upādāya caturṅāṃ dhyānānāṃ caturṅāṃ apramāṇānāṃ catasṅāṃ
ārūpyasamāpattināṃ pañcānāṃ abhijñānāṃ lābhinas caturṅāṃ
smṛtyupasthānānāṃ caturṅāṃ {Ghosa1913, p. 272} samyakprahāṇānāṃ
caturṅāṃ ṛddhipādānāṃ pañcānāṃ indriyāṅṅāṃ pañcānāṃ balānāṃ
saptānāṃ bodhyaṅṅāṃ āryyāṣṭāṅṅasya mārgasya daśānāṃ
tathāgatabalānāṃ caturṅāṃ vaiśāradyānāṃ catasṅāṃ pratisamvidāṃ
mahāmaitryāḥ mahākaruṇāyāḥ aṣṭādaśāveṇīkabuddhadharmmāṅṅāṃ
lābhinas te na kadācit kāmadhātāv upapadyante / na rūpadhātāv
upapadyante / nārūpyadhātāv upapadyante / tatra ca sattvānāṃ arthaṃ
kurvanti /
asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ śaṭpāramitāsu
carantaḥ prathamacittotpādenaiva bodhisattvanyāmam avakrāṃanti*

(146)

*avaivarttikabhūmiṃ vānuprāpnuvanti /
asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ prathamacittotpādenaivānuttarāṃ
samyaksambodhim abhisambudhyante / abhisambudhya sadharmmacakraṃ
pravarttyāprameyāṇāṃ asaṃkhyeyānāṃ sattvānāṃ arthaṃ kṛtvānupadhiśeṣe
nirvāṇadhātau parinirvūṅti / teṣāṃ parinirvṛtānāṃ kalpaṃ vā
kalpāvaśeṣaṃ vā saddharmas tiṣṭhati /
asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ prathamacittotpādenaiva
prajñāpāramitāyogaṃ samāpadyante / te 'nekair bodhisattvakoṭīniyutaśata-
sahasraiḥ sārddhaṃ buddhakṣetreṇa buddhakṣetraṃ saṃkrāmanti / buddhānāṃ
bhagavatāṃ darśanāya sattvapariṇānāya buddhakṣetrapariśodhanāya / asti
śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ prajñāpārami-*

Kj

有菩薩摩訶薩得六神通、不生欲界・色界・無色界、從一佛國至一佛國、供養・恭敬・尊重・讚歎諸佛。

舍利弗、有菩薩摩訶薩遊戲神通、從一佛國至一佛國、所至到處無有聲聞・辟支佛乘、乃至無二乘之名。

舍利弗、有菩薩摩訶薩遊戲神通、從一佛國至一佛國、所至到處其壽無量。

舍利弗、有菩薩摩訶薩遊戲神通、從一國土至一國土、所至到處、有無佛・法・僧處。讚佛・法・僧功德、諸衆生用聞佛名・法名・僧名故、於此命終、生諸佛前。

舍利弗、有菩薩摩訶薩初發意時、得初禪乃至第四禪、得四無量心、得四無色定、修四念處乃至十八不共法。是菩薩不生欲界・色界・無色界中、常生有益衆生之處。

舍利弗、有菩薩摩訶薩初發意時、行六波羅蜜、上菩薩位、得阿惟越致地。

舍利弗、有菩薩摩訶薩初發意時、便得阿耨多羅三藐三菩提、轉法輪、與無量阿僧祇衆生作益厚、已入無餘涅槃。是佛般涅槃後、餘法若住一劫、若減一劫。

舍利弗、有菩薩摩訶薩初發意時、與般若波羅蜜相應、與無數百千億菩薩、從一佛國至一佛國、爲淨佛國土故。

舍利弗、有菩薩摩訶薩

(LPG 29v)¹⁹ Dhr 157a11-b5; Mo 8a10-24; Kj 226a15-b5; Xz(II) 19b3-c9; Xz(III) 440b12-c18; PvsP(K)I 87.6-22, 88.4-21, 83.18-21(!); PvsP(D) 70.14-71.7, 71.15-72.13, 65.9-11 (!); AdsP(Tib.U) ka 54a2-55a5; AdsP(Tib.S) ka 58a2-59b1; AdsP(Tib.Pk) ni 35b1-36a7; AdsP(Tib.D) ka 40a2-41a2; PvsP(Tib.U) ka 76b7-78a8; PvsP(Tib.S) ka 85a1-86b5; PvsP(Tib.Pk) nyi 66b6-68a5; PvsP(Tib.D) ka 65a2-66a6

1 t̄ayāṃ caraṃtaḥ caturṇāṃ dhyānānāṃ lābhinaḥ caturṇāṃ apramāṇānāṃ catasṛṇāṃ ārūpyasamāpattināṃ lābhinaḥ te tatra vikri(ḍa) .. prathamāṃ dhyānaṃ samāpadyant(e) • t[e] • tato vyuttha²⁰

2 ya nirodhasamāpattiṃ samāpadyante nirodhasamāpatter vyutthāya dvitīyaṃ dhyānaṃ samāpadyante • dvitīyā dhyānā vyutthāya nirodhasamā-[p]attiṃ samāpadyante • evaṃ tṛtīyaṃ caturthaṃ e-

3 vam ākāśānantyāyatanam • yāvan naivasamjñānāsamjñāyatanam samāpadyante • tato {rd}vyutthāya nirodhasamāpattiṃ samāpadyante • nirodhasamāpatter vyutthāya naivasamjñānāsamjñā-

4 yatanam samāpadyante • tato vyutthāya nirodham samāpadyante || evaṃ khalu śāradvatīputra bodhisatvā mahāsavā prajñāpārami(tāy)āṃ carantaḥ upāyakausālyena samanvāga-

5 tā imāni dhyānāpramāṇārūpyasamāpattīś ca viṣkadya viṣkandya samāpadyante • || asti śāradvatīputra bodhisatvā mahāsavāḥ caturṇāṃ smṛtyupasthānānāṃ lābhinaḥ yāva-

6 d āryāṣṭāṃgasya mārgasya lābhinaḥ trayāṇāṃ vimokṣamukhānāṃ lābhinaḥ na ca śrotaāpattiphalaṃ prāpnuvaṃti na sakṛdāgāmiphalaṃ nānāgāmiphalaṃ nārhatvaṃ na pratye-

7 kabodhim anuprāpnuvaṃti • || prajñāpāramitāyāṃ caranta upāyakausālena pariḡṛhitā āryāṣṭāṃgaṃ mārgaṃ satvānāṃ upadiśaṃti • yena śrotaāpattiphalaṃ

¹⁹ ŚsP(Gh) pp. 272-275 ; ŚsP(Tib.D) ka 164b3-166a2; Xz(I) 39b28-40b6.

²⁰ vyuttha: *Read* vyutthā.

(148)

anuprā-

8 pnuvaṃti • yāvad arhatvaṃ pratyekabodhim anuprāpnuvaṃti • yac chāradvatīputra śrāvakaṃ pratyekabuddhānāṃ phalaprāptijñānaṃ sā bodhisatvasya mahāsatvasya kṣānti ime śāradvatīpu-

9 tra bodhisatvā mahāsatvā avaivartikā veditavyāḥ ye (')nayā prajñāpāramitayaivaṃ viharanti • || asti śāradvatīputra bodhisatv(ā) mahāsatvā ye ṣaṭsu pāramitāsu sthitvā tu-

10 ṣṭābhavaṇaṃ śodhayanti || tena khalu punaḥ śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvā bhadrakalpikā veditavyāḥ || asti śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvās caturṇāṃ dhyānānāṃ lābhi-

11 naḥ caturṇāṃ apramāṇānāṃ catasṛṇāṃ ārūpyasamāpattināṃ saptaṭṛṃsato bodhipakṣyāṇāṃ dharmāṇāṃ ṣaṇṇā[m] abhijñānāṃ daśānāṃ tathāgatabalānāṃ caturṇāṃ vaiśāradyānāṃ ca-

12 tasṛṇāṃ pratisaṃvidāṃ aṣṭādaśānāṃ āveṇikānāṃ buddhadharmāṇāṃ lābhinaḥ teṣāṃ cānubodhāya caranti na ca satyāni prativi[dh]yanti • tena khalu punaḥ śāradvatīputra bodhi-

PvsP(K) I

LPG29v1-5 = 87.6-22.

*tāyāṃ carantaś caturṇāṃ dhyānānāṃ lābhinaś catasṛṇāṃ ārūpya-
samāpattināṃ lābhinaś te tābhir vikrīdantaḥ prathamāṃ dhyānaṃ
samāpadyante, tato vyutthāya nirodhasamāpattiṃ samāpadyante,
tato vyutthāya dvitīyaṃ dhyānaṃ samāpadyante, tato vyutthāya
nirodhasamāpattiṃ samāpadyante, tato vyutthāya tṛtīyaṃ dhyānaṃ
samāpadyante, tato vyutthāya nirodhasamāpattiṃ samāpadyante,
tato vyutthāya caturthaṃ dhyānaṃ samāpadyante, tato vyutthāya
nirodhasamāpattiṃ samāpadyante, tato vyutthāya ākāśānāntyāyatanaṃ
samāpadyante, tato vyutthāya nirodhasamāpattiṃ samāpadyante,
tato vyutthāya vijñānānāntyāyatanaṃ samāpadyante, tato vyutthāya*

nirodhasamāpattiṃ samāpadyante, tato vyutthāya ākiñcanyāyatanaṃ samāpadyante, tato vyutthāya nirodhasamāpattiṃ samāpadyante, tato vyutthāya naivasamjñānāsamjñāyatanaṃ samāpadyante, tato vyutthāya nirodhasamāpattiṃ samāpadyante.

evaṃ hi śāriputra bodhisattvā mahāsattvāḥ prajñāpāramitāyāṃ caranta upāyakauśalyenāvaskandakena samādhiṃ samāpadya nānābuddhakṣetreṣu anuttarāṃ samyaksaṃbodhim abhisamḃudhyante.

LPG29v5-10 = 88.4-21.

santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā ye smṛtyupasthānasamyakprahāṇarddhipādendriyabalabodhyaṅgamārgāṇāṃ lābhino daśabalavaiśāradya pratisaṃvidasṭādaśāveṇikabuddhadharmāṇāṃ lābhinaḥ, na ca srotaāpattiphalaṃ prāpnuvanti, na sakṛdāgāmiphalaṃ nānāgāmiphalaṃ nārhattvaṃ prāpnuvanti, na pratyekabuddhatvaṃ prāpnuvanti, te prajñāpāramitāyāṃ caranta upāyakauśalyena sarvasattvān mārge 'vatārya viśodhya srotaāpattiphalaṃ prāpayanti, sakṛdāgāmiphalaṃ prāpayanti, anāgāmiphalaṃ prāpayanti, arhattvaṃ prāpayanti, pratyekāṃ bodhiṃ prāpayanti, svayam asākṣātkurvantaḥ parāṃs tatra pratiṣṭhāpayanti.

iti śrāvaka pratyekabuddhamārgalabhyāni phalāni

yac chāriputra sarvasrāvaka pratyekabuddhānāṃ jñānaṃ ca prahāṇaṃ ca sānutpattikadharmakṣāntipratilabdhasya bodhisattvasya mahāsattvasya kṣāntiḥ.

iti svayam aprāpte dharme parapraṭiṣṭhāpanam

amī śāriputra bodhisattvā mahāsattvā avinivartanīyā veditavyāḥ, ye 'nayaḥ prajñāpāramitayā viharanti.

santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā ye ṣaṭsu pāramitāsu sthitvā tuṣitabhavanaṃ viśodhayanti, te khalu punar bodhisattvā mahāsattvā bhadrakalpikā veditavyāḥ

LPG29v10-12-30r1(!) = 83.18-21.

santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā ye caturṇāṃ dhyānānāṃ lābhino

(150)

*yāvad aṣṭādaśānām āveṇikānām buddhadharmāṇām lābhinas teṣāṃ
cānubodhāya caranti, caturṇām āryasatyānām lābhino na ca tāni
pratividhyanti, te punar bodhisattvā mahāsattvā ekajātīpratibaddhā
veditavyāḥ.*

ŚsP(Gh)

*tāyāṃ carantaś caturṇām dhyānānām lābhinaś caturṇām
apramāṇānām catasṛṇām ārūpyasamāpattinām lābhinas te tāni
dhyānāpramāṇārūpyasamāpattir anekavidhaṃ vikrīḍanti / {Ghosa1913, p.
273} yad uta prathamaṃ dhyānaṃ samāpadyante tataḥ prathamadhyānād
vyutthāya nirodhasamāpattiṃ samāpadyante / nirodhasamāpatter
vyutthāya dvitīyaṃ dhyānaṃ samāpadyante dvitīyād dhyānād vyutthāya
nirodhasamāpattiṃ samāpadyante / nirodhasamāpatter vyutthāya tṛtīyaṃ
dhyānaṃ samāpadyante / tṛtīyād dhyānād vyutthāya nirodhasamāpattiṃ
samāpadyante / nirodhasamāpatter vyutthāya caturthaṃ dhyānaṃ
samāpadyante / caturthād dhyānād vyutthāya nirodhasamāpattiṃ
samāpadyante / nirodhasamāpatter vyutthāyākāśānantyāyatanaṃ
samāpadyante / ākāśānantyāyatanād vyutthāya nirodhasamāpattiṃ
samāpadyante / nirodhasamāpatter vyutthāya vijñānānantyāyatanaṃ
samāpadyante / vijñānānantyāyatanād vyutthāya nirodhasamāpattiṃ
samāpadyante / nirodhasamāpatter vyutthāyākīñcanyāyatanaṃ
samāpadyante / ākiñcanyāyatanād vyutthāya nirodhasamāpattiṃ
samāpadyante / nirodhasamāpatter vyutthāya naivasamjñānāsamjñāyatanaṃ
samāpadyante / naivasamjñānāsamjñāyatanād vyutthāya nirodhasamāpattiṃ
samāpadyante / evaṃ khalu śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ
prajñāpāramitāyāṃ caranta upāyakausalena samānvāgatā imāni dhyānāni
apramāṇāni ca samādhisamāpattīś ca viṣkadya samāpadyante /
asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvās caturṇām smṛtyupasthānānām
lābhinaś caturṇām samyakprahāṇānām lābhinaś caturṇām rddhipādānām*

*lābhinaḥ pañcānāṃ indriyāṇāṃ lābhinaḥ pañcānāṃ balānāṃ
 lābhinaḥ saptānāṃ bodhyaṅgānāṃ lābhinaḥ āryyaśṣṭāṅgamārgasya
 lābhinaḥ caturṇāṃ āryyasatyānāṃ lābhinaḥ dhyānānāṃ lābhinaḥ
 caturṇāṃ apramāṇānāṃ* {Ghosa1913, p. 274} *lābhinaś catasṛṇāṃ
 ārūpyasamāpattināṃ lābhinaḥ aṣṭānāṃ vimokṣāṇāṃ lābhinaḥ navānāṃ
 anupūrvavāhārasamāpattināṃ lābhinaḥ śūnyatānimittāprañihita-
 vimokṣamukhānāṃ lābhinaḥ abhijñānāṃ lābhinaḥ samādhināṃ lābhinaḥ
 dhāraṇimukhānāṃ lābhinaḥ daśānāṃ tathāgatabalānāṃ lābhinaḥ caturṇāṃ
 vaiśāradyānāṃ lābhinaḥ catasṛṇāṃ pratisamvidāṃ lābhinaḥ aṣṭādaśānāṃ
 āveṇīkabuddhadharmmāṇāṃ lābhinaḥ trayāṇāṃ vimokṣamukhānāṃ
 lābhinaḥ na ca śrota-āpattiḥ phalam anuprāpnuvanti / na sakṛdāgāmiphalam
 anuprāpnuvanti / nānāgāmiphalam anuprāpnuvanti / nārhattvam
 anuprāpnuvanti / na pratyekabodhim anuprāpnuvanti / prajñāpāramitāyāṃ
 caranta upāyakausalena pariḡrhitāḥ āryyaśṣṭāṅgamārgaṃ sattvebhya
 upadarśayanti yena te sattvāḥ śrota-āpattiḥ phalam anuprāpnuvanti /
 sakṛdāgāmiphalam anuprāpnuvanti / anāgāmiphalam anuprāpnuvanti /
 arhattvam anuprāpnuvanti / pratyekabodhim anuprāpnuvanti / yac
 chāradvatīputra śrāvakaḥ pratyekabuddhānāṃ phalaprāptijñānaṃ
 sā bodhisattvasya mahāsattvasya kṣāntiḥ / ime śāradvatīputra
 bodhisattvamahāsattvā avaiarttikā veditavyā / ye 'nayā prajñā-
 pāramitāyaivaṃ viharanti /
 asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvā ye śaṭpāramitā susthitvā
 tuṣṭābhavaṇaṃ śodhayanti / te khalu punaḥ śāradvatīputra bodhisattvā
 mahāsattvāḥ bhadrakalpikā veditavyāḥ /
 asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ prajñāpāramitāyāṃ carantaś
 caturṇāṃ dhyānānāṃ lābhinaś caturṇāṃ apramāṇānāṃ lābhinaś
 catasṛṇāṃ ārūpyasamāpattināṃ lābhinaḥ saptatrimśatāṃ bodhipakṣāṇāṃ
 dharmmāṇāṃ* {Ghosa1913, p. 275} *lābhinaḥ ṣaṇṇāṃ abhijñānāṃ lābhino
 daśatathāgatabalānāṃ lābhinaś caturṇāṃ vaiśāradyānāṃ lābhinaś*

(152)

*catasṛṅṇām pratisamvidāṃ lābhinaḥ aṣṭādaśāveṇīkabuddhadharmmāṅṇām
lābhinaḥ te 'trānubodhāya caranti caturṅṇām satyānām na ca satyāni
pravividhyanti / te khalu punaḥ śāradvatīputra bodhi-*

Kj

行般若波羅蜜時、得四禪・四無量心・四無色定、遊戲其中入初禪。從初禪起、入滅盡定。從滅盡定起、乃至入四禪。後四禪起、入滅盡定。從滅盡定起、入虛空處。從虛空處起、入滅盡定。從滅盡定起、乃至入非有想非無想處。從非有想非無想處起、入滅盡定。如是、舍利弗、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜、以方便力故、入超越定。

舍利弗、有菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、修四念處乃至十八不共法、不取須陀洹果・斯陀含果・阿那含果・阿羅漢果・辟支佛道、以方便力爲度衆生故。起八聖道分。以是八聖道分、令得須陀洹果乃至辟支佛道」

佛告舍利弗「一切阿羅漢・辟支佛果及智、是菩薩摩訶薩無生法忍。

舍利弗、是菩薩摩訶薩如是行般若波羅蜜、當知是阿惟越致地中住。

舍利弗、有菩薩摩訶薩住六波羅蜜、莊嚴兜率天道、當知是賢劫中菩薩。

舍利弗、有菩薩摩訶薩修四禪乃至十八不共法、未證四諦、

(LPG 30r)²¹ Dhr 157b5-24; Mo 8a24-b7; Kj 226b5-20; Xz(II) 19c9-20a21;
Xz(III) 440c18-441a9; PvsP(K) I 83.21, 84.6-12, 84.23-28, 85.12-20; PvsP(D)
65.12, 66.8-14, 67.6-10, 68.4-10; AdsP(Tib.U) ka 55a5-56b2; AdsP(Tib.S) ka
59b1-61a7; AdsP(Tib.Pk) ni 36a7-37a5; AdsP(Tib.D) ka 41a2-42a2; PvsP(Tib.
U) ka 78a8-79b2; PvsP(Tib.S) ka 86b5-88a5; PvsP(Tib.Pk) nyi 68a5-69a5;
PvsP(Tib.D) ka 66a6-67a5; IOL San 1492/03 r1-v2

1 [sa]tvā [mahāsa]tvā ekaj(ā)t(i)pr(a)tibaddhā vedita[v]yāḥ || asti
śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvā ṣaṣṣu pāramitāsu caranto lokadhātor
lokadhātum saṃkrāṃanti tatra ca satvā-

²¹ ŚsP(Gh) pp. 275-277 ; ŚsP(Tib.D) ka 166a2-167b1; Xz(I) 40b7-c24.

2 n bodhau samādāpayanti • || tena khalu punaḥ śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvā aprameyair asaṃkhyeyaiḥ kalpair anuttaraṃ samyaksambodhim abhisambudhyante • || asti śāradva-

3 tīputra bodhisatvā mahāsatvā ṣaṣṣu pāramitāsu sthitvā nityam udyuktāḥ satvānāṃ kṛte na kadācid anarthopasaṃhitāṃ vācāṃ bhāṣante • || asti śāradvatīputra bodhisatvā

4 mahāsatvā ṣaṣṣu pāramitāsu carantaḥ satatam udyuktāḥ satvānāṃ kṛte buddhakṣetreṇa buddhakṣetraṃ saṃkrāmaṃti • || satvānāṃ kṛte trīn apāyapathān samucchinnataḥ ||

5 asti śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvā ye ṣaṣṣu pāramitāsu sthitvā dānapāramitāṃ puraskṛtya satvānāṃ sarvasu[kh]opadhānam upasaṃharanti • annam annārthike-

6 bhyaḥ pānaṃ pānarthikebhyo yānapuṣpamālyagandhavilepanaśayāsana-
strābharanaṃprāḥjīvikopāśrayakalpikajīvitapariṣkāraṇ upasaṃharanti • || asti

7 śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvāḥ prajñāpāramitāyāṃ caranti • ye śīlapāramitāṃ puraskṛtya satvān kāyavān mānaḥ saṃvare pratiṣṭhāpayanti • kṣāntipāramitāyāṃ

8 sthitvā akrodhavyāpāde satvān pratiṣṭhāpayanti • vīryapāramitāyāṃ sthitvā kuśaladharmā[bh]īyoge satvān pratiṣṭhāpayanti • dhyānapāramitāyāṃ sthitvā tathāgataikā-

9 gratāyāṃ kāmaviveka ca <sa>tvān²² pratiṣṭhāpayanti • || asti śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvā prajñāpāramitāyāṃ caranto yādṛśa eva tathāgatas tādṛśa

10 evātmabhāvam abhinirmāya nairayikāṇāṃ satvānāṃ tiryagyonikānāṃ yāmalaukikānāṃ satvānāṃ {..} sarvadurgatisamatikramāya dharman deśayanti • || asti sāra-

11 dvatīputra bodhisatvā mahāsatvā ṣaṣṣu pāramitāsu sthitvā yādṛśo buddhavigrahas tādṛśa evātmabhāvam abhinirmāya pūrvasyān diśi

²² kāmaviveka ca <sa>tvān: ŚsP(Gh): kāmaviveke ca satvān.

(154)

gaṃgānadvālukopa-

12 māni buddhakṣetrāṇy upasaṃkramya satvānāṃ dharman deśayante • ||
tathāgatān paryupāsayingante dharmāṃ ca śṛṇvanti • || bodhisatvasaṃghaṃ ca
buddhakṣetravyūhāṃś ca paśyan(t)i • [||]

PvsP(K)I

LPG30r1 = 83.21.

(bodhi)sattvā mahāsattvā ekajātipratibaddhā veditavyāḥ. (LPG29v 10-12!)

LPG30r1-3 = 84.6-12 = D.66.8-14.

*santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā ye śaṭpāramitāsu caranto lokadhātor
lokadhātum saṃkrāmanti, tatra ca sattvān bodhaye pratiṣṭhāpayiṣyanti, te
nityam udyuktāḥ sattvānāṃ kṛtaśo na kadācid anarthasaṃhitāṃ vācaṃ
bhāṣante, sattvānāṃ kṛtaśo nityam udyuktā buddhakṣetreṇa buddhakṣetraṃ
saṃkrāmanti, te 'pi bodhisattvā mahāsattvāḥ sattvānāṃ kṛtaśo 'saṃkhyeyair
aprameyaiḥ kalpair nānābuddhakṣetreṣu anuttarāṃ samyaksaṃbodhim
abhisaṃbudhyante.*

LPG30r5-6²³ = 84.23-28.

*santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā ye śaṭsu pāramitāsu carantaś
cakravartino bhūtvā dānapāramitāṃ puraskṛtya sarvasattvānāṃ
sarvasukhopadhānāny upasaṃhariṣyanti, annam annārthikebhyaḥ pānaṃ
pānārthikebhyaḥ, evaṃ gandhamālyavilepanacūrṇadhūpaśayanāsano-
pāśrayagrhadhanadhānyamaṇimuktāsuvarṇarūpyapra vāḍābharaṇāni
jīvitopakaraṇāni upasaṃhariṣyanti,*

LPG 9-12²⁴ = 85.12-20.

santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā ye tathāgatasadrśam ātmabhāvam

²³ LPG30r4. satvānāṃ kṛte trīn apāyapathān samucchinnattaḥ || : *omitted in PVsP(K), ŚsP(Gh): sattvānāṃ trīn apāyapathāṃ chidyantaḥ.*

²⁴ LPG30r7-9. śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ prajñāpāramitāyāṃ caranti • ye śīlapāramitāṃ puraskṛtya ... kāmaviveka ca <sa>tvān pratiṣṭhāpayanti • : *omitted in PVsP(K), ŚsP(Gh): asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ ye śaṭpāramitāsu sthītvāṃ śīlapāramitāṃ puraskṛtya ... kāmaviveke ca sattvān pratiṣṭhāpayanti.*

*abhinirmāya tuṣitabhavanaṃ pariśodhya brahmakāyikeṣu deveṣu yāvad
 akaniṣṭheṣu deveṣūpapadyopāyakauśalyena nairayikāṇāṃ sattvānāṃ
 dharmāṃ deśayanti, tiryagyonigatānāṃ sattvānāṃ dharmāṃ deśayanti,
 yāmalaulikānāṃ sattvānāṃ dharmāṃ deśayanti. santi śāriputra bodhi-
 sattvā mahāsattvā ye ṣaṭsu pāramitāsu sthitvā yādṛśas tathāgatakāyas
 tādṛśam ātmabhāvam abhinirmāya gaṅgānadivālukopamāni buddha-
 kṣetrāṇy upasaṃkramya sattvānāṃ dharmāṃ deśayanti, tathāgatāṃś ca
 paryupāsate*

ŚsP(Gh)

*sattvā mahāsattvā ekajātipratibaddhā veditavyāḥ /
 asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvā ṣaṭsu pāramitāsu
 caranto lokadhātor lokadhātuṃ saṃkrāmanti / tatra sattvān bodhau
 samādāpayanti / buddhakṣetraṅ ca pariśodhayanti / te khalu punaḥ
 śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ aprameyair asaṃkhyeyaiḥ kalpair
 anuttarāṃ samyaksambodhim abhisambhotsyante /
 asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ ṣaṭsu pāramitāsu sthitvā
 nityam udyuktāḥ sattvānāṃ kṛte / te na kadācid anarthopasaṃhitā vacam
 ābhāṣante / nāpy anarthopasaṃhitaṃ kāyavāṇamanaskarma kurvanti /
 asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ ṣaṭsu pāramitāsu sthitvā sa
 tatrodyuktāḥ sattvānāṃ kṛte buddhakṣetreṇa buddhakṣetraṃ saṃkrāmanti /
 sattvānāṃ trīṇ apāyapathāṃ chidyantaḥ /
 asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ ṣaṭsu pāramitāsu sthitvā
 dānapāramitāyāṃ puraskṛtya sarvvasattvānāṃ sarvvasukhopadhānam
 upasaṃharanti / annam annārthikebhyaḥ pānaṃ pānārthikebhyaḥ yānaṃ
 yānārthikebhyaḥ puṣpaṃ puṣpārthikebhyaḥ gandhaṃ gandhārthikebhyaḥ
 mālyāṃ mālyārthikebhyaḥ vilepanaṃ vilepanārthikebhyaḥ śayyāsanaṃ
 śayyāsanārthikebhyaḥ {Ghosa1913, p. 276} vastraṃ vastrārthikebhyaḥ
 ābharaṇam ābharaṇārthikebhyaḥ prājīvikam prājīvikārthikebhyaḥ*

(156)

*upāśrayam upāśrayārthikebhyaḥ kalpikajīvitapariṣkārān upasaṃharanti /
asti sāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ ye śaṭpāramitāsu sthitvā
śīlapāramitāṃ puraskṛtya sattvān kāyavānmanahsamvare pratiṣṭhāpayanti /
asti sāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvā ye śaṭsu pāramitāsu sthitvā
kṣāntipāramitāṃ puraskṛtyākrodhavyāpāde sattvān pratiṣṭhāpayanti /
asti sāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvā ye śaṭsu pāramitāsu sthitvā
vīryapāramitāṃ puraskṛtya sarvakuśaladharmābhīyoge sattvān
pratiṣṭhāpayanti /
asti sāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ ye śaṭsu pāramitāsu sthitvā
dhyānapāramitāṃ puraskṛtya śamathaikāgratāyāṃ kāmaviveke ca sattvān
pratiṣṭhāpayanti /
asti sāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ ye śaṭsu pāramitāsu sthitvā
prajñāpāramitāṃ puraskṛtya yādṛśa eva tathāgatavīgrahas tādṛśam
ātmabhāvam abhinirmāya nairayikāṇāṃ sattvānāṃ tiryagyoniगतानां
sattvānāṃ yāmalaukikānāṃ sattvānāṃ sarvadurgatisamatikramāya
dharmāṃ deśayanti /
asti sāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ ye śaṭsu pāramitāsu sthitvā
yādṛśo buddhavīgrahas tādṛśam ātmabhāvam abhinirmāya pūrvasyān
diśi gaṅgānadīvālukopamāni buddhakṣetrāṇy upasaṃkramya sattvebhyo
dharmāṃ deśayanti / {Ghosa1913, p. 277} tathāgatān paryyupāsante
dharmāṃ ca śṛṇvanti / bodhisattvasaṃghaṃ ca buddhakṣetraguṇavyuhāṃś
ca paśyanti /*

Kj

當知是菩薩一生補處。

舍利弗、有菩薩摩訶薩無量阿僧祇劫修行、得阿耨多羅三藐三菩提。

舍利弗、有菩薩摩訶薩住六波羅蜜、常勤精進、利益衆生、不說無益之事。

舍利弗、有菩薩摩訶薩行六波羅蜜、常勤精進、利益衆生、從一佛國至一佛國、斷衆生三惡道。

舍利弗、有菩薩摩訶薩住六波羅蜜、以檀那爲首安樂一切衆生、須飲食與飲食・衣服・臥具・瓔珞・花香・房舍・燈燭、隨人所須盡給與之。

舍利弗、有菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、變身如佛、爲地獄中衆生說法、爲畜生・餓鬼中衆生說法。

舍利弗、有菩薩摩訶薩行六波羅蜜時、變身如佛、遍至十方如恒河沙等諸佛國土、爲衆生說法、亦供養諸佛及淨佛國土、聞諸佛說法。

(LPG 30v)²⁵ Dhr 157b25-c9; Mo 8b7-18; Kj 226b20-c5; Xz(II) 20a21-b6; Xz(III)441a9-26; PvsP(K) I 85.20-29, 86.10-28; PvsP(D) 68.10-69.2, 69.10-70.7; AdsP(Tib.U) ka 56b2-57b1; AdsP(Tib.S) ka 61a7-62a4; AdsP(Tib.Pk) ni 37a5-b8; AdsP(Tib.D) ka 42a2-b5; PvsP(Tib.U) ka 79b2-80b1; PvsP(Tib.S) ka 88a5-89a2; PvsP(Tib.Pk) nyi 69a5-70a3; PvsP(Tib.D) ka 67a6-68a3; IOL San 1492/03 v2-6

1 te tatra buddhakṣetreṣu nimit[t]āni gṛhitvā udā(r)atarāṇi ca viśiṣṭatarāṇ(i) ca buddhakṣetrāṇi niṣpādayanti • eva dakṣiṇasyāṃ paścimā[yā]m uttarasyā[m] adhastād upari(ṣṭ) .. yāvat²⁶ sa-

2 mantād daśasu dikṣv ekaikasyān diśi gaṃgānadivālukāsamāni buddhakṣetrāṇy upasaṃkramya satvānāṃ dharman deśayanti tathāgatān paryupāsayanti dharmāṃ ca śṛṇvan(t)i bodhisatva-

3 saṃghaṃ ca buddhakṣetravyūhāṃś ca paśyanti • || te tatra buddhakṣetreṣu nimittāni gṛhitvā udātarāṇi ca viśiṣṭatarāṇi ca buddhakṣetrāṇi niṣpādayanti • ekajātipratibaddhā-

4 ś ca bodhisatvā mahāsatvās tatra buddhakṣetreṣu niṣpadyante • || asti śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvā ṣaṣṭsu pāramitāsu caranto dvātriṃśatā mahāpuruṣa-

5 lakṣaṇaiḥ samanvāgatā bhūtvā uttaptaiḥ pariśud(dh)[ai]ś cend(r)iyai

²⁵ ŚsP(Gh) pp. 277-280; ŚsP(Tib.D) ka 167b1-170a2; Xz(I) 40c24-41a13.

²⁶ upari(ṣṭ) .. yāvat: *Read* upari(ṣṭ)ād yāvat.

(158)

samanvāgatā bhavanti • te taiḥ pariśuddhair ātmabhāvai bahujanasya
prītipramādaṃ janayaṃti • || te bahujana-

6 sya pṛyās ca bhavanti • manāpās ca te ca satvās tenaiva cittaprasādakuśala-
mūlenānupūrveṇa tṛbhīr yānaiḥ parinirvānti • || evaṃ khalu śāradvatīputra
bodhisatvena ma-

7 hāsātvena prajñāpāramitāyāṃ caratā kāyapariśuddhay[e] śikṣitavyam*
vākpariśuddhaye manaḥpariśuddhaye ca śikṣitavyam* || asti śāradvatīputra
bodhisatvā ma-

8 hāsātvaḥ ṣaṣṭsu pāramitāsu caranta [u]ttaptānīndriyāṇi pratilabhante • te
tai{ḥ}r uttaptair indriyair nātmānam utkarṣayaṃti na parān paṃsayaṃti •
asti śāradvatīputra bodhi-

9 satvā mahāsatvā prathamacittotpādam upādāya dānapāramitāyāṃ
śīlapāramitāyāṃ sthitvā na kadācid dāridryaṃ nigacchaṃti • na
durgativinipātaṃ prapataṃti •

10 yāvan nāvaivartyabhūmim anuprāpnuvaṃti • || asti śāradvatīputra
bodhisatvā mahāsatvā prathamacittotpādam upādāya daśakuśalāṃ
karmapathān na jātūtsṛjanti yā-

11 van nāvaivartyabhūmim anuprāpnuvaṃti • || asti śāradvatīputra
bodhisatvā mahāsatvāḥ prathamacittotpādam upādāya daśakuśalān
karmapathān na jātūtsṛjanti • yā-

12 (va)n (n)āvaivar(tya)bh(ū)mim anuprāp(nu)vanti • || asti śāradvatīputra
bodhisatvā mahāsatvā dānapāramitāyāṃ śīlapāramitāyāṃ ca sthitvā rājāno
bhavanti cakravartinaḥ

PvsP(K) I

LPG30v1-4=85.20-29.

*buddhakṣetraṃ ca niṣpādayanti, dharmāṃ ca śṛṇvanti, evaṃ
pūrvasyāṃ diśi dakṣiṇasyāṃ paścimāyāṃ uttarasyāṃ uttarapūrvasyāṃ
pūrvadakṣiṇasyāṃ dakṣiṇapaścimāyāṃ paścimottarasyāṃ ūrdhvam*

adhaḥ sarvāsu daśasu dikṣu ekaikasyāṃ adisi gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu gatvā sattvānāṃ dharmāṃ deśayanti, buddhakṣetrāṇi ca niṣpādayanti, buddhāṃś ca paryupāsate, dharmāṃ ca śṛṇvanti, te tebhyo buddhakṣetrebhyo nirmitāni nirmāya śreṣṭhāni viśiṣṭāny anuttarāṇi buddhakṣetrāṇi niṣpādayanti, ekajātipratibaddhās ca bodhisattvā mahāsattvās tatra tatra buddhakṣetreṣūpapadya nānābuddhakṣetreṣu anuttarāṃ samyaksaṃbodhim abhisamḃudhyante.

LPG30v4-12=86.10-28.

santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā ye ṣaṭpāramitāsu caranto dvātriṃśan mahāpuruṣalakṣaṇālaṃkṛtamūrtayo niruttaraiḥ pariśuddhair indriyaiḥ samanvāgatā bhavanti, te taiḥ pariśuddhair indriyaiḥ samanvāgatā bahujanasya priyās ca bhavanti, manaāpās ca ye punaḥ sattvās tān bodhisattvān mahāsattvān paśyanti, te tenaiva cittaprasādenānupūrveṇa tribhir yānaiḥ parinirvānti, evaṃ hi śāriputra bodhisattvena mahāsattvena kāyapariśuddhaye śikṣitavyaṃ vākpariśuddhaye śikṣitavyaṃ manaḥpariśuddhaye śikṣitavyaṃ.

santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā ye ṣaṭsu pāramitāsu caranta uttaptānīndriyāṇi pratilabhante, te tair uttaptair indriyair nātmānam utkarṣayanti na parān paṃsayanti.

santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā ye prathamacittotpādam upādāya dānapāramitāyāṃ śīlapāramitāyāṃ sthitvā naivaṃ kadācid apāyadurgati-vinipāteṣūpapadyante yāvad avinivartanīyabhūmim anuprāpnvanti.

santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā ye prathamacittotpādam upādāya na jātu daśakuśalān karmapathān utsrjanti, yāvad avinivartanīyāṃ bhūmim anuprāpnvanti.

santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā ye dānapāramitāyāṃ śīlapāramitāyāṃ sthitvā rājānās cakravartino bhūtvā

ŚsP(Gh)

*te tatra buddhakṣetreṣu nirmmītāni grhītvā udāratarāṇi ca viśiṣṭatarāṇi
ca buddhakṣetrāṇi niṣpādayanty ekajātipratibaddhās ca bodhisattvā
mahāsattvās tatra buddhakṣetreṣu niṣpadyante /*
*dakṣiṇasyāṃ diśi gaṅgānadivālukupamāni buddhakṣetrāṇy upasaṃkramya
sattvebhyo dharmmaṃ deśayanti / tathāgatān paryyupāsante dharmmaṃ
ca śrṇvanti / bodhisattvasaṅghaṃ ca buddhakṣetraguṇavyūhāṃś ca
paśyanti / te tatra buddhakṣetreṣu nirmmītāni grhītvā udāratarāṇi ca
viśiṣṭatarāṇi ca buddhakṣetrāṇi niṣpādayanty ekajātipratilabdhas ca
bodhisattvā mahāsattvās tatra buddhakṣetreṣu niṣpadyante / paścimāyāṃ
diśi gaṅgānadivālukupamāni buddhakṣetrāṇy upasaṃkramya sattvebhyo
dharmmaṃ deśayanti / tathāgatān paryyupāsante / dharmmaṃ ca śrṇvanti
bodhisattvasaṅghaṃ ca buddhakṣetraguṇavyūhāṃś ca paśyanti / te
tatra buddhakṣetreṣu nirmmītāni grhītvā udāratarāṇi ca viśiṣṭatarāṇi
ca buddhakṣetrāṇi niṣpādayanty ekajātipratilabdhas ca bodhisattvā
mahāsattvāḥ tatra buddhakṣetreṣu niṣpadyante / uttarasyāṃ diśi
gaṅgānadivālukupamāni buddhakṣetrāṇy upasaṃkramya sattvebhyo
dharmmaṃ deśayanti / tathāgatān paryyupāsante / dharmmaṃ
ca śrṇvanti bodhisattvasaṅghaṃ ca buddhakṣetraguṇavyūhāṃś ca
paśyanti / te tatra buddhakṣetreṣu nirmmītāni grhītvā udāratarāṇi
ca viśiṣṭatarāṇi ca buddhakṣetrāṇi niṣpādayanty ekajātipratilabdhas
ca bodhisattvā mahāsattvāḥ tatra buddhakṣetreṣu niṣpadyante /
uttarapūrvasyāṃ diśi gaṅgānadivālukupamāni buddhakṣetrāṇy
upasaṃkramya sattvebhyo dharmmaṃ deśayanti / tathāgatān
{Ghosa1913, p. 278} paryyupāsante / dharmmaṃ ca śrṇvanti
bodhisattvasaṅghaṃ ca buddhakṣetraguṇavyūhāṃś ca paśyanti / te
tatra buddhakṣetreṣu nirmmītāni grhītvā udāratarāṇi ca viśiṣṭatarāṇi
ca buddhakṣetrāṇi niṣpādayanti / ekajātipratilabdhas ca bodhisattvā
mahāsattvās tatra buddhakṣetreṣu niṣpadyante / pūrvadakṣiṇasyāṃ
diśi gaṅgānadivālukupamāni buddhakṣetrāṇi upasaṃkramya sattvebhyo*

dharmmaṃ deśayanti / tathāgatān paryyupāsante / dharmmañ ca śrṇvanti / bodhisattvasaṃghaṅ ca buddhakṣetraguṇavyūhāṃś ca paśyanti / te tatra buddhakṣetreṣu nirmmītāni grhītvā udāratarāṇi ca viśiṣṭatarāṇi ca buddhakṣetrāṇi niṣpādayanti / ekajātipratilabdhās ca bodhisattvā mahāsattvāḥ tatra buddhakṣetreṣu niṣpadyante / dakṣiṇapaścimāyāṃ diśi gaṅgānadīvālukopamāni buddhakṣetrāṇy upasaṃkramya sattvebhyo dharmmaṃ deśayanti / tathāgatān paryyupāsante dharmmaṃ śrṇvanti bodhisattvasaṃghaṅ ca buddhakṣetraguṇavyūhāṃś ca paśyanti / te tatra buddhakṣetreṣu nirmmītāni grhītvā udāratarāṇi ca viśiṣṭatarāṇi ca buddhakṣetrāṇi niṣpādayanti / ekajātipratilabdhās ca bodhisattvā mahāsattvās tatra buddhakṣetreṣu niṣpadyante / paścimottarasāyāṃ diśi gaṅgānadīvālukopamāni buddhakṣetrāṇy upasaṃkramya sattvebhyo dharmmaṃ deśayanti / tathāgatān paryyupāsante / dharmmañ ca śrṇvanti / bodhisattvasaṃghaṅ ca buddhakṣetraguṇavyūhāṃś ca paśyanti / te tatra buddhakṣetreṣu nirmmītāni grhītvā udāratarāṇi ca viśiṣṭatarāṇi ca buddhakṣetrāṇi niṣpādayanti / ekajātipratilabdhās ca bodhisattvā mahāsattvāḥ tatra buddhakṣetreṣu niṣpadyante / adhistād diśi gaṅgānadīvālukopamāni buddhakṣetrāṇy upasaṃkramya sattvebhyo dharmmaṃ deśayanti / tathāgatān paryyupāsante / dharmmañ ca śrṇvanti / bodhisattvasaṃghaṅ ca buddhakṣetraguṇavyūhāṃś ca paśyanti / te tatra buddhakṣetreṣu nirmmītāni grhītvā udāratarāṇi ca viśiṣṭatarāṇi ca buddhakṣetrāṇi niṣpādayanti / ekajātipratilabdhās ca bodhisattvā mahāsattvās tatra buddhakṣetreṣu niṣpadyante / upariṣṭād diśi gaṅgānadīvālukopamāni buddhakṣetrāṇy upasaṃkramya sattvebhyo dharmmaṃ deśayanti / tathāgatān paryyupāsante / dharmmañ ca śrṇvanti / bodhisattvasaṃghaṅ ca buddhakṣetraguṇavyūhāṃś ca paśyanti / te tatra buddhakṣetreṣu nirmmītāni grhītvā udāratarāṇi ca viśiṣṭatarāṇi ca buddhakṣetrāṇi niṣpādayanti / ekajātipratilabdhās ca bodhisattvā mahāsattvās tatra buddhakṣetreṣu niṣpadyante /

(162)

asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ ṣaṭsu pāramitāsu caranto dvātriṃśatā mahāpuruṣalakṣaṇaiḥ samanvāgatā bhūtvā uttaptair aparīśuddhaiś cendriyaiḥ samanvāgatā bhavanti / tais taiḥ parīśuddhair ātmabhāvair bbahujanasya prītiprasādaṃ janayanti / te ca bahujanasya priyās ca bhavanti / manāpās ca te sattvās tenaiva cittaprasādakuśalamūlenānupūrvveṇa tribhir yānaiḥ parinirvānti / evaṃ khalu śāradvatīputra bodhisattvena mahāsattvena prajñāpāramitāyāṃ caratā kāyapariśuddhau śikṣitavyaṃ / vākyapariśuddhau śikṣitavyaṃ / manaḥparīśuddhau śikṣitavyaṃ /

asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ ṣaṭsu pāramitāsu {Ghosa1913, p. 280} carantaḥ uttaptānīndriyāṇi pratilabhante tair uttaptair indriyair ātmānam utkarṣayanti na parān paṃsayanti /

asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ prathamacittotpādam upādāya dānapāramitāyāṃ śīlapāramitāyāṃ ca sthitvā na kadācid dāridryaṃ gacchanti / na durgativinipātaṃ prapatanti / yāvan nāvaiivarttikabhūmim anuprāpnuvanti /

asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ prathamacittotpādam upādāya daśakuśalān karmmapathān na jātūtsrjanti / yāvan nāvaiivarttikabhūmim anuprāpnuvanti /

asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ dānapāramitāyāṃ śīlapāramitāyāṃ ca sthitvā rājāno bhavanti cakravarttinaḥ /

Kj

觀採十方淨妙國相、而已自起殊勝國土、其中菩薩摩訶薩皆是一生補處。

舍利弗、有菩薩摩訶薩行六波羅蜜時、成就三十二相諸根淨利。諸根淨利故、衆人愛敬。以愛敬故、漸以三乘法而度脫之。如是、舍利弗、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、應學身清淨・口清淨。

舍利弗、有菩薩摩訶薩行六波羅蜜時、得諸根淨、以是淨根、而不自高、亦不下他。

舍利弗、有菩薩摩訶薩從初發心住檀那波羅蜜・尸羅波羅蜜、乃至阿惟越致地、

終不墮三惡道。

舍利弗、有菩薩摩訶薩從初發心乃至阿惟越致地、常不捨十善行。

舍利弗、有菩薩摩訶薩住檀那波羅蜜・尸羅波羅蜜中、作轉輪聖王。

(LPG 31r)²⁷ Dhr 157c9-27; Mo 8b18-8c1; Kj 226c5-22; Xz(II) 20b6-28; Xz(III) 441a26-b17; PvsP(K) I 86.28-87.4, 87.24-27, 88.21-25, 88.28-89.12; PvsP(D) 70.7-13, 71.8-10, 72.13-73.11; AdsP(Tib.U) ka 57b1-58b2; AdsP(Tib.S) ka 62a4-63b1; AdsP(Tib.Pk) ni 37b8-38b3; AdsP(Tib.D) ka 42b5-43b2; PvsP(Tib.U) ka 80b1-81a8; PvsP(Tib.S) ka 89a2-90a2; PvsP(Tib.Pk) nyi 70a3-71a1; PvsP(Tib.D) ka 68a3-68b6

1 (te) daśakuśa karm(a)pa [sa]tvān pratiṣṭh(āpa)yanti²⁸ • dān(e)na pṛyavadyatayā satvān pratiṣṭhāpayanti • || asti śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvā

2 dānapāramitāyāṃ śīlapāramitāyāṃ ca sthitvānekāni cakravartirājyāni pariḡrḥṇaṃti • || anekāni ca cakravartirājyaśatasahasrāṇi kārayaṃti || tatra ca sthitvā

3 (')nekāni buddhaśatasahasrāṇy ārāgayanti • || tāṃś ca buddhāṃ bhagavataḥ satkurvaṃti gurukur[v]anti mānayaṃti pūjayaṃti • || asti śāradvatīputra bodhisatvā mahā-

4 satvā ṣaṭsu pāramitāṣu sthitvā satvānāṃ dharmāvabhāsaṃ kurvanti • ātmanā ca tena dharmāvabhāseṇa na kadācid viharitā²⁹ bhavaṃti • yāvad anuttarāṃ samyaksaṃbodhim a-

5 bhisambudhyante • || ayaṃ śāradvatīputra bodhisatvānāṃ mahāsatvānā[sa]m udayo buddhadharmeṣu tasmāt tarhi śāradvatīputra bodhisatvena mahāsatvena prajñāpāra-

²⁷ ŚsP(Gh) pp. 280-281; ŚsP(Tib.D) ka 170a2-171a2; Xz(I) 41a13-b7.

²⁸ (te) daśakuśa karm(a)pa [sa]tvān pratiṣṭh(āpa)yanti: ŚsP(Gh): te daśakuśaleṣu karmmapatheṣu sattvān pratiṣṭhāpayanti.

²⁹ viharitā: S. e. for virahitā.

(164)

6 mitāyāṃ caratā sāvady[ā]nāṃ kāyavāgmanaskarmaṇām avakāśo na
dā[t]avyaḥ || evam ukte āyusmāṃ cchāradvatīputro bhagavantam etad
avocat* katama-

7 sya bhagavan bodhisatvasya mahāsatvasya sāvadyaṃ kāyakarma sāvadyaṃ
vākkarma sāvadyaṃ manaskarmaḥ bhagavān āha • yadā śāradvatīputra
bodhisa-

8 tvasya mahāsatvasyaivaṃ bhavati • ayaṃ kāyo yena kāyāraṃbhaṃ kuryāt*
ayaṃ vāg yayā vāgāraṃbhaṃ kuryāt* idaṃ mano yena manaāraṃbhaṃ
kuryāt* ayaṃ śāradvatīpu-

9 tra bodhisatvasya mahāsatvasya kāyavānmanaskarmāraṃbhaḥ na
śāradvatīputra bodhisatvo mahāsatvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran kāyam
upalabhate na vācaṃ

10 na cittam upalabhate • sacce chāradvatīputra bodhisatvo mahāsatvaḥ
prajñāpāramitāyāṃ caran kāyam upalabhate na vācaṃ na cittam
upalabhate • || sacce chāradvati-

11 putra bodhisatvo mahāsatvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran kāyam upalabheta
vācam upalabheta cittam upalabheta • yena kāyena vācā manasā mātsaryaci-

12 ttam utpādayet* || dauḥṣilyacittam utpādayed vyāpādacittam utpādayet
kau[s]idyacittam vikṣepacittam dauṣprajñyacittam utpādayet* naivaṃ
śāradvatīputra veditavyam* yad bodhisatvo-

PvsP(K) I

LPG31r1-3=86.28-87.4.

*dānaṃ sattvebhyo dattvā tān eva daśakuśalakarmapatheṣu pratiṣṭhāpayanti.
santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā ye dānapāramitāyāṃ
śīlapāramitāyāṃ sthitvā anekāni cakravartirājyaśatāni parigrhṇanti,
anekāni cakravartirājyaśatasahasrāṇi parigrhṇanti, tatra sthitvā
anekāni ca buddhakoṭīniyutaśatasahasrāṇi ārāgayanti, tāṃś ca buddhān
bhagavataḥ satkurvanti gurukurvanti mānayanti pūjayanti, tato 'nuttarāṃ*

samyaksaṃbodhim abhisambudhyante.

LPG31r3-5=87.24-27.

santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā ye śaṣṭsu pāramitāsu sthitvā sattvānāṃ buddhadharmāvabhāsaṃ kurvanti, ātmanāpi buddhadharmāvabhāsenāviraḥitā bhavanti, yāvad anuttarāṃ samyaksaṃbodhim abhisambudhyante.

LPG31r3-5=88.21-25.

amī śāriputrāvaivartikā bodhisattvā mahāsattvā yeṣāṃ ayam udayo buddhadharmeṣu tasmāt tarhi śāriputra bodhisattvena mahāsattvena prajñāpāramitāyāṃ caratā sāvadyasya kāyavānmanaskarmaṇo 'vakāśo na dātavyaḥ

LPG31r6-12=88.28-89.12.

evam ukte āyuṣmān śāriputro bhagavantam etad avocat: katamad bhagavan sāvadyaṃ kāyakarma sāvadyaṃ vākkarma sāvadyaṃ manaskarma?

evam ukte bhagavān āyuṣmantam śāriputram etad avocat: iha śāriputra bodhisattvasya mahāsattvasyaivaṃ bhavati, katamaḥ sa kāyaḥ, yena kāyena kāyakarma samārabheya, katamā sā vāg, yayā vākkarma samārabheya, katamat tan manaḥ, yena manaskarma samārabheya? evam upaparikṣamāṇaḥ kāyam upalabhate, vācam upalabhate, mana upalabhate, ayaṃ śāriputra bodhisattvasya mahāsattvasya kāyavānmanaskarmasamārambhaḥ sāvadyaḥ.

na khalu punaḥ śāriputra bodhisattvo mahāsattvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran kāyam upalabhate, na vācam upalabhate, na mana upalabhate, yena kāyena vācā manasā mātṣaryadauḥśīlyavyāpādakausīdyavikṣepadauspraññācittam utpādayet. asthānam etac chāriputrānavakāśo yad bodhisattvo

ŚsP(Gh)

te daśakuśaleṣu karmmapatheṣu sattvān pratiṣṭhāpayanti / dānena ca priyavadyatayā sattvān saṃgrhṇanti /

asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvā dānapāramitāyāṃ

*śīlapāramitāyāñ ca sthitvānekāni cakravarttirājyāni parigr̥hṇanty
anekāni cakravarttirājyaśatasahasrāṇi kārayanti / tatra ca sthitvānekāni
buddhakoṭīśatasahasrāṇy ārāgayanti / tāmś ca buddhān bhagavataḥ
satkurvanti gurūkurvanti mānayanti pūjayanti sarvvopakaraṇaiḥ
sarvvapūjābhiś ca /*

*asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ ṣaṭsu pāramitāsu
sthitvā satvānāṃ mithyādr̥ṣṭitam aṣṭhānāṃ dharmmāvabhāsaṃ
kurvanti / ātmanā {Ghosa1913, p. 281} ca tena dharmmāvabhāse
na kadācid virahitā bhavanti / yāvad anuttarāṃ samyaksambodhim
abhisambudhyante / ayaṃ śāradvatīputra bodhisattvānāṃ
mahāsattvānāṃ udayo buddhadharmmeṣu / tasmāt tarhi śāradvatīputra
bodhisattvena mahāsattvena prajñāpāramitāyāṃ caratā sāvadyānāṃ
kāyavāñmanaskarmmaṇāṃ avakāśo na dātavyaḥ / evam ukte āyuśmāñ
chāradvatīputro bhagavantam etad avocat / katamaṃ bhagavan
bodhisattvasya mahāsattvasya sāvadyaṃ kāyakarma sāvadyaṃ
vākkarma sāvadyaṃ manaḥkarmma / bhagavān āha / yadā
śāradvatīputra bodhisattvasya mahāsattvasyaivaṃ bhavati / ayaṃ kāyo
yena kāyārambha kuryyāṃ / iyaṃ vāgyayā vāgārambhaṃ kuryyāṃ / idaṃ
mano yena manārambhaṃ kuryyāṃ / ayaṃ śāradvatīputra bodhisattvasya
mahāsattvasya sāvadyakāyavāñmanaḥkarmmaṃrambhaḥ / na hi
śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran kāyam
upalabhate / na vācam upalabhate / na cittam upalabhate / yena kāyena
yayā vācā yena manasā mātsaryacittam utpādayet* dauḥśīlyacittaṃ
vyāpādacittaṃ kauśīdyacittaṃ vikṣepacittaṃ dauṣprajñacittaṃ utpādayet*
naivaṃ śāradvatīputra veditavyam / yad bodhisattvo*

Kj

安立衆生於十善道、亦以財物布施衆生。

舍利弗、有菩薩摩訶薩住檀那波羅蜜・尸羅波羅蜜、無量千萬世作轉輪聖王、值

遇無量百千諸佛、供養・恭敬・尊重・讚歎。

舍利弗、有菩薩摩訶薩常爲衆生以法照明、亦以自照、乃至阿耨多羅三藐三菩提、終不離照明。舍利弗、是菩薩摩訶薩於佛法中已得尊重。舍利弗、以是故、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、身・口・意不淨、不令妄起」

舍利弗白佛言「世尊、云何菩薩身業不淨、口業不淨、意業不淨」

佛告舍利弗「若菩薩摩訶薩作是念『是身、是口、是意、如是取相作緣』。

舍利弗、是名身・口・意不淨。

舍利弗、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、不得身、不得口、不得意。

舍利弗、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、若得身、若得口、若得意、用是得身・口・意故、能生慳心・犯戒心・瞋心・懈心・亂心・愚心。

(LPG 31v)³⁰ Dhr 157c27-158a15; Mo 8c1-11; Kj 226c22~227a12; Xz(II) 20b28-c23; Xz(III) 441b17-c10; PvsP(K) I 89.12-90.10; PvsP(D) 73.11-74.17; AdsP(Tib.U) ka 58b2-59b1; AdsP(Tib.S) ka 63b1-64b4; AdsP(Tib.Pk) ni 38b3-39a6; AdsP(Tib.D) ka 43b2-44a7; PvsP(Tib.U) ka 81a8-82b1; PvsP(Tib.S) ka 90a2-91a5; PvsP(Tib.Pk) nyi 71a1-b8; PvsP(Tib.D) ka 68b6-69b4

1 mahāsatva prajñāpāramitāyāṃ caran kāyavānmanodauṣṭhulyam utpā<da>ye nedam sthānaṃ v[i]dyate • || yaḥ śāradvatīputra bodhisatvo mahāsatvaḥ ṣaṭsu pāramitāsu caran kāyadauṣṭhulyam

2 śodhayati || vānmanodauṣṭhulyam śodhayati • || idaṃ śāradvatīputra bodhisatvasya mahāsatvasyānavadyam kāyavānmanaskarma āha • katham punar bhagavan bodhisatvo mahā-

3 satva kāyadauṣṭhulyam śodhayati vāgdauṣṭhulyam śodhayati • manodauṣṭhulyam śodhayati • || bhagavān āha • yadā śāradvatīputra bodhisatvo ma[hā]sa[tvo] na kāya-

³⁰ ŚsP(Gh) pp.281-283; ŚsP(Tib.D) ka 171a2-172a3; Xz(I) 41b7-c9 .

(168)

4 m upalabhate na vācaṃ na mana{ḥ}-m-upalabhyate³¹ • || evaṃ khalu śāradvatīputra [bo]dhisatvo mahāsatva kāyavānmanodauṣṭhulyaṃ śodhayati • ||
5 punar aparaṃ śāradvatīputra yadā bodhisatvo mahāsatvaḥ prathamacittotpādam upādāya daśakuśal[ā]n karmapathān samādāya vartate • ||

6 na śrāvakacittaṃ vā pratyekabuddhacittaṃ votpādayaty evaṃ bodhisa[tv]a-sya mahāsatvasya kāyavānmanodauṣṭh<h>ulyaṃ pariśuddham iti vadāmi [• ||]
asti śāra-

7 dvatīputra bodhisatvā mahāsatvāḥ prajñāpāramitāyāṃ caranto bodhimārgaṃ pariśodhayamānā dānapāramitāyāṃ caraṃti śīlapāra-

8 mitāyāṃ kṣāntipāramitāyāṃ vīryapāramitāyā<ṃ> dhyānapāramitāyāṃ caranti • āha • katamo bhagavaṃ bodhisatvasya mahāsatvasya bodhi-

9 mārgaḥ bhagavān āha • yadā śāradvatīputra bodhisatvo mahāsatvaḥ na kāyam upala<bha>te na vācaṃ na mana-m-upalabhate³² • na dānapāra-

10 mitāṃ upalabhate • na śīlapāramitāṃ na kṣāntipāramitāṃ na vīryapāramitāṃ na dhyānapāramitāṃ na prajñāpāramitā{ṃ}m upalabhate • na [śr]āva-

11 kayānam upalabhate • na pratyekabuddhayānaṃ na bodhisatvayānaṃ na buddhayānaṃ upalabhate • || ayaṃ śāradvatīputra bodhisatvasya mahāsatva-

12 (sya) bodhimārgaḥ yad uta sarvadharmān (u)[pala]ṃ(bha)[ḥ a]nāy(ū)hāniryūhatā³³ • anena śāradvatīputra mārgeṇa bodhisatvā mahāsatvā ṣaṣṭsu pārami-

PvsP(K) I

mahāsattvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran kāyavānmanodauṣṭhulyam utpādayet, naitat sthānaṃ vidyate. tat kasya hetoḥ? tathā hi śāriputra

³¹ na mana{ḥ}-m-upalabhyate: PvsP(K): na mana upalabhate, ŚsP(Gh): na cittaṃ upalabhate.

³² na mana-m-upalabhyate: PvsP(K): na mana upalabhate, ŚsP(Gh): na cittaṃ upalabhate.

³³ sarvadharmān (u)[pala]ṃ(bha)[ḥ a]nāy(ū)hāniryūhatā: ŚsP(Gh): yad uta sarvadharmān upalambhato anāyūhāniryūhatā.

bodhisattvo mahāsattvaḥ ṣaṣṣu pāramitāsu caran kāyadauṣṭhulyaṃ śodhayati, vāgdauṣṭhulyaṃ śodhayati, manodauṣṭhulyaṃ śodhayati.

śāriputra āha: kathaṃ bhagavan bodhisattvo mahāsattvaḥ kāyavānmanodauṣṭhulyaṃ śodhayati?

bhagavān āha: yataḥ śāriputra bodhisattvo mahāsattvo na kāyam upalabhate, na vācam upalabhate, na mana upalabhate.

evaṃ hi śāriputra bodhisattvo mahāsattvaḥ kāyavānmanodauṣṭhulyaṃ śodhayati, sacet punaḥ śāriputra bodhisattvasya mahāsattvasya prathamacittotpādam upādāya daśa kuśalāḥ karmapathā anuvartante, na ca śrāvakacittaṃ pratyekabuddhacittaṃ cotpādāyati, satatasamitaṃ cāsya sarvasattveṣu mahākāruṇācittaṃ pratyupasthitaṃ bhavati. evaṃ hi śāriputra bodhisattvasya mahāsattvasya kāyavānmanodauṣṭhulyaṃ śuddham iti vadāmi.

santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā ye prajñāpāramitāyāṃ caranto bodhimārgaṃ pariśodhayanto dānapāramitāyāṃ caranti, śīlapāramitāyāṃ caranti, kṣāntipāramitāyāṃ caranti, vīryapāramitāyāṃ caranti, dhyānapāramitāyāṃ caranti, prajñāpāramitāyāṃ caranti.

śāriputra āha: katamo bhagavan bodhisattvānāṃ mahāsattvānāṃ bodhimārgaḥ?

bhagavān āha: yadā śāriputra bodhisattvo mahāsattvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran na kāyam upalabhate, na vācam upalabhate, na mana upalabhate, na dānapāramitām upalabhate, na śīlapāramitām upalabhate, na kṣāntipāramitām upalabhate, na vīryapāramitām upalabhate, na dhyānapāramitām upalabhate, na prajñāpāramitām upalabhate, na śrāvakaṃ upalabhate, na pratyekabuddham upalabhate, na bodhisattvaṃ upalabhate, na buddham upalabhate. ayaṃ śāriputra bodhisattvasya mahāsattvasya bodhimārgo yad uta sarvadharmānupalambho 'nena mārgeṇa gacchan bodhisattvo mahāsattvaḥ ṣaṣṣu pārami-

ŚsP(Gh)

*mahāsattvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran kāyadauṣṭhulyam utpādayet
vāgdauṣṭhulyam utpādayet manodauṣṭhulyam utpādayet nedaṃ sthānaṃ
vidyate / tat kasya hetos tathā hi śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvāḥ
ṣaṭsu pāramitāsu caran kāyadauṣṭhulyaṃ śodhayati vāgdauṣṭhulyaṃ
{Ghosa1913, p. 282} śodhayati manodauṣṭhulyaṃ śodhayati / idaṃ
bodhisattvasya mahāsattvasyānavadyaṃ kāyakarma anavadyaṃ
vākkarma anavadyaṃ manaskarma / āha kathaṃ punar bhagavan
bodhisattvo mahāsattvaḥ kāyadauṣṭhulyaṃ śodhayati vāgdauṣṭhulyaṃ
śodhayati manodauṣṭhulyaṃ śodhayati / bhagavān āha yadā śāradvatīputra
bodhisattvo mahāsattvo na kāyam upalabhate na vācam upalabhate
na cittam upalabhate / evaṃ śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvaḥ
kāyadauṣṭhulyaṃ śodhayati vāgdauṣṭhulyaṃ śodhayati manodauṣṭhulyaṃ
śodhayati /*

*punar aparaṃ śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvaḥ prathamacittotpādam
upādāya daśakuśālān karmmapathān samādāya varttate / na śrāvakacittaṃ
vā pratyekabuddhacittaṃ votpādayati / satatasamitāñ cāsya sarvasattveṣu
mahākaruṇācittaṃ pratyupasthitaṃ bhavati / evaṃ bodhisattvasya
mahāsattvasya kāyadauṣṭhulyaṃ vāgdauṣṭhulyaṃ manodauṣṭhulyaṃ
parisuddham iti vadāmi /*

*asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ prajñāpāramitāyāṃ caranto
bodhisattvamārgaṃ pariśodhayamānāḥ dānapāramitāyāṃ caranti /
śīlapāramitāyāṃ caranti / kṣāntipāramitāyāṃ caranti / vīryapāramitāyāṃ
caranti / dhyānapāramitāyāṃ caranti / āha katamo bhagavan bodhisattvasya
mahāsattvasya bodhimārgaḥ / bhagavān āha / yadā śāradvatīputra
bodhisattvo mahāsattvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran na kāyam upalabhate /
na vācam upalabhate / na cittam upalabhate / na dānapāramitām
upalabhate / na śīlapāramitām upalabhate / na kṣāntipāramitām
upalabhate / na vīryapāramitām upalabhate / na dhyānapāramitām*

upalabhate / na prajñāpāramitām upalabhate / na śrāvakayānam upalabhate {Ghosa1913, p. 283} / *na pratyekayānam upalabhate / na samyak sambuddhayānam upalabhate / ayaṃ śāradvatīputra bodhisattvasya mahāsattvasya bodhimārgaḥ / yad uta sarvadharmān upalambhato anāyūhāniyūhatā / anena śāradvatīputra mārgeṇa bodhisattvā mahāsattvāḥ ṣaṭsu pāramit-*

Kj

當知是菩薩行六波羅蜜時、不能除身・口・意麤業」

舍利弗白佛言「世尊、菩薩摩訶薩云何除身・口・意麤業」

佛告舍利弗「若菩薩摩訶薩不得身・口・意、如是菩薩摩訶薩能除身・口・意麤業。

復次、舍利弗、若菩薩摩訶薩從初發意行十善道、不生聲聞心、不生辟支佛心、如是菩薩摩訶薩能除身・口・意麤業。

復次、舍利弗、有菩薩摩訶薩行般若波羅蜜淨佛道時、行檀那波羅蜜・尸羅波羅蜜・羼提波羅蜜・毘梨耶波羅蜜・禪那波羅蜜、是名菩薩摩訶薩除身・口・意麤業」

舍利弗白佛言「世尊、何等是菩薩摩訶薩佛道」

佛告舍利弗「佛道者、若菩薩摩訶薩不得身、不得口、不得意、不得檀那波羅蜜、不得尸羅波羅蜜、不得羼提波羅蜜、不得毘梨耶波羅蜜、不得禪那波羅蜜、不得般若波羅蜜、不得聲聞、不得辟支佛、不得菩薩、不得佛。

舍利弗、是名菩薩摩訶薩佛道、所謂一切諸法不可得故。

舍利弗、有菩薩摩訶薩行六波羅蜜時、

(LPG 32r)³⁴ Dhr 158a16-b10; Mo 8c11-25; Kj 227a12-29; Xz(II) 20c23-21a24; Xz(III) 441c10-442a9; PvsP(K) I 90.10-91.18; PvsP(D) 74.17-76.9; AdsP(Tib. U) ka 59b1-60b5; AdsP(Tib.S) ka 64b4-66a5; AdsP(Tib.Pk) ni 39a6-40a3; AdsP(Tib.D) ka 44a7-45a6; PvsP(Tib.U) ka 82b1-84a3; PvsP(Tib.S) ka 91a5-93a4; PvsP(Tib.Pk) nyi 71b8-73a6; PvsP(Tib.D) ka 69b4-71a3

³⁴ ŚsP(Gh) pp. 283-287; ŚsP(Tib.D) ka 172a3-174a2; Xz(I) 41c9-42a28.

- 1 (tāsu cara)nt(o) gacchant[i]³⁵ • te na śakyate kenacid avamard[i]tu(ṃ) • āha
 • katham [c]aranto bhagavan bodhisatvā mahāsatvā anava[ma]rḍyā bhavaṃti
 || bhagavān āha • [ya]dā śāradvatīputra
- 2 (bodhi)[sa]tvā mahāsatvā ṣaṭsu pāramitās(u) caranto rūpan na manyante •
 vedanāṃ saṃjñāṃ saṃskārān vijñānan na manyante • || cakṣurūpam api na
 manyante • yāvan manodharmān api na manyante •
- 3 [p]ṛthividhāt[u]ṃ na manyante • ab[dh]ātum tejodhātum vāyudhātum
 ākāśadhātum vijñānadhātum na manyante • cakṣurdhātum na manyante •
 rūpadhātum na manyante • cakṣurvijñānadhātum na manyante •
- 4 evaṃ na śrotradhātum na śab[d]adhātum na śrotravijñānadhātum na
 ghrāṇadhātum na gandhadhātum na ghrāṇavijñānadhātum • na jihvadhātum
 na rasadhātum na jihvāvijñānadhātum • na kāyadhātum na
- 5 [s]praṣṭavyadhātum na kāyavijñānadhātum na manodhātum na manyante • ||
 dharmadhātu<ṃ> na manyante • manovijñānadhātu<ṃ> na manyante • na
 dānaṃ manyante na śīlaṃ na kṣāntiṃ na vīryaṃ na dhyānaṃ na
- 6 prajñāṃ manyante • || na catvāri smṛtyupasthānāni manyante na yāvad
 āryāṣṭaṃgaṃ mārgaṃ manyante • || na daśa tathāgatabalāni na catvāri
 vaiśāradyaṇi na cāsaṣa pratisaṃvido nā[ṣṭ](ā)-³⁶
- 7 daśā[ṃ]veṇikān buddhadharmān manyante • na srotāpattiphalaṃ
 manyante • [|| na] yāvad arhatvaṃ manyante • na pratyekabodhiṃ manyante •
 nānuttarāṃ samyaksambodhi(ṃ) manyante • na saṃsāraṃ na ni[rv](ā)-
- 8 ṇaṃ manyante • || evaṃ khalu śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvā
 ṣaḍbhiḥ pāramitābhi[ḥ]r vivardhante [na ca k]enacid avamardyaṃte • || asti
 śāradvatīputra bodhisatvā mahā-
- 9 satvā [ṣ]a[ṭ]su pāramitāsu sthitvā sarvajñajñānaṃ paripūrayaṃti • || yena
 jñānena samanvāgatā na jātv apāyeṣūpapadyante na manuṣyadāridrya[ṃ]m
 anubhavanti • na tathā

³⁵ (tāsu cara)nt(o) gacchant[i]: ŚsP(Gh): tāsu caranto gacchanti.

³⁶ この箇所は folio の裏側がめくれた部分に || (double *danḍa*) が記されている。

10 rūpam ātmabhāvaṃ parigrhṇanti || yenātmabhāvena {na} ni[nd]aniyā
bhaveyu sadevamānuṣāsurasya lokasya • || athāyūṣmāc chāravdatīputro
bhagavanta-

11 m etad avocat* katamad bhagavan bodhisatva[sy]a mahāsatvasya jñānaṃ •
bhagavā[n] āha • yena śāradvatīputra jñānena samanvāgato bodhisatvo
mahāsatvaḥ

12 (pū)rvasyān diśi gaṃgānadīvālukopamāṃs tathāgatān arhataḥ
samyaksambuddhān paśyanti • dharmāṃ ca śṛṇoti saṃghaṃ ca paśyati • [bu]-
ddhakṣetrag[u]<ṇa>vyūhāṃś³⁷ ca paśya[t]i

PvsP(K) I

tāsu caran na śakyo ’vamarditum.

ity aśaktyavavādaḥ

*punar aparaṃ śāriputra bodhisattvo mahāsattvaḥ ṣaṣṣu pāramitāsu caran
na rūpaṃ manyate, na vedanāṃ manyate, na saṃjñāṃ manyate, na
saṃskārān manyate, na vijñānaṃ manyate, na pṛthivīdhātuṃ manyate,
nābdhātuṃ manyate, na tejodhatuṃ manyate, na vāyudhātuṃ manyate,
nākāśadhātuṃ manyate, na vijñānadhatuṃ manyate, na cakṣurdhātuṃ
manyate, na rūpadhātuṃ manyate, na cakṣurvijñānadhātuṃ manyate, na
śrotradhātuṃ manyate, na śabdadhātuṃ manyate, na śrotravijñānadhātuṃ
manyate, na ghrāṇadhātuṃ manyate, na gandhadhātuṃ manyate, na
ghrāṇavijñānadhātuṃ manyate, na jihvadhātuṃ manyate, na rasadhātuṃ
manyate, na jihvāvijñānadhātuṃ manyate, na kāyadhātuṃ manyate,
na spraṣṭavyadhātuṃ manyate, na kāyavijñānadhātuṃ manyate, na
manodhātuṃ manyate, na dharmadhātuṃ manyate, na manovijñānadhātuṃ
manyate, na smṛtyupasthānāni manyate, na samyakprahāṇāni manyate,
narddhipādān manyate, nendriyāṇi manyate, na balāni manyate, na
bodhyaṅgāni manyate, na mārgaṃ manyate, na dānapāramitāṃ manyate, na*

³⁷ [bu]ddhakṣetrag[u]<ṇa>vyūhāṃś: ŚsP(Gh): buddhakṣetraguṇavyūhāṃś.

(174)

śīlapāramitāṃ manyate, na kṣāntipāramitāṃ manyate, na vīryapāramitāṃ manyate, na dhyānapāramitāṃ manyate, na prajñāpāramitāṃ manyate, na vaiśāradyāni manyate, na pratisaṃvido manyate, na daśatathāgatabalāni manyate, nāṣṭādaśāveṇikān buddhadharmān manyate, na srotaāpattiphalaṃ manyate, na sakṛdāgamiphalaṃ manyate, nānāgāmiphalaṃ manyate, nārhattvaṃ manyate, na pratyekabodhiṃ manyate, na bodhisattvaṃ mahāsattvaṃ manyate, nānuttarāṃ samyaksambodhiṃ manyate. evaṃ hi śāriputra bodhisattvo mahāsattvaḥ ṣaḍbhiḥ pāramitābhir vardhate, na ca kenacid avamṛdyate.

santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā ye prajñāpāramitāyāṃ sthitvā sarvajñajñānaṃ paripūrayanti, yena jñānena samanvāgatānāṃ sarvāṅy apāyadvārāṇi pithitāni bhavanti, nāpi manuṣyadarīdryavipattim anubhavanti, nāpi tādr̥śam ātmabhāvaṃ parigrhṇanti, yena nindyā bhavanti sadevakasya lokasya.

ity aparīśrāntyavavādaḥ

śāriputra āha: katamad bhagavan bodhisattvasya mahāsattvasya sarvajñajñānam?

bhagavān āha: yena jñānena samanvāgato bodhisattvo mahāsattvaḥ pūrvasyāṃ diśi gaṅgānadivālukupamāṃs tathāgatān arhataḥ samyaksambuddhān paśyati teṣāṃ ca dharmadeśanāṃ śr̥ṇoti, saṃghaṃ ca paryupāste, buddhakṣetraviśuddhiṃ ca paśyati,

ŚsP(Gh)

tāsu caranto gacchanti / te na śakyo kenacid avamardituṃ / āha kathaṃ caranto bhagavan bodhisattvā mahāsattvāḥ anavamardiyā bhavanti / bhagavān āha / yadā bodhisattvā mahāsattvāḥ ṣaṭsu pāramitāsu caranto na rūpaṃ manyante na vedanāṃ manyante na saṃjñāṃ manyante na saṃskārān manyante na vijñāmaṃ manyante cakṣūrūpam api na manyante / śrotraśabdān api na manyante / ghrāṇagandhān api na

manyante / jihvārasān api na manyante / kāyasparśān api na manyante /
manodharmmān api na manyante / pṛthividhātuṃ na manyante / abdhātuṃ
na manyante / tejodhātuṃ na manyante / vāyudhātuṃ na manyante /
ākāśadhātuṃ na manyante / vijñānadhātuṃ na manyante / cakṣurdhātuṃ
na manyante / rūpadhātuṃ na manyante / cakṣurvijñānadhātuṃ
na manyante / śrotradhātuṃ na manyante / śabdadhātuṃ na
manyante / śrotravijñānadhātuṃ na manyante / ghrāṇadhātuṃ na
manyante / gandhadhātuṃ na manyante / ghrāṇavijñānadhātuṃ
na manyante / jihvādhātuṃ na manyante / rasadhātuṃ na
manyante / jihvāvijñānadhātuṃ na manyante / kāyadhātuṃ na manyante /
spraṣṭavyadhātuṃ na manyante / kāyavijñānadhātuṃ na manyante /
manodhātuṃ na {Ghosa1913, p. 284} manyante / dharmmadhātuṃ na
manyante / manovijñānadhātuṃ na manyante / pratīyasamutpādaṃ
na manyante / dānaṃ na manyante / śīlaṃ na manyante / kṣāntiṃ na
manyante / vīryaṃ na manyante / dhyānaṃ na manyante / prajñāṃ na
manyante / adhyātmasūnyatāṃ na manyante / bahirdhāsūnyatāṃ na
manyante / adhyātmabahirdhāsūnyatāṃ na manyante / sūnyatāsūnyatāṃ
na manyante / mahāsūnyatāṃ na manyante / paramārthasūnyatāṃ na
manyante / saṃskṛtasūnyatāṃ na manyante / asaṃskṛtasūnyatāṃ na
manyante / atyantaśūnyatāṃ na manyante / anavarāgraśūnyatāṃ na
manyante / anavakāraśūnyatāṃ na manyante / prakṛtisūnyatāṃ na
manyante / sarvadharmmasūnyatāṃ na manyante / svalakṣaṇasūnyatāṃ
na manyante / anupalambhasūnyatāṃ na manyante / {Ghosa1913, p.
285} abhāvasūnyatāṃ na manyante / svabhāvasūnyatāṃ na manyante /
abhāvasvabhāvasūnyatāṃ na manyante / catvāri smṛtyupasthānāni na
manyante / catvāri samyakprahāṇāni na manyante / catura ṛddhipādān
na manyante / pañcendriyāṇi na manyante / sapta bodhyaṅgāni na
manyante / āryyāṣṭāṅgamārgaṃ na manyante / catvāry āryyasatyāni na
manyante / catvāri dhyānāni na manyante / catvāryy apramāṇāni na

manyante / catasra ārūpyasamāpattīr na manyante / aṣṭau vimokṣān na manyante / navānupūrvavivihārasamāpattīr na manyante / śūnyatām na manyante / ānimittam na manyante / apraṇihitam na manyante / abhijñāṃ na manyante / dhāraṇīmukhāni na manyante / daśa tathāgatabalāni na manyante / catvāri vaiśāradyaṇi na manyante / catasraḥ pratisamvido na manyante / mahāmaitrīṃ na manyante / mahākaruṇāṃ na manyante / aṣṭādaśāveṇikān baddhadharmmān na manyante / śrotaāpattiphalaṃ na manyante / sakṛdāgāmiphalaṃ na manyante / anāgāmiphalaṃ na manyante / arhattvaṃ na manyante / pratyekabodhiṃ na manyante / mārgākārajñatām na manyante / sarvākārajñatām na manyante / anuttarām samyaksambodhiṃ na manyante / saṃsāraṃ na manyante / nirvāṇaṃ na manyante / evaṃ khalu śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ śadbhiḥ pāramitābhir uvivarddante / na ca kenacid avamardyante /

asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ ṣaṭsu pāramitāsu sthitvā sarvvajñajñānaṃ paripūrayanti / yena jñānena samanvāgatā na jātva pāpāyeṣūpapadyante / na manuṣyadāridryam anubhavanti / na tathārūpam {Ghosa1913, p. 286} ātmabhāvaṃ parigrhṇanti yenātmabhāvena nindanīyā bhavanti sadevamānuṣāsurasya lokasya / athāyuṣmāṇ chāradvatīputro bhagavantam etad avocat / katamaṃ bhagavan bodhisattvasya mahāsattvasya sarvvajñajñānaṃ yena jñānena samanvāgatā bodhisattvā mahāsattvā na jātva pāpāyeṣūpapadyante / na manuṣyadāridryam anubhavanti / na tathārūpam ātmabhāvaṃ parigrhṇanti yenātmabhāvena nindanīyo bhavati sadevamānuṣāsurasya lokasya /

bhagavān āha / yena śāradvatīputra jñānena samanvāgato bodhisattvo mahāsattvaḥ pūrvvasyām diśi gaṅgānadīvālukopameṣu lokadhātuṣu gaṅgānadīvālukopamāṃs tathāgatān arhataḥ samyaksambuddhān paśyati / dharmmaṃ ca śṛṇoti bodhisattvasaṃghaṃ ca buddhakṣetraḡaṇavyūhāṃs ca paśyati / yena jñānena samanvāgato bodhisattvo mahāsattvo dakṣiṇasyām

*diśi gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu gaṅgānadivālukopamāṃs
tathāgatān arhataḥ samyaksambuddhān paśyati / dharmmaṅ ca
śṛṇoti bodhisattvasaṃghaṅ ca buddhakṣetraguṇavyūhāṃś ca paśyati /
yena jñānena samanvāgato bodhisattvo mahāsattvaḥ paścimāyāṃ diśi
gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu gaṅgānadivālukopamāṃs
tathāgatān arhataḥ samyaksambuddhān paśyati / dharmmaṅ ca
śṛṇoti / bodhisattvasaṃghaṅ ca buddhakṣetraguṇavyūhāś ca paśyati /
yena jñānena samanvāgato bodhisattvo mahāsattvaḥ uttarasyāṃ diśi
gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu gaṅgādīvālukopamāṃs tathāgatān
arhataḥ samyaksambuddhān paśyati / dharmmaṅ ca śṛṇoti / bodhi-
sattvasaṃghaṅ ca buddhakṣetraguṇavyūhāṃś ca paśyati /
yena jñānena samanvāgato bodhisattvo mahāsattva uttarapūrvasyāṃ
diśi gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu {Ghosa1913, p. 287}
gaṅgānadivālukopamāṃs tathāgatān arhataḥ samyaksambuddhān paśyati /
dharmmaṅ ca śṛṇoti / bodhisattvasaṃghaṅ ca buddhakṣetraguṇavyūhāṃś
ca paśyati / ye na jñānena samanvāgato bodhisattvo mahāsattvo
dakṣiṇapūrvasyāṃ diśi gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu
gaṅgānadivālukopamāṃs tathāgatān arhataḥ samyaksambuddhān paśyati /
dharmmaṅ ca śṛṇoti / bodhisattvasaṃghaṅ ca buddhakṣetraguṇavyūhāṃś
ca paśyati / yena jñānena samanvāgato bodhisattvo mahāsattvo
dakṣiṇapaścimāyāṃ diśi gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu
gaṅgānadivālukopamāṃs tathāgatān arhataḥ samyaksambuddhān
paśyati / dharmmaṅ ca śṛṇoti / bodhisattvasaṃghaṅ ca buddhakṣetraguṇavyūhāṃś
ca paśyati / yena jñānena samanvāgato bodhisattvo mahāsattvaḥ
paścimottarasyāṃ diśi gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu
gaṅgānadivālukopamāṃs tathāgatān arhataḥ samyaksambuddhān paśyati /
dharmmaṅ ca śṛṇoti / bodhisattvasaṃghaṅ ca buddhakṣetraguṇavyūhāṃś
ca paśyati / yena jñānena samanvāgato bodhisattvo mahāsattvo 'dhaśtād
diśi gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu gaṅgānadivālukopamāṃs*

(178)

tathāgatān arhataḥ samyaksambuddhān paśyati / dharmmañ ca śrṇoti / bodhisattvasaṃghaṅ ca buddhakṣetraguṇavyūhāṃś ca paśyati / yena jñānena samanvāgato bodhisattvo mahāsattvaḥ upariṣṭād diśi gaṅgānadīvālukopameṣu lokadhātuṣu gaṅgānadīvālukopamāṃś tathāgatān arhataḥ samyaksambuddhān paśyati / dharmmañ ca śrṇoti / bodhisattvasaṃghaṅ ca buddhakṣetraguṇavyūhāṃś ca paśyati /

Kj

無能壞者」

舍利弗白佛言「世尊、云何菩薩摩訶薩行六波羅蜜時、無能壞者」

佛告舍利弗「若菩薩摩訶薩行六波羅蜜時、不念有色乃至識、不念有眼乃至意、不念有色乃至法、不念有眼界乃至意識界、不念有四念處乃至八聖道分、不念有檀那波羅蜜乃至般若波羅蜜、不念有佛十力乃至十八不共法、不念有須陀洹果乃至阿羅漢果、不念有辟支佛乃至阿耨多羅三藐三菩提。舍利弗、菩薩摩訶薩如是行增益六波羅蜜、無能壞者。

舍利弗、有菩薩摩訶薩住般若波羅蜜中、具足智慧、用是智慧、常不墮惡道、不生弊惡人中、不作貧窮人、所受身體不爲人・天・阿修羅所憎惡」

舍利弗白佛言「世尊、何等是菩薩摩訶薩智慧」

佛告舍利弗「菩薩摩訶薩用是智慧成就、見十方如恒河沙等諸佛、聽法、見僧、亦見嚴淨佛土。

(LPG 32v)³⁸ Dhr 158b10-28; Mo 8c25-9a8; Kj 227a29-b15; Xz(II) 21a24-b23; Xz(III) 442a9-b5; PvsP(K) I 91.19-92.18; PvsP(D) 76.9-77.9; AdsP(Tib.U) ka 60b5-61b4; AdsP(Tib.S) ka 66a5-67b2; AdsP(Tib.Pk) ni 40a3-b4; AdsP(Tib.D) ka 45a6-46a4; PvsP(Tib.U) ka 84a3-85b3; PvsP(Tib.S) ka 93a4-94b6; PvsP(Tib.Pk) nyi 73a6-74b1; PvsP(Tib.D) ka 71a3-72a6

1 (ye)na jñān[e]na samanvāgato bodhisattvo mahāsattva na buddhasaṃjñā-

³⁸ ŚsP(Gh) p. 287-291; ŚsP(Tib.D) ka 174a2-177a5; Xz(I) 42a28-43a12.

- m-utpāday(a)t(i) na dharmasaṃjñā na saṃghasaṃjñā-m-utpādayati • na
b(o)dhisa[tv]asa(ṃ)[jñā] na [ś]rāvakaṣaṃjñā na pratye-
- 2 kabuddhasaṃjñā na buddhasaṃjñā nātmasaṃjñā{n} na parasaṃjñā{n} na
buddhakṣetrasaṃjñā-m-utpādayati • || yena jñānena samanvāgato bodhisatvo
mahāsatvo dāna[p]āramitāyāṃ
- 3 carati • na ca dānapāramitām upalabhate • śīlapāramitāyāṃ carati na ca
śīlapāra[m]itām upalabhate • kṣāntipāramitāyāṃ carati na ca kṣāntipā-
- 4 ramitām upalabhate • vīryapāramitāyāṃ carati na ca vīryapāramitām
upalabhate • dhyānapāramitāyāṃ ca[r]ati na ca dhyānapāramitām upala-
[bh]ate • prajñā-
- 5 pāramitāyāṃ carati na ca prajñāpāramitām upalabhate • catvāri
smṛtyupasthānāni bhāvayati na ca smṛtyupasthānāny upalabhate • yāvad
āryāṣṭāṃgaṃ mārgaṃ bhāva-
- 6 yati • na cāryāṣṭāṅgaṃ mārgaṃ upalabhate • daśatathāgatabalāni
bhāvayati na ca tathāgatabalāny upalabhate • || catvāri vaiśāradyāni
bhāvayati na ca vaiśāradyā-
- 7 ny upalabhate • catasraḥ pratisaṃvido bhāvayati • na ca pratisaṃ-
[v]ida upala<bha>te || aṣṭādaśāveṇikān buddhadharmān bhāvayati na
cāṣṭādaśāveṇikān buddhadharmān upa<la>bhate <||>
- 8 idaṃ śāradvatīputra bodhisatvasya mahāsatvasya jñānaṃ yena jñānena
samanvāgato bodhisatvo mahāsatvaḥ sarvabuddhadharmāṃś ca paripūrayati
• sarvabuddhadharmāṃś ca
- 9 na samanupaśyati • || asti śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvāḥ
prajñāpāramitāyāṃ [c]arantaḥ paṃcacaḥkṣūṃṣi par[i]śodhayaṃti
māṃsacakṣur divyaṃ cakṣuḥ prajñācākṣur dharmā-
- 10 cakṣu{ḥ}r buddhacakṣuḥ āha • katamad bhagavan bodhisatvasya
mahāsatvasya māṃsacakṣuḥ pariśuddhiḥ bhagavān āha • asti śāradvatīputra
bodhisatvo mahāsatva yojanaśa-

(180)

11 (ta)[ṃ] (m)āṃsacakṣuṣā³⁹ paśyati • asti dve yojanaśate asti trīṇy asti catvāry asti pañca asti {d}yāvad yojanasahasram api māṃsacakṣuṣā paśyati • asti jaṃbudvīpaṃ

12 + + + sti dvau dipāv asti trīṇ dipān asti cat(u)rmahādvīpakaṃ lokadhātuṃ māṃsacakṣuṣā paśyati • asti sāhasraṃ lokadhātu mā(ṃ)sacakṣ(uṣ)ā (paśyati • asti) d(v)i-

PvsP(K) I

evaṃ dakṣiṇasyāṃ paścimāyāṃ uttarasyāṃ vidikṣv adha ūrdhvaṃ diśi gaṅgānadivālukopamāṃs tathāgatān arhataḥ samyaksaṃbuddhān paśyati, teṣāṃ ca dharmadeśanāṃ śṛṇoti, saṃghaṃ ca paryupāste, buddhakṣetraviśuddhiṃ ca paśyati,

yena jñānena samanvāgatānāṃ bodhisattvānāṃ mahāsattvānāṃ na buddhasaṃjñā bhavati, na bodhisamjñā bhavati, na śrāvakaṣaṃjñā bhavati, na pratyekabuddhasaṃjñā bhavati, nātmasaṃjñā bhavati, na parasaṃjñā bhavati, na buddhakṣetrasaṃjñā bhavati, yena jñānena samanvāgato bodhisattvo mahāsattvo dānapāramitāyāṃ carati, śīlapāramitāyāṃ carati, kṣāntipāramitāyāṃ carati, vīryapāramitāyāṃ carati, dhyānapāramitāyāṃ carati, prajñāpāramitāyāṃ carati, na ca pāramitāmupalabhate,

yena jñānena samanvāgato bodhisattvo mahāsattvaḥ smṛtyupasthānāni bhāvayati, na ca smṛtyupasthānāny upalabhate, samyakprahāṇarddhipādendriyabalabodhyaṅgamārgān bhāvayati, na ca samyakprahāṇarddhipādendriyabalabodhyaṅgamārgān upalabhate, balavaiśāradyāveṇikān buddhadharmān samudānayati, ca balavaiśāradyāveṇikān buddhadharmān upalabhate. idaṃ śāriputra bodhisattvasya mahāsattvasya jñānaṃ, yena jñānena samanvāgato bodhisattvo mahāsattvaḥ sarvabuddhadharmāṃs ca paripūrayati, na ca sarvabuddhadharmāṃs ca manyate.

iti pratipatsaṃparigrahāvavādaḥ

³⁹ yojanaśa(ta)[ṃ] (m)āṃsacakṣuṣā: ŚsP(Gh): yojanaśataṃ māṃsacakṣuṣā.

*santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvā ye pañcacakṣuṃṣi pratilabhante
pariśodhayanti, katamāni pañca yad uta māṃsacakṣuḥ divyacakṣuḥ
prajñācakṣuḥ dharmacakṣuḥ buddhacakṣuḥ.*

*śāriputra āha: katamad bhagavan bodhisattvasya mahāsattvasya
parisuddhaṃ māṃsacakṣuḥ?*

*bhagavān āha: asti śāriputra bodhisattvasya mahāsattvasya māṃsacakṣuḥ,
yad yojanaśataṃ paśyati, asti śāriputra bodhisattvasya mahāsattvasya
māṃsacakṣur yad yojanaśatadvayaṃ paśyati, asti śāriputra bodhisattvasya
mahāsattvasya māṃsacakṣur yaj jaṃbudvīpaṃ paśyati, asti śāriputra
bodhisattvasya mahāsattvasya māṃsacakṣur yac cāturdvīpaṃ lokadhātuṃ
paśyati, asti śāriputra bodhisattvasya mahāsattvasya māṃsacakṣur yat
sāhasraṃ lokadhātuṃ paśyati, asti śāriputra bodhisattvasya mahāsattvasya
māṃsacakṣur yad dvi-*

ŚsP(Gh)

*yena jñānena samanvāgato bodhisattvo mahāsattvo na buddhasaṃjñām
utpādayati / na saṃghasaṃjñām utpādayati / na śrāvakaṃjñām
utpādayati / na pratyekabuddhasaṃjñām utpādayati / na {Ghosa1913,
p. 288} bodhisattvasaṃjñām utpādayati / na buddhasaṃjñām utpādayati /
(?) nātmasaṃjñām utpādayati / na parasaṃjñām utpādayati / yena
jñānena samanvāgato bodhisattvo mahāsattvo dānapāramitāyāṃ carati na
dānapāramitām upalabhate / śīlapāramitāyāṃ carati na kṣāntipāramitāyāṃ
carati na kṣāntipāramitām upalabhate / vīryapāramitāyāṃ
carati na vīryapāramitām upalabhate / dhyānapāramitāyāṃ carati
na dhyānapāramitām upalabhate / prajñāpāramitāyāṃ carati
na prajñāpāramitām upalabhate / adhyātmasūnyatāṃ bhāvayati
nādhyātmasūnyatām upalabhate / bahirddhāsūnyatāṃ bhāvayati
na bahirddhāsūnyatām upalabhate / adhyātmabahirddhāsūnyatāṃ
bhāvayati nādhyātmabahirddhāsūnyatām upalabhate / sūnyatāsūnyatām*

bhāvayati na śūnyatāśūnyatām upalabhate / mahāśūnyatām bhāvayati na mahāśūnyatām upalabhate / paramārthasūnyatām bhāvayati na paramārthasūnyatām upalabhate / saṃskṛtasūnyatām bhāvayati na saṃskṛtasūnyatām upalabhate / asaṃskṛtasūnyatām bhāvayati nāsaṃskṛtasūnyatām upalabhate / atyantaśūnyatām bhāvayati nātyantaśūnyatām upalabhate / anavarāgraśūnyatām bhāvayati nānavarāgraśūnyatām upalabhate / anavakāraśūnyatām bhāvayati nānavakāraśūnyatām upalabhate / prakṛtisūnyatām bhāvayati na prakṛtisūnyatām upalabhate / sarvadharmasūnyatām bhāvayati na sarvadharmasūnyatām upalabhate / svalakṣaṇasūnyatām bhāvayati na svalakṣaṇasūnyatām upalabhate / anupalambhasūnyatām bhāvayati nānupalambhasūnyatām upalabhate / abhāvasūnyatām bhāvayati nābhāvasūnyatām upalabhate / {Ghosa1913, p. 289} svabhāvasūnyatām bhāvayati na svabhāvasūnyatām upalabhate / abhāvasvabhāvasūnyatām bhāvayati nābhāvasvabhāvasūnyatām upalabhate / catvāri smṛtyupasthānāni bhāvayati na smṛtyupasthānāny upalabhate / catvāri samyakprahāṇāni bhāvayati na ca samyakprahāṇāny upalabhate / catura ṛddhipādān bhāvayati narddhipādān upalabhate / pañcendriyāṇi bhāvayati na cendriyāṇy upalabhate / pañcabalāni bhāvayati na ca balāny upalabhate / sapta bodhyaṅgāni bhāvayati na ca bodhyaṅgāny upalabhate / āryyāṣṭāṅgamārgaṃ bhāvayati nāryyāṣṭāṅgamārgam upalabhate / āryyasatyāni bhāvayati na cāryyasatyāny upalabhate / dhyānāni bhāvayati na ca dhyānāny upalabhate / apramāṇāni bhāvayati na cāpramāṇāny upalabhate / ārūpyasamāpattir bhāvayati na cārūpyasamāpattir upalabhate / aṣṭau vimokṣān bhāvayati na cāṣṭau vimokṣān upalabhate / navānupūrvavihārasamāpattir bhāvayati na ca navānupūrvavihārasamāpattir upalabhate / śūnyatānimitāpraṇihita-vimokṣamukhāni bhāvayati na ca śūnyatānimitāpraṇihitavimokṣa-mukhāny upalabhate / abhijñāṃ bhāvayati na cābhijñāṃ upalabhate /

*samādhin bhāvayati na ca samādhin upalabhate / dhāraṇīmukhāni
 bhāvayati na ca dhāraṇīmukhāny upalabhate / daśa tathāgatabalāni
 bhāvayati na ca tathāgatabalāny upalabhate / catvāri vaiśāradyāni
 bhāvayati na ca vaiśāradyāny upalabhate / catasraḥ pratisamvido
 bhāvayati na ca pratisamvida upalabhate / mahāmaitrīṃ bhāvayati na ca
 mahāmaitrīṃ upalabhate / mahākaruṇāṃ bhāvayati na ca {Ghosa1913,
 p. 290} mahākaruṇāṃ upalabhate / aṣṭādaśāveṇikān buddhadharmmān
 bhāvayati na caṣṭādaśāveṇikān buddhadharmmān upalabhate /
 śrotaāpattiphalaṃ bhāvayati na ca śrotaāpattiphalam upalabhate /
 sakṛdāgāmiphalaṃ bhāvayati na ca sakṛdāgāmiphalam upalabhate /
 anāgāmiphalaṃ bhāvayati na cānāgāmiphalam upalabhate / arhatvaṃ
 bhāvayati na cārhattvaṃ upalabhate / pratyekabodhiṃ bhāvayati na
 ca pratyekabodhim upalabhate / mārgākārajñatāṃ bhāvayati na ca
 mārgākārajñatām upalabhate / sarvākārajñatāṃ bhāvayati na ca
 sarvākārajñatām upalabhate / idaṃ bodhisattvasya mahāsattvasya
 jñānaṃ / yena jñānena samanvāgato bodhisattvo mahāsattvaḥ
 sarvabuddhadharmmāṃś ca paripūrayati sarvabuddhadharmmāṃś ca na
 samanupaśyati /*

*asti śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ prajñāpāramitāyāṃ carantaḥ
 pañca cakṣūṃṣi pratilabhante / pariśodhayanti / katamāni ca pañca
 cakṣūṃṣi yad uta māṃsacakṣur divyaṃ cakṣuḥ prajñācakṣur dharmacakṣur
 buddhacakṣuḥ /*

*pratilabhante / pariśodhayanti / katamāni ca pañca cakṣūṃṣi yad uta
 māṃsacakṣur divyaṃ cakṣuḥ prajñācakṣur dharmacakṣur buddhacakṣuḥ /
 āha katamā bhagavan bodhisattvasya mahāsattvasya
 māṃsacakṣuṣpariśuddhiḥ / bhagavān āha / asti śāradvatīputra
 bodhisattvo mahāsattvo yojanaśataṃ māṃsacakṣuṣā paśyati / asti
 śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvo dvi ojanaśataṃ māṃsacakṣuṣā
 paśyati / asti śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvas triṇi yojanaśatāni*

*māṃsacakṣuṣā paśyati / asti śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvo
yaś catvāri yojanaśatāni māṃsacakṣuṣā paśyati / asti śāradvatīputra
bodhisattvo mahāsattvo yaḥ pañca yojanaśatāni māṃsacakṣuṣā paśyati /
asti śāradvatīputra {Ghosa1913, p. 291} bodhisattvo mahāsattvo yaḥ ṣaḍ
yojanaśatāni māṃsacakṣuṣā paśyati / asti śāradvatīputra bodhisattvo
mahāsattvo yaḥ sapta yojanaśatāni māṃsacakṣuṣā paśyati / asti
śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvo yo 'ṣṭau yojanaśatāni māṃsacakṣuṣā
paśyati / asti śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvo yo nava yojanaśatāni
māṃsacakṣuṣā paśyati / asti śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvo
yo daśa yojanaśatāni māṃsacakṣuṣā paśyati / asti śāradvatīputra
bodhisattvo mahāsattvo yo yojanasahasraṃ māṃsacakṣuṣā pjaśyati / asti
śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvo yo jambudvīpaṃ māṃsacakṣuṣā
paśyati / asti śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvo yo dvau dvīpau
māṃsacakṣuṣā paśyati / asti śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvo
yaḥ sāhasraṃ lokadhātuṃ māṃsacakṣuṣā paśyati / asti śāradvatīputra
bodhisattvo mahāsattvo yo dviśāhasraṃ lokadhātuṃ māṃsacakṣuṣā
paśyati / asti śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvo yas trisāhasraṃ
mahāsahasraṃ lokadhātuṃ māṃsacakṣuṣā paśyati / iyaṃ śāradvatīputra
bodhisattvasya mahāsattvasya māṃsacakṣuḥpariśuddhiḥ /*

Kj

菩薩摩訶薩以是智慧不作佛想、不作菩薩想、不作聲聞・辟支佛想、不作我想、不作佛國想。用是智慧行檀那波羅蜜、亦不得檀那波羅蜜、乃至行般若波羅蜜、亦不得般若波羅蜜、行四念處、亦不得四念處、乃至行十八不共法、亦不得十八不共法。

舍利弗、是名菩薩摩訶薩智慧。用是智慧、能具足一切法、亦不得一切法。

舍利弗、有菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、淨於五眼・肉眼・天眼・慧眼・法眼・佛眼」

舍利弗白佛言「世尊、云何菩薩摩訶薩肉眼淨」

佛告舍利弗「有菩薩肉眼見百由旬、有菩薩肉眼見二百由旬、有菩薩肉眼見一閻

浮提、有菩薩肉眼見二天下・三天下・四天下、有菩薩肉眼見小千國土、有菩薩
肉眼見中

(LPG 33r)⁴⁰ Dhr 158b28-c18; Mo 9a8~21; Kj 227b15-c4; Xz(II) 21b23-c20;
Xz(III) 442b5-c5; PvsP(K) I 92.18-94.31; PvsP(D) 77.9-79.3; AdsP(Tib.U) ka
61b5-62b6; AdsP(Tib.S) ka 67b2-69a1; AdsP(Tib.Pk) ni 40b4-41a8; AdsP(Tib.
D) ka 46a4-47a2; PvsP(Tib.U) ka 85b3-86b6; PvsP(Tib.S) ka 94b7-96a5;
PvsP(Tib.Pk) nyi 74b1-75a8; PvsP(Tib.D) ka 72a6-73a6

1 sāhasra [lo]kadhātum māṃsacakṣuṣā paśyati • asti śāradvatīputra
bodhisatvo mahāsatvaḥ trisāhasramahāsāhasraṃ lokadhātum māṃsacakṣuṣā
paśyati • i-

2 yaṃ śāradvatīputra bodhisatvasya mahāsatvasya māṃsacakṣuḥ pariśuddhiḥ
• || āha • katamā bhagavan bodhisatvasya mahāsatvasya divyaṃ cakṣuḥ
pariśuddhiḥ bhaga-

3 van āha • yac chāradvatīputra cāturmahārājakāyikānām devānām
divya{ṃ}cakṣuḥ yad yāvad aghaniṣṭhānām devānām divyacakṣuḥ yad yāvad
aghaniṣṭhānām devā

4 nām divyacakṣu{ḥs} tad bodhisatvaḥ pra[j]ānāti • yat punaḥ śāradvatīputra
bodhisatvasya mahāsatvasya divya{ṃ}cakṣuḥ{s} tac cāturmahārājakāyikā
devā na⁴¹

5 prajānaṃti • yāvad aghaniṣṭhā devā na prajānaṃti • yena divye<na>
cakṣuṣā⁴² samanvāgato bodhisatvo mahāsatvaḥ pūrvasyāṃ diśi
gaṃgānadivālukupamā-

6 su lokadhātusu satvānām cyutopapādaṃ prajānaṃti • evaṃ dakṣiṇasyāṃ
paścimāyāṃ uttarasyāṃ a[dh]istād⁴³ upariṣṭād yāvat samantād daśasu dikṣv

⁴⁰ ŚsP(Gh) pp. 292-295; ŚsP(Tib.D) ka 177a5-180a2; Xz(I) 43a12-c3.

⁴¹ na: nā の長母音が消去されている。

⁴² yena divye<na> cakṣuṣā: ŚsP(Gh): yena divyena cakṣuṣā.

⁴³ a[dh]istād: S. e. for adhistād. ŚsP(Gh): 'dhastād.

(186)

ekaikasyāṃ

7 d[i]śi gaṃgānadīvālukopameṣu lokadhāt[u]ṣu satvānāṃ cyutopapādaṃ
prajānāti • iyaṃ śāradvatīputra bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ cakṣuḥ
8 pariśuddhiḥ || āha • katamā punar bhagavan bodhisattvasya mahāsattvasya
prajānācakṣuḥ pariśuddhiḥ bhagavān āha • yena śāradvatīputra prajānācakṣu-
9 śā bodhisattvo mahāsattvo na kaścid dharmāḥ saṃskṛto vā asaṃskṛto vā
kuśalo vā akuśalo vā sāvadyo vānāvadyo vā {•} saṃkleśo vā niṣkleśo vā lau-
10 kiko vā lokottaro vā sāsravo vānāsravo vāyaṃ dharmāṃ na prajānāti •
yena prajānācakṣuṣā na kaścid dharmā adṛṣṭaḥ aśrutaḥ «asmṛitaḥ» avijñāto
bhavet* i-

11 yaṃ śāradvatīputra bodhisattvasya mahāsattvasya prajānācakṣuḥ
pariśuddhiḥ || āha • katamā bhagavan bodhisattvasya [m]ahāsattvasya
dharmacakṣuḥ pa-

12 riśuddhiḥ bhagavān āha • iha śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvo
dharmacakṣuṣā prajānāty ayaṃ pudgalaḥ śraddhānusāry ayaṃ dharmānusārī •

PvsP(K) I

*sāhasraṃ lokadhātuṃ paśyati, asti śāriputra bodhisattvasya mahāsattvasya
māṃsacakṣur yat trisāhasraṃ mahāsāhasraṃ lokadhātuṃ paśyati. idaṃ
śāriputra bodhisattvasya mahāsattvasya pariśuddhaṃ māṃsacakṣuḥ.*

*śāriputra āha: katamad bhagavan bodhisattvasya mahāsattvasya
pariśuddhaṃ divyacakṣuḥ?*

*bhagavān āha: yac chāriputra cāturmahārājakāyikānāṃ devānāṃ divyaṃ
cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānīte, yat trayastriṃśānāṃ devānāṃ divyaṃ
cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānīte, yad yāmānāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus
tad bodhisattvaḥ prajānīte, yat tuṣitānāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad
bodhisattvaḥ prajānīte, yan nirmāṇaratīnāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad
bodhisattvaḥ prajānīte, yat paranirmītaśavartināṃ devānāṃ divyaṃ
cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānīte, yad brahmapārṣadyānāṃ devānāṃ*

divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānīte, yad brahmapurohitānāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānīte, yan mahābrahmaṇāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānīte, yat parittābhānāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānīte, yad apramāṇābhānāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānīte, yad ābhāsvarāṇāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānīte, yac chubhakṛtsnānāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānīte, yad anabrahkānāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānīte, yat puṇyaprasavānāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānīte, yad bṛhatphalānāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānīte, yad asaṃjñīsattvānāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānīte, yac chuddhābhāsānāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānīte, yad asprhāṇāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānīte, yad atapānāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānīte, yat sudṛśānāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānīte, yad sudarśānānāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānīte, yad akaniṣṭhānāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānīte.

yat punaḥ śāriputra bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ cakṣus tac cāturmahārājakāyikā devā na prajānanti, na trayastriṃśā devāḥ prajānanti, na yāmā devāḥ prajānanti, na tuṣitā devāḥ prajānanti, na nirmāṇaratayo devāḥ prajānanti, na paranirmitavaśavartino devāḥ prajānanti, na brahmapārṣadyā devāḥ prajānanti, na brahmapurohitā devāḥ prajānanti, na mahābrahmaṇo devāḥ prajānanti, na parittabhā devāḥ prajānanti, nāpramāṇābhā devāḥ prajānanti, nābhāsvarā devāḥ prajānanti, na parittaśubhā devāḥ prajānanti, nāpramāṇaśubhā devāḥ prajānanti, na śubhakṛtsnā devāḥ prajānanti, nānabhrakā devāḥ prajānanti, na puṇyaprasavā devāḥ prajānanti, na bṛhatphalā devāḥ prajānanti, nāsaṃjñīsattvā devāḥ prajānanti, na śuddhāvāsā devāḥ prajānanti, nāsprhādevāḥ prajānanti, nātapā devāḥ prajānanti, na sudṛśā

devāḥ prajānanti, na sudarśanā devāḥ prajānanti, yad bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ cakṣus tad akaniṣṭhā devā na prajānanti.

tenaiva pariśuddhena divyena cakṣuṣā pūrvasyāṃ diśi gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu sarvasattvānāṃ cyutopapādaṃ yathābhūtaṃ prajānāti, tenaiva pariśuddhena divyena cakṣuṣā dakṣiṇasyāṃ diśi gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu sarvasattvānāṃ cyutopapādaṃ yathābhūtaṃ prajānāti, tenaiva pariśuddhena divyena cakṣuṣā paścimāyāṃ diśi gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu sarvasattvānāṃ cyutopapādaṃ yathābhūtaṃ prajānāti, tenaiva pariśuddhena divyena cakṣuṣā uttarasyāṃ diśi gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu sarvasattvānāṃ cyutopapādaṃ yathābhūtaṃ prajānāti, evam uttarapūrvasyāṃ diśi gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu sarvasattvānāṃ cyutopapādaṃ yathābhūtaṃ prajānāti, pūrvadakṣiṇasyāṃ diśi gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu sarvasattvānāṃ cyutopapādaṃ yathābhūtaṃ prajānāti, dakṣiṇapaścimāyāṃ diśi gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu sarvasattvānāṃ cyutopapādaṃ yathābhūtaṃ prajānāti, paścimottarasyāṃ diśi gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu sarvasattvānāṃ cyutopapādaṃ yathābhūtaṃ prajānāti, adho diśi gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu sarvasattvānāṃ cyutopapādaṃ yathābhūtaṃ prajānāti, ūrdhvaṃ diśi gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu sarvasattvānāṃ cyutopapādaṃ yathābhūtaṃ prajānāti. idaṃ śāriputra bodhisattvasya mahāsattvasya pariśuddhaṃ divyaṃ cakṣuḥ.

śāriputra āha: katamad bhagavan bodhisattvasya mahāsattvasya pariśuddhaṃ prajñācakṣuḥ?

bhagavān āha: yena śāriputra prajñācakṣuṣā samanvāgato bodhisattvo mahāsattvo na kañcid dharmāṃ prajānāti, saṃskṛtaṃ vā asaṃskṛtaṃ vā kuśalaṃ vā akuśalaṃ vā sāvadyaṃ vā anavadyaṃ vā sāsravaṃ vā anāsravaṃ vā saṃkleśaṃ vā niṣkleśaṃ vā laukikaṃ vā lokottaraṃ vā saṃkliṣṭaṃ vā vyavadānaṃ vā, yena prajñācakṣuṣā bodhisattvena mahāsattvena kañcid dharmo na dṛṣṭo na śruto na mato na vijñātaḥ. idaṃ

śāriputra bodhisattvasya mahāsattvasya pariśuddhaṃ prajñācakṣuḥ,
śāriputra āha: katamad bhagavan bodhisattvasya mahāsattvasya
pariśuddhaṃ dharmacakṣuḥ?
bhagavān āha: iha śāriputra bodhisattvo mahāsattvo dharmacakṣuṣaivam
jānāti, ayaṃ pudgalaḥ śraddhānusārī, ayaṃ pudgalo dharmānusārī,

ŚsP(Gh)

āha / katamā bhagavan bodhisattvasya mahāsattvasya
divyacakṣuḥparikṣuddhiḥ / bhagavān āha / yac chāradvatīputra
cāturmahārājakāyikānāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ
prajānāti / yat trāyastriṃśānāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ
prajānāti / yad yāmānāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ
prajānāti / yat tuṣitānāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ
prajānāti / yan nirmmānaratināṃ / {Ghosa1913, p. 292} devānāṃ divyaṃ
cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānāti / yat paranirmitavaśavartināṃ devānāṃ
divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānāti / yad brahmakāyikānāṃ devānāṃ
divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānāti / yad brahmapurohitānāṃ devānāṃ
divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānāti / yad brahmapārśadyānāṃ
devānāṃ divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānāti / yan mahābrahmaṇāṃ
devānāṃ divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānāti / yad ābhānāṃ devānāṃ
divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānāti / yat paritābhānāṃ devānāṃ
divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānāti / yad apramāṇābhānāṃ devānāṃ
divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānāti / yad ābhāsvārāṇāṃ devānāṃ
divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaṃ prajānāti / yac chubhānāṃ devānāṃ
divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānāti / yat paritāsubhānāṃ devānāṃ
divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānāti / yad apramāṇasubhānāṃ
divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānāti / yac chubhakṛtsnānāṃ devānāṃ
divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānāti / yad vṛhānāṃ devānāṃ divyaṃ
cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānāti / yat paritāvṛhānāṃ devānāṃ divyaṃ

(190)

*cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānāti / yad apramāṇavṛhāṇāṃ devānāṃ
divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānāti / yat vṛhatphalānāṃ devānāṃ
divyaṃ cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānāti / yad avṛhāṇāṃ devānāṃ divyaṃ
cakṣus tad bodhisattvaḥ prajānāti / yad atapānāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus
tad bodhisattvaḥ prajānāti / yat sudṛśānāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad
bodhisattvaḥ prajānāti / yat sudarśanānāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad
bodhisattvaḥ prajānāti / yad akaniṣṭhānāṃ devānāṃ divyaṃ cakṣus tad
bodhisattvaḥ prajānāti /*

{Ghosa1913, p. 293}

*yat punaḥ śāradvatīputra bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ cakṣus
tac cāturmahārājakāyikā devā na prajānanti / yad bodhisattvasya
mahāsattvasya divyaṃ cakṣus tat trāyastriṃśā devā na jānanti /
yad bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ cakṣus tad yāmā devā na
prajānanti / yad bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ cakṣus tat tuṣitā
devā na prajānanti / yad bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ cakṣus tan
nirmmāṇaratayo devā na prajānanti / yad bodhisattvasya mahāsattvasya
divyaṃ cakṣus tat paranirmmitavaśavarttino devā na prajānanti /
yad bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ cakṣus tad brahmakāyikā
devā na prajānanti / yad bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ
cakṣus tad brahmapurohitā devā na prajānanti / yad bodhisattvasya
mahāsattvasya divyaṃ cakṣus tad brahmapārṣadyā devā na prajānanti /
yad bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ cakṣus tan mahābrahmaṇo
devā na prajānanti / yad bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ cakṣus
tad ābhā devā na prajānanti / yad bodhisattvasya mahāsattvasya
divyaṃ cakṣus tat paritābhā devā na prajānanti / yad bodhisattvasya
mahāsattvasya divyaṃ cakṣus tad pramāṇābhā devā na prajānanti /
yad bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ cakṣus tad ābhāsvarā devā
na prajānanti / yad bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ cakṣus tac
chubhā devā na prajānanti / yad bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ*

cakṣus tat parittaśubhā devā na prajānanti / yad bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ cakṣus tad apramāṇaśubhā devā na prajānanti / yad bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ cakṣus tat śubhakṛtsnā devā na prajānanti / yad bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ cakṣus tad vṛhā devā na prajānanti / {Ghosa1913, p. 294} yad bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ cakṣus tat parittavṛhā devā na prajānanti / yad bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ cakṣus tad apramāṇavṛhā devā na prajānanti / yad bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ cakṣus tad avṛhatphalā devā na prajānanti / yad bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ cakṣus tad avṛhā devā na prajānanti / yad bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ cakṣus tad atapā devā na prajānanti / yad bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ cakṣus tat sudṛśā devā na prajānanti / yad bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ cakṣus tat sudarśanā devā na prajānanti / yad bodhisattvasya mahāsattvasya divyaṃ cakṣus tad akaniṣṭhā devā na prajānanti / yena divyena cakṣuṣā samanvāgato bodhisattvo mahāsattvaḥ pūrvvasyān diśi gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu sattvānāṃ cyutopapādaṃ prajānāti / yena divyena cakṣuṣā samanvāgato bodhisattvo mahāsattvo dakṣiṇasyān diśi gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu sattvānāṃ cyutopapādaṃ prajānāti / yena divyena cakṣuṣā samanvāgato bodhisattvo mahāsattvaḥ paścimāyāṃ diśi gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu sattvānāṃ cyutopapādaṃ prajānāti / yena divyena cakṣuṣā samanvāgato bodhisattvo mahāsattvaḥ uttarasyāṃ diśi gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu sattvānāṃ cyutopapādaṃ prajānāti / yena divyena cakṣuṣā samanvāgato bodhisattvo mahāsattvaḥ uttarapūrvvasyāṃ diśi gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu sattvānāṃ cyutopapādaṃ prajānāti / yena divyena cakṣuṣā samanvāgato bodhisattvo mahāsattvaḥ pūrvvadakṣiṇamyāṃ diśi gaṅgānadivālukopameṣu lokadhātuṣu sattvānāṃ cyutopapādaṃ {Ghosa1913, p. 295} prajānāti / yena divyena cakṣuṣā samanvāgato bodhisattvo mahāsattvo dakṣiṇapaścimāyāṃ*

(192)

*diśi gaṅgānadīvālukopameṣu lokadhātuṣu sattvānāṃ cyutopapādaṃ
prajānāti / yena divyena cakṣuṣā samanvāgato bodhisattvo mahāsattvaḥ
paścimottarasyaṃ diśi gaṅgānadīvālukopameṣu lokadhātuṣu sattvānāṃ
cyutopapādaṃ prajānāti / yena divyena cakṣuṣā samanvāgato bodhisattvo
mahāsattvo 'dhastād diśi gaṅgānadīvālukopameṣu lokadhātuṣu sattvānāṃ
cyutopapādaṃ prajānāti / yena divyena cakṣuṣā samanvāgato bodhisattvo
mahāsattvaḥ upariṣṭād diśi gaṅgānadīvālukopameṣu lokadhātuṣu
sattvānāṃ cyutopapādaṃ prajānāti / iyaṃ śāradvatīputra bodhisattvasya
mahāsattvasya divyacakṣuḥpariśuddhiḥ /
āha / katamā bhagavan bodhisattvasya mahāsattvasya
prajñacakṣuḥpariśuddhiḥ / bhagavān āha / yena śāradvatīputra cakṣuṣā
samānvāgato bodhisattvo mahāsattvaḥ saṃskṛto 'saṃskṛto vā kuśalo
vākuśalo vā sāvadyo vānavadyo vā saṃkleśo vā niḥkleśo vā laukiko vā
lokottaro vā sāsṛavo vānāśṛavo vā tad dharmmaṃ na prajānāti / yena
prajñacakṣuṣā na kaścīd dharmmo 'dṛṣṭo 'śruto 'vijñāto bhavet / iyaṃ
śāradvatīputra bodhisattvasya mahāsattvasya prajñacakṣuḥpariśuddhiḥ /
āha / katamā bodhisattvasya mahāsattvasya dharmmacakṣuḥpariśuddhiḥ /
bhagavān āha / iha śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvo
dharmmacakṣuṣā prajānāty ayaṃ puḍgalaḥ śraddhānūsārī ayaṃ puḍgalo
dharmmānūsārī*

Kj

千國土、有菩薩肉眼見三千大千國土。舍利弗、是爲菩薩摩訶薩肉眼淨」

舍利弗白佛言「世尊、云何菩薩摩訶薩天眼淨」

佛告舍利弗「有菩薩摩訶薩天眼見一切四天王天所見、見三十三天・夜摩天・兜率陀天・化樂天・他化自在天所見、見梵天王所見乃至阿迦尼吒天所見。菩薩天眼所見者、四天王天乃至阿迦尼吒天所不知不見。

舍利弗、是菩薩摩訶薩天眼見十方如恒河沙等諸國土中衆生死此生彼。舍利弗、是名菩薩摩訶薩天眼淨」

舍利弗白佛言「世尊、云何菩薩摩訶薩慧眼淨」

佛告舍利弗「慧眼菩薩不作是念、有法若有爲、若無爲、若世間、若出世間、若有漏、若無漏。是慧眼菩薩亦無法不見、無法不聞、無法不知、無法不識。舍利弗、是名菩薩摩訶薩慧眼淨」舍利弗白佛言「世尊、云何菩薩摩訶薩法眼淨」

佛告舍利弗「菩薩摩訶薩以法眼知是人隨信行、是人隨法行、

(LPG 33v)⁴⁴ Dhr 158c18-159a9; Mo 9a21-9b5; Kj 227c5-19; Xz(II) 21c20-22a12; Xz(III) 442c5-443a2; PvsP(K) I 95.1-96.13; PvsP(D) 79.3-80.9; AdsP(Tib.U) ka 62b6-63b7; AdsP(Tib.S) ka 69a1-70a5; AdsP(Tib.Pk) ni 41a8-42a4; AdsP(Tib.D) ka 47a2-b6; PvsP(Tib.U) ka 86b6-87b6; PvsP(Tib.S) ka 96a5-97a6; PvsP(Tib.Pk) nyi 75a8-76a4; PvsP(Tib.D) ka 73a6-74a4

1 aya(m) (')prañihita[v]ihāri⁴⁵ asya pudgalasyāprañihitena vimokṣamukhena pañcendriyāny utpatsyante • || pañcabhir indri[yai]r ānantaryaṃ samādhim sprakṣyati • ānantarye-

2 ṇa samādhinā vimu[k]tijñānadarśanam utpā<da>yīṣyati • vimuktijñānadarśanena trīṇi saṃyojanāni prahāsyati • satkāyadrṣṭim vicikitsāsīlabrataparā⁴⁶-

3 marśam ayam ucyate pudgalaḥ srotaāpannaḥ sa bhāvanāmārgaṃ pratilabhya kāmarāgavyāpādatanutvaṃ kariṣyati • ayaṃ pudgalaḥ sakṛdāgāmī sa

4 tenaiva mārgenādhimātrabhāvitena kāmarāgavyāpādaprahāṇam ārāgayīṣyaty ayaṃ pudgalaḥ anāgāmī sa tenaiva mārgenādhimātrabhāvitena

5 rūparāgam ārūpyarāgam avidyāmānoddhatyaṃ prahāsyaty ayaṃ pudgalo (')rhat* ayaṃ śūnyatāvihāri śūnyatāvimokṣamukhena pañcendriyāni prati-

⁴⁴ ŚsP(Gh) pp. 295-297; ŚsP(Tib.D) ka 180a2-181a5; Xz(I) 43c3-44a26.

⁴⁵ aya(m) (')prañihitavihāri : この箇所は、並行箇所と比べ1文欠けているように思われる。PvsP(K): ayaṃ pudgalaḥ śūnyatāvihāri, ayaṃ pudgalo 'nimittavihāri, ayaṃ pudgalo 'prañihitavihāri.

⁴⁶ vicikitsāsīlabrataparā-: Read vicikitsāsīlavrataparā-.

(194)

6 lapsyate • pañcabhi[r] indriyair ānantaryaṃ samādhiṃ sp[r]akṣyaty
ānantaryeṇa samādhinā vimuktijñānadarśanam utpādayiṣyati • yāvad
arhatvam anuprāpsyati • a-

7 yaṃ ānimittavihārī ānimittavimokṣamukhena pañcendriyāṇi pratilapsyate •
pañcabhir indriyair ānantaryaṃ samādhiṃ sprakṣyaty ānantaryeṇa samā-

8 dhinā vimuktijñānadarśanam utpādayiṣyati • yāvad arhatvam
anuprāpsyati • [i]daṃ śāradvatīputra bodhisatvasya mahāsatvasya
pariśuddhaṃ dharmacakṣuḥ

9 punar aparāṃ śāradvatīputra bodhisatvo mahāsatvo jānāti yat kiṃcit
samuda<ya>dharma⁴⁷ sarvan tan ni<ro>dhadharmeti⁴⁸ vīditvā pañcendriyāṇi
prāpnotīyaṃ śāradvatī-

10 putra bodhisatvasya mahāsatvasya dharmacakṣuḥ pariśuddhiḥ || punar
aparāṃ śāradvatīputra bodhisatvo mahāsatvo jānāti ayaṃ prathamacittotpā-

11 diko bodhisatvo mahāsatvo dānapāramitāyāṃ śīlapāramitāyāṃ carati •
tataḥ śraddhendriyeṇa vīryendriyeṇa ca samanvāgata upāya-

12 kauśalena saṃcintyātambhāvaṃ parigrahīsyati • kuśalamūlopastambhena
cāyaṃ bodhisatvo mahāsatvo kṣatriyamahāsālakuleśūpapatsyante •

PvsP(K)I

*ayaṃ pudgalaḥ śūnyatāvihārī, ayaṃ pudgalo 'nimittavihārī, ayaṃ pudgalo
'prañihitavihārī.*

*ayaṃ pudgalaḥ śūnyatāvihārī, asya pudgalasya śūnyatāvimokṣamukheṇa
pañcendriyāṇy utpatsyante, pañcabhir indriyair ānantaryasamādhiṃ
prakṣyati, ānantaryeṇa samādhinā vimuktijñānadarśanam utpādayiṣyati,
vimuktijñānadarśanena triṇi saṃyojanāni prahāsyati, satkāyadṛṣṭiṃ
śīlavrataparāmarśavicikitsāṃ ceti, ayaṃ ucyate pudgalaḥ srotaāpannaḥ,*

⁴⁷ samuda<ya>dharma: ŚsP(Gh): samudayadharmma.

⁴⁸ sarvan tan ni<ro>dhadharmeti: ŚsP(Gh): sarvvaṃ taṃ nirodhadharmmeti.

sa bhāvanāmārgaṃ pratilabhya kāmarāgavyāpādatanutvād ayam ucyate pudgalaḥ sakṛdāgāmī, sa tenaiva bhāvanāmārgeṇādhimātrabhāvitena kāmarāgavyāpādaprahāṇād ayam ucyate pudgalo 'nāgāmī, sa tenaiva bhāvanāmārgeṇādhimātrabhāvitena rūparāgam ārūpyarāgam avidyāṃ mānam auddhatyaṃ ca prahāyāyam ucyate pudgalo 'rhan.

ayaṃ pudgalo 'nimittavihārī, asya pudgalasyānimittavimokṣamukhena pañcendriyāṇy utpatsyante, pañcabhir indriyair ānantaryasamādhiṃ prakṣyati ānantaryeṇa samādhinā vimuktijñānadarśanam utpādayiṣyati, vimuktijñānadarśanena triṇi saṃyojanāni prahāsyati, satkāyaḍṣṭiṇ śīlavrataparāmarśavicikitsāṃ ceti, ayam ucyate pudgalaḥ srotaūpannaḥ, sa bhāvanāmārgaṃ pratilabhya kāmarāgavyāpādatanutvād ayam ucyate pudgalaḥ sakṛdāgāmī, sa tenaiva bhāvanāmārgeṇādhimātrabhāvitena kāmarāgavyāpādaprahāṇād ayam ucyate pudgalo 'nāgāmī, sa tenaiva bhāvanāmārgeṇādhimātrabhāvitena rūparāgam ārūpyarāgam avidyāṃ mānam auddhatyaṃ ca prahāyāyam ucyate pudgalo 'rhan.

ayaṃ pudgalo 'prañihitavihārī, asya pudgalasyāprañihitavimokṣamukhena pañcendriyāṇy utpatsyante, pañcabhir indriyair ānantaryasamādhiṃ prakṣyati, ānantaryeṇa samādhinā vimuktijñānadarśanam utpādayiṣyati, vimuktijñānadarśanena triṇi saṃyojanāni prahāsyati, satkāyaḍṣṭiṇ śīlavrataparāmarśavicikitsāṃ ceti, ayam ucyate pudgalaḥ srotaūpannaḥ, sa bhāvanāmārgaṃ pratilabhya kāmarāgavyāpādatanutvādayam ucyate pudgalaḥ sakṛdāgāmī, sa tenaiva bhāvanāmārgeṇādhimātrabhāvitena kāmarāgavyāpādaprahāṇād ayam ucyate pudgalo 'nāgāmī, sa tenaiva bhāvanāmārgeṇādhimātrabhāvitena rūparāgam ārūpyarāgam avidyāṃ mānam auddhatyaṃ ca prahāyāyam ucyate pudgalo 'rhan. idaṃ śāriputra bodhisattvasya mahāsattvasya pariśuddhaṃ dharmacakṣuḥ.

punar aparaṃ śāriputra bodhisattvo mahāsattva evaṃ jānāti, yat kiñcit samudayadharmī sarvaṃ tan nirodhadharmīti prajānāti, prajñāpāramitāyāṃ caran pañcendriyāṇi prāpnoti. idaṃ śāriputra

*bodhisattvasya mahāsattvasya pariśuddhaṃ dharmacakṣuḥ.
punar aparaṃ sārīputra bodhisattvo mahāsattva evaṃ jānāti, ayaṃ
bodhisattvaḥ prathamacittotpādiko yo dānapāramitāyāṃ vā carati,
śīlapāramitāyāṃ vā carati, sa tataḥ śuddhendriyaṃ pratilabhate,
vīryendriyaṃ ca, sa upāyakauśalyena samanvāgataḥ saṃcintyātmabhāvaṃ
parigṛhṇāti, kuśalamūlopalambhaś ca bhavati, ayaṃ bodhisattvo brāhmaṇa-
mahāsālakuleṣūpapatsyate, ayaṃ kṣatriyamahāsālakuleṣūpapatsyate,*

ŚsP(Gh)

*ayaṃ pudgalaḥ śūnyatāvihārī / asya pudgalasya śūnyatāvīmokṣamukhena
pañcendriyāṇy utpatsyante / pañcabhir indriyaiḥ ānantaryyasamādhiṃ
prakṣyaty {Ghosa1913, p. 296} ānantaryyeṇa samādhinā vimuktijñānadarśanam
utpādayiṣyati / vimuktijñānadarśanena trīṇi saṃyojanāni prahāsyanti
satkāyadṛṣṭiṃ vicikitsāṃ śīlavrataparāmarśam / ayam ucyate pudgalaḥ
śrotaāpannaḥ / sa bhāvanāmārgaṃ pratilabhya kāmarāgavyāpādatanutvaṃ
karoty ayaṃ pudgalaḥ sakṛdāgāmī / sa tenaiva mārgenādhimātrabhāvitena
kāmarāgavyāpādaprahāṇam āgamiṣyaty ayaṃ pudgalo 'nāgāmī /
sa tenaiva mārgenādhimātrabhāvitena rūparāgam ārūpyarāgam
avidyāṃ mānauddhatyañ ca prahāsyaty ayaṃ pudgalo 'rhan / ayam
ānimittavihārī / asya pudgalasya nānimittena vimokṣamukhena
pañcendriyāṇy utpatsyante / pañcabhir indriyair ānantaryyasamādhiṃ
prakṣyaty ānantaryyeṇa samādhinā vimuktijñānadarśanam utpādayiṣyati /
vimuktijñānam utpādayiṣyati / vimuktijñānadarśanena trīṇi saṃyojanāni
prahāsyati / satkāyadṛṣṭiṃ vicikitsāṃ śīlavrataparāmarśam ayam
ucyate pudgalaḥ śrotaāpannaḥ / sa bhāvanāmārgaṃ pratilabhya
kāmarāgavyāpādatanutvaṃ kariṣyaty ayaṃ pudgalaḥ sakṛdāgāmī / sa
tenaiva mārgenādhimātrabhāvitena kāmarāgavyāpādaprahāṇam āgamiṣyaty
ayaṃ pudgalo 'nāgāmī / sa tenaiva mārgenādhimātrabhāvitena rūparāgam
ārūpyarāgam avidyāṃ mānauddhatyañ ca prahāsyaty ayaṃ pudgalo 'rhan /*

*ayam apraṇihitavihārī asya pudgalasyān praṇitena vimokṣamukhena
 pañcendriyāṇy utpatsyante / pañcabhir indriyair ānantaryasamādhiṃ
 prakṣyanti / ānantaryeṇa samādhinā vimuktijñānadarśanam
 utpādayiṣyati / vimuktijñānadarśanena trīṇi {Ghosa1913, p. 297}
 saṃyojanāni prahāsyati / satkāyadṛṣṭiṃ vicikitsāṃ śilavrataparāmarśam
 ayam ucyate pudgalaḥ śrotaāpannaḥ / sa bhūvanāmārgaṃ pratilabhya
 kāmarāgavyāpādatanutvaṃ kariṣyaty ayaṃ pudgalaḥ sakṛdāgāmī /
 sa tenaiva mārgenādhimātrabhāvitena kāmarāgavyāpādaprahāṇam
 āgamiṣyaty ayaṃ pudgalo 'nāgāmī / sa tenaiva mārgenādhimātrabhāvitena
 rūparāgam ārūpyarāgam avidyāṃ mānauddhatyañ ca prahāsyaty ayaṃ
 pudgalo 'rhan / iyaṃ śāradvatīputra bodhisattvasya mahāsattvasya
 dharmmacakṣuḥpariśuddhiḥ /
 punar aparaṃ śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvo jānāti / yat kañcit
 samudayadharmmaṃ sarvaṃ taṃ nirodhadharmmeti viditvā śraddhādīni
 pañcendriyāṇi prāpnotīyaṃ śāradvatīputra bodhisattvasya mahāsattvasya
 dharmmacakṣuḥpariśuddhiḥ /
 punar aparaṃ śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvo dharmmacakṣuṣā
 jānāty ayaṃ prathamacittotpādiko bodhisattvo mahāsattvo
 dānapāramitāyāṃ carati / śīlapāramitāyāṃ carati / kṣāntipāramitāyāṃ
 carati / vīryapāramitāyāṃ carati / dhyānapāramitāyāṃ carati /
 prajñāpāramitāyāṃ carati / tataḥ śraddhendriyeṇa vīryendriyeṇa
 samanvāgata upāyakausalena sañcintyātmabhāvaṃ parigrahiṣyati /
 kuśalamūlopalambhena cāyaṃ bodhisattvo mahāsattvaḥ kṣatriyamahāsāla-
 kuleṣūpapatsyante /*

Kj

是人無相行、是人行空解脫門、是人行無相解脫門。是人行無作解脫門、得五根。
 得五根故、得無間三昧。得無間三昧故、得解脫智。得解脫智故、斷三結・我見・疑・
 戒取、是人名須陀洹。是人得思惟道、薄婬・恚・癡、當得斯陀含。增進思惟道、

(198)

斷婬・恚・癡、得阿那含。增進思惟道、斷色染・無色染・無明・慢掉、得阿羅漢。
是人行空・無相・無作・解脫門、得五根。得五根故、得無間三昧。得無間三昧故、
得解脫智。得解脫智故、知所有集法皆是滅法、作辟支佛。是爲菩薩摩訶薩法眼淨。
復次舍利弗、菩薩摩訶薩知是菩薩初發意、行檀那波羅蜜、乃至行般若波羅蜜、
成就信根・精進根。善根純厚、用方便力故、爲衆生受身。若生刹利大姓

(LPG 34r)⁴⁹ Dhr 159a9-26; Mo 9b5-14; Kj 227c19-228a8; Xz(II) 22a12-b11;
Xz(III) 443a2-22; PvsP(K) I 96.13-97.9; PvsP(D) 80.9-81.14; AdsP(Tib.U) ka
63b7-65a2; AdsP(Tib.S) ka 70a5-71b3; AdsP(Tib.Pk) ni 42a4-43a1; AdsP(Tib.
D) ka 47b6-48b5; PvsP(Tib.U) ka 87b6-88b8; PvsP(Tib.S) ka 97a6-98b3;
PvsP(Tib.Pk) nyi 76a4-77a3; PvsP(Tib.D) ka 74a4-75a3

1 (br)āhmaṇamahāsā[la]ku[l](e)ṣu gr̥hapat(i)mahāsālakuleṣūpapatsyante
• || cāturmahārājakāyikeṣu deveṣu yāvat paranirmitavaśavartīṣu
deveṣūpapatsyante • || sa

2 tatra sthitvā <satvā>n paripācayiṣyanti⁵⁰ • sarvasukhopadhānena ca
satvān pratyupasthāsyat • buddhakṣetraṃ ca pariśodhayiṣyati • tathāgatāmś
cārhaṭṭṣamyakṣaṃbuddhān āragayiṣyati •

3 satkariṣyati gurukariṣyati mānayiṣyati pūjayiṣyati • na ca śrāvakabhūmau
vā pratyekabuddhabhūmau vā patiṣyaty ayaṃ bodhisatvo mahāsatvo na
vivartīṣyati • yāvad anu-

4 ttarāṃ samyakṣaṃbodhim abhisambhotsyante || idam api śāradvatīputra
bodhisatvasya mahāsatvasya pariśuddhaṃ dharmacakṣuḥ || punar aparaṃ
śāradvatīputra bodhisatvo mahāsatvo

5 jānāty ayaṃ bodhisatvo mahāsatvo vyākṛto (')nuttarāyāṃ
samyakṣaṃbodhau • || ayaṃ bodhisatvo mahāsatvo na vyākṛtaḥ ayaṃ niyato
(')ya{ṃ}m aniyata ime vyā-

⁴⁹ ŚsP(Gh) p. 297-300; ŚsP(Tib.D) ka 181a5-182b7; Xz(I) 44a26-b30.

⁵⁰ <satvā>n paripācayiṣyanti: PvsP(K), ŚsP(Gh): satvān paripācayiṣyanti.

6 kariṣyaṃte • ime na vyākariṣyaṃte • || ime avaivartikā indriyapratilabdḥā ime nāvaivartikā nendriyapratilabdḥāḥ asyābhijñā paripūrṇā asya na paripūrṇāḥ ayam

7 bodhisatvo mahāsatvo (')bhijñābhiḥ paripūrṇābhiḥ pūrvasyān diśi gaṃgānadivālukopamāṃ lokadhātūn gatvā tathāgatān arhantaḥ samyaksaṃbuddhān paryupāste satkaroti

8 gurukaroti mānayati pūjayati evaṃ dakṣiṇasyāṃ paścimāyāṃ uttarasyāṃ adhastād upariṣṭād yāvat samantād daśasu dikṣv ekaikasyān diśi gaṃgānadivālu-

9 kopamāṃ lokadhātūn gatvā tathāgatān arha<n>taḥ samyaksaṃbuddhān paryupāste || satkaroti • gurukaroti mānayati pūjayati ayam abhijñāḥ pratilapsyate • ayam

10 na pratilapsyate • || ayam kṣāntiprati[1]abdho (')ya(m) na kṣāntipratilabdhaḥ ayam indriyapratilabdho (')yan nendriyapratilabdhaḥ asya bodhisatvasya mahāsatvasya buddhakṣetraṃ

11 pariśuddhaṃ bhaviṣyati • asya na pariśuddhaṃ bhaviṣyati ayam bodhisatvo mahāsatvo mahāpraṇidhāno (')yan na mahāpraṇidhāna • anena satvāḥ paripācitā

12 anena na paripācitā • asya buddhā bhagavanto varṇaṃ bhāṣante asya na varṇaṃ bhāṣante • ime bodhisatvā mahāsatvā buddhānāṃ bhagavatām āsannasthāyino bha-

PvsP(K) I

ayam gr̥hapatimahāsālakuleṣūpapatsyate, ayam cāturmahārājakāyikeṣu deveṣūpapatsyate, ayam trayastrimśeṣu deveṣūpapatsyate, ayam yāmeṣu deveṣūpapatsyate, ayan tuṣiteṣu deveṣūpapatsyate, ayam nirmāṇaratiṣu deveṣūpapatsyate, ayam paranirmitavaśavartiṣu deveṣūpapatsyate, ayam yāvad akaniṣṭheṣu deveṣūpapatsyate, sa tatra sthītvā sattvān paripācayiṣyati, sarvasukhopadhānena ca sattvān pratyupasthāsyati, buddhakṣetraṃ ca

(200)

parisodhayiṣyati, tathāgatāṃś cārhatāḥ samyaksaṃbuddhān āragayiṣyati, satkariṣyati gurukariṣyati mānayiṣyati pūjayiṣyati, na ca śrāvakabhūmau vā pratyekabuddhabhūmau vā patiṣyati, ayaṃ bodhisattvo mahāsattvo na nivartate yāvan nānuttarāṃ samyaksaṃbodhim abhisambuddha iti. idaṃ śāriputra bodhisattvasya mahāsattvasya pariśuddhaṃ dharmacakṣuḥ. punar aparaṃ śāriputra bodhisattvo mahāsattva evaṃ jānāti, amī bodhisattvā mahāsattvā vyākṛtā anuttarāyāṃ samyaksaṃbodhau, amī bodhisattvā na vyākṛtā, amī bodhisattvā avinivartanīyāḥ, amī bodhisattvā nāvinivartanīyāḥ, eṣāṃ bodhisattvānāṃ abhijñāḥ paripūrṇāḥ, eṣāṃ bodhisattvānāṃ na paripūrṇāḥ, ayaṃ bodhisattvo 'bhijñāparipūrṇaḥ pūrvasyāṃ diśi yāvad upariṣṭād diśi gaṅgānadivālukupamān lokadhātūn gatvā tathāgatān arhataḥ samyaksaṃbuddhān satkaroti gurukaroti mānayati pūjayati, ayaṃ bodhisattvo nābhijñāparipūrṇo yāvan na pūjayati, ayaṃ bodhisattvo 'bhijñānāṃ lābhī bhaviṣyati, ayaṃ bodhisattvo nābhijñānāṃ lābhī bhaviṣyati, asya bodhisattvasya mahāsattvasya pariśuddhaṃ buddhakṣetraṃ bhaviṣyati, asya bodhisattvasya mahāsattvasyāpariśuddhaṃ buddhakṣetraṃ bhaviṣyati, anena bodhisattvena sattvāḥ pariśodhitāḥ, anena bodhisattvena sattvā na pariśodhitāḥ, asya bodhisattvasya mahāsattvasya buddhā bhagavanto varṇaṃ bhāṣante, asya bodhisattvasya mahāsattvasya na bhāṣante, amī bodhisattvā buddhānāṃ bhagavatāṃ āsannasthāyino bha-

ŚsP(Gh)

brāhmaṇamahāśālakuleśūpapatsyante / gr̥hapatimahāśālakuleśūpapatsyante / cāturmahārājakāyikeṣu deveśūpapatsyante / trāyastriṃśeṣu deveśūpapatsyante / yāmeṣu deveśūpapatsyante / tuṣiṭeṣu deveśūpapatsyante / nirmmāṇaratiṣu deveśūpapatsyante / paranirmmitavaśavarttiṣu deveśūpapatsyate / sa tatra {Ghosa1913, p. 298} sthitvā sattvān paripācayiṣyati sarvasukhopadhānena

*ca tān pratyupasthāsyati / buddhakṣetraṅ ca pariśodhayiṣyati /
tathāgatāṃś cārhatāḥ samyaksambuddhān ārāgayiṣyati satkarīṣyati /
gurūkarīṣyati / mānayaṣyati / pūjayaṣyati / na ca śrāvakabhūmau vā
pratyekabuddhabhūmau vā paṭiṣyati / ayaṃ bodhisattvo mahāsatto
na nivarttate yāvad anuttarāṅ samyaksambodhim abhisambhotsyate /
idam api śāradvatīputra bodhisattvasya mahāsattvasya pariśuddhaṃ
dharmmacakṣuḥ /*

*punar aparaṃ śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvo jānāty ayaṃ
bodhisattvo mahāsattvo vyākṛto ’nuttarāyāṃ samyaksambodhau / ayaṃ
na vyākṛtaḥ / ayaṃ niyataḥ / ayam aniyataḥ / ime vyākariṣyanti / ime
na vyākariṣyanti / ime avaiivarttikāḥ indriyalabdḥāḥ / ime nāvaiivarttikā-
nendriyapratilabdḥāḥ / asyābhijñāḥ paripūrṇāḥ / asya na paripūrṇāḥ /
ayaṃ bodhisattvo mahāsattvo ’bhijñābhiḥ paripūrṇābhiḥ pūrvvasyāṃ
diśi gaṅgānadīvālukupamān lokadhātūn gatvā tathāgatān arhataḥ
samyaksambuddhān ārāgayati / paryyupāste / satkaroti / gurūkaroti /
mānayaṣyati / pūjayaṣyati / dakṣiṇasyāṃ diśi gaṅgānadīvālukupamān lokadhātūn
gatvā tathāgatān arhataḥ samyaksambuddhān ārāgayati /
paryyupāste / satkaroti / gurūkaroti / mānayaṣyati / pūjayaṣyati /
paścimāyāṃ diśi gaṅgānadīvālukupamān lokadhātūn gatvā tathāgatān
arhataḥ samyaksambuddhān ārāgayati / paryyupāste / satkaroti /
gurūkaroti / mānayaṣyati / pūjayaṣyati / uttarasyāṃ diśi gaṅgānadīvālukupamān
lokadhātūn gatvā tathāgatān arhataḥ samyaksambuddhān
ārāgayati / paryyupāste / {Ghosa1913, p. 299} satkaroti / gurūkaroti /
mānayaṣyati / pūjayaṣyati / uttarapūrvvasyāṃ diśi gaṅgānadīvālukupamān
lokadhātūn gatvā tathāgatān arhataḥ samyaksambuddhān
ārāgayati / paryyupāste / satkaroti / gurūkaroti / mānayaṣyati / pūjayaṣyati /
pūrvvadakṣiṇasyāṃ diśi gaṅgānadīvālukupamān lokadhātūn gatvā
tathāgatān arhataḥ samyaksambuddhān ārāgayati / paryyupāste /
satkaroti / gurūkaroti / mānayaṣyati / pūjayaṣyati / dakṣiṇapaścimāyāṃ*

(202)

diṣi gaṅgānadīvālukopamān lokadhātūn gatvā tathāgatān arhataḥ samyaksambuddhān ārāgayati / paryyupāste / satkaroti / gurūkaroti / mānayati / pūjayati / paścimottarasayāṃ diṣi gaṅgānadīvālukopamān lokadhātūn gatvā tathāgatān arhataḥ samyaksambuddhān ārāgayati / paryyupāste / satkaroti / gurūkaroti / mānayati / pūjayati / adhistād diṣi gaṅgānadīvālukopamān lokadhātūn gatvā tathāgatān arhataḥ samyaksambuddhān ārāgayati / paryyupāste / satkaroti / mānayati / pūjayati / upariṣṭād diṣi gaṅgānadīvālukopamān lokadhātūn gatvā tathāgatān arhataḥ samyaksambuddhān ārāgayati / paryyupāste / satkaroti / mānayati / pūjayati / ayam abhijñāḥ pratilapsyante ayaṃ na pratilapsyate / ayaṃ kṣāntiṃ pratilabdho 'yaṃ na kṣāntiṃ pratilabdhaḥ / ayam indriyapratilabdho 'yaṃ nendriyapratilabdhaḥ / asya bodhisattvasya mahāsattvasya pariśuddhaṃ buddhakṣetraṃ bhaviṣyati / asya bodhisattvasya mahāsattvasya buddhakṣetraṃ na pariśuddhaṃ bhaviṣyati / ayaṃ bodhisattvo mahāsattvo mahāprañidhāno 'yaṃ na mahāprañidhānaḥ / anena sattvāḥ paripācitāḥ anena sattvā na paripācitāḥ {Ghosa1913, p. 300} / asya bodhisattvasya mahāsattvasya daśasu dikṣu gaṅgānadīvālukopameṣu lokadhātuṣu buddhā bhagavanto varṇaṃ bhāṣante / asya na varṇaṃ bhāṣante / ime bodhisattvā mahāsattvāḥ buddhānāṃ bhagavatām āsattvasyāyino read āsannasthāyino (KW) bha-

Kj

若生婆羅門大姓、若生居士大家、若生四天王天處乃至他化自在天處。是菩薩於其中住、成就衆生、隨其所樂、皆給施之。亦淨佛國土、值遇諸佛、供養・恭敬・尊重・讚歎、乃至阿耨多羅三藐三菩提。亦不墮聲聞・辟支佛地。是名菩薩摩訶薩法眼淨。

復次舍利弗、菩薩摩訶薩知是菩薩於阿耨多羅三藐三菩提退、知是菩薩於阿耨多羅三藐三菩提不退、知是菩薩受阿耨多羅三藐三菩提記、知是菩薩未受阿耨多羅三藐三菩提記、知是菩薩到阿惟越致地、知是菩薩未到阿惟越致地、知是菩薩具

足神通、知是菩薩未具足神通、知是菩薩以具足神通、飛到十方如恒河沙等世界、見諸佛、供養・恭敬・尊重・讚歎、知是菩薩未得神通當得神通、知是菩薩當淨佛土不淨佛土。是菩薩成就衆生、未成就衆生。是菩薩爲諸佛所稱譽、所不稱譽。是菩薩親近諸佛

(LPG 34v)⁵¹ Dhr 159a26-b20; Mo 9b15-c1; Kj 228a8-29; Xz(II) 22b11-c13; Xz(III) 443a22-b18; PvsP(K) I 97.9-98.9; PvsP(D) 81.14-83.3; AdsP(Tib.U) ka 65a2-66a1; AdsP(Tib.S) ka 71b3-72b5; AdsP(Tib.Pk) ni 43a1-b5; AdsP(Tib.D) ka 48b5-49b1; PvsP(Tib.U) ka 88b8-89b7; PvsP(Tib.S) ka 98b3-99b4; PvsP(Tib.Pk) nyi 77a3-77b8; PvsP(Tib.D) ka 75a3-76a1

1 viṣyaṃti[m]e nāsannasthāyinaḥ asyāyur aparimitaṃ bhaviṣyaty asya parimitaṃ • asya prabhāghoṣo bhikṣusamghaś cāparimito bhaviṣyaty asya parimitaḥ asya bodhisa-

2 tvasya mahāsatvasyānuttarāṃ samyaksambodhim abhisambuddhasya bodhisatvasamgho bhaviṣyaty asya na bhaviṣyati • ayaṃ duṣka<ra>caryāṃ cariṣyaty ayaṃ na cariṣyati • || ayaṃ caramabhavi-

3 ko (')yaṃ na carama<bha>vikaḥ ayaṃ bodhimaṇḍe niṣatsyaty ayaṃ na niṣatsyati • eṣāṃ bodhisatvānāṃ mahāsatvānāṃ mārā bhaviṣyaṃty eṣāṃ na bhaviṣyaṃti • || evaṃ khalu śāradvatī-

4 putra bodhisatvasya mahāsatvasya pariśuddhaṃ bhavati dharmacakṣuḥ || āha • katamat punar bhagavan bodhisatvasya mahāsatvasya pariśuddhaṃ buddhacakṣuḥ bhagavān āha •

5 yac chāradvatīputra bodhisatvo mahāsatvo bodhicittānantaraṃ bajropamaṃ⁵² samādhiṃ samāpadya sarvākārajñatām anuprāpnoti • sa daśabhis tathāgatabalaiḥ

6 samanvāgato bhavati • caturbhi v[ai]śāradyaīś catasrbhiḥ

⁵¹ ŚsP(Gh) pp. 300-301; ŚsP(Tib.D) ka 182b7-183b5; Xz(I) 44b30-45a6.

⁵² bajropamaṃ: *Read* vajropamaṃ.

(204)

pratisaṃvidbhi{ḥ}r aṣṭādaśabhir āveṇikair buddhadharmair mahāmaitryā
mahākaruṇayā mahāmudītayā ma-

7 hopekṣayā anāvaraṇena ca buddhavimokṣeṇa samanvāgato bhavati • tasya
cakṣur yena cakṣuṣā bodhisatvena mahāsatvena sarvākārair nāsti kiṃcid
adrṣṭa-

8 m aśrutam aśmṛtam avijñātaṃ || idaṃ śāradvatīputra bodhisatvasya
mahāsatvasya pariśuddhaṃ buddhacakṣuḥ || evaṃ khalu śāradvatīputra
bodhisatvena mahāsa-

9 tvena paṃcacakṣuṃsi pariśodhay[i]tukāmena pratilabdhuḥkāmena ṣaṭsu
pāramitāsu yogaḥ karaṇīya || tat kasya hetoḥ tathā hi śāradvatīputra ṣaṭsu

10 pāramitāsu sarvakuśaladharmāḥ antargatā sarvaśrāvakadharmās
ca sarvapratyekabuddhadharmās ca sarvabodhisatvadharmās ca
sarvabuddhadharmās ca ya-

11 t khalu taṃ śāradvatīputra samyag vadanto vadeyuḥ sarvakuśala-
dharmasaṃgraha iti • || prajñāpāramitaṃ⁵³ samyag vadanto vadeyu janetṛi
śāradvatīputra

PvsP(K) I

*viṣyanti, amī bodhisattvā mahāsattvā nāsannasthāyino bhaviṣyanti, asya
bodhisattvasya parimitam āyur bhaviṣyati, asya bodhisattvasyāparimitam
āyur bhaviṣyati, asya bodhisattvasya parimitaḥ saṃgho bhaviṣyati, asya
bodhisattvasyāparimitaḥ saṃgho bhaviṣyati, asya bodhisattvasyānuttarāṃ
samyaksaṃbodhim abhisambuddhasya bodhisattvasaṃgho bhaviṣyati,
asya bodhisattvasya mahāsattvasyānuttarāṃ samyaksaṃbodhim
abhisambuddhasya na bodhisattvasaṃgho bhaviṣyati, ayaṃ bodhisattvo
mahāsattvo duṣkaracaryāṃ cariṣyati, ayaṃ bodhisattvo mahāsattvo na
duṣkaracaryāṃ cariṣyati, ayaṃ bodhisattvaś caramabhavikaḥ, ayaṃ
bodhisattvo na caramabhavikaḥ, ayaṃ bodhisattvo bodhimaṇḍe niṣatsyate,*

⁵³ prajñāpāramitaṃ: S.e. for prajñāpāramitāṃ.

ayaṃ bodhisattvo bodhimaṇḍe na niṣatsyate, asya bodhisattvasya māro bhaviṣyati, asya bodhisattvasya na māro bhaviṣyati. evaṃ hi śāriputra bodhisattvasya mahāsattvasya pariśuddhaṃ dharmacakṣuḥ.

śāriputra āha: katamad bhagavan bodhisattvasya mahāsattvasya pariśuddhaṃ buddhacakṣuḥ?

bhagavān āha: yac chāriputra bodhisattvo mahāsattvo bodhicittānantaraṃ vajropamaṃ samādhiṃ samāpadya ekacittakṣaṇasamāyuktayā prajñayā sarvākārañjatām anuprāpnoti, daśabhis tathāgatabalaiḥ samanvāgataḥ, caturbhir vaiśārdyais catasṛbhiḥ pratisaṃvidbhir aṣṭādaśabhir āveṇikair buddhadharmair mahāmaitryā mahākaraṇayā ca samanvāgataḥ, yena ca cakṣuṣā bodhisattvena mahāsattvena nāsti kiñcid adṛṣṭaṃ vāśrutaṃ vāmataṃ vāvijñātaṃ vā sarvair ākāraiḥ. evaṃ hi śāriputra bodhisattvasya mahāsattvasya pariśuddhaṃ buddhacakṣuḥ.

evaṃ hi śāriputra bodhisattvena mahāsattvena pañcacakṣūṃṣi śodhayitukāmena ṣaṭsu pāramitāsu yogaḥ karaṇīyaḥ. tat kasya hetoḥ? tathā hi śāriputra ṣaṭsu pāramitāsu sarve kuśalā dharmā antargatāḥ sarvaśrāvakaharmās ca sarvapratyekabuddhadharmās ca bodhisattvadharmās ca, yat khalu śāriputra samyag vadanto vadeyuḥ sarvakuśaladharmasaṃgraha iti prajñāpāramitāṃ khalu samyag vadantovadeyuḥ. tat kasya hetoḥ? tathā hi śāriputra prajñāpāramitā janayitrī

ŚsP(Gh)

viṣyanti / ime nāsattvasthāyinaḥ / asya bodhisattvasya mahāsattvasya bodhiprāptasyāyur aparimitaṃ bhaviṣyati / asya parimitaṃ / asya prabhāghoṣo bhikṣusaṃghāś cāparimito bhaviṣyati / asya parimitaḥ / asya bodhisattvasyānuttarāṃ samyaksambuddhasya bodhisattvasaṃgho bhaviṣyati / asya na bhaviṣyati / ayaṃ duṣkaraṃ carīṣyaty ayaṃ na carīṣyati / ayaṃ caramabhaviko 'yaṃ na caramabhavikaḥ / ayaṃ

(206)

*bodhimaṇḍe niṣatsyati nāyaṃ niṣatsyati / eṣāṃ bodhisattvānāṃ
mahāsattvānāṃ mārā bhaviṣyanti / naiṣāṃ bhaviṣyanti / evaṃ
khalu śāradvatīputra bodhisattvānāṃ mahāsattvānāṃ pariśuddhaṃ
dharmmacakṣuḥ /*

*āha katamaṃ punar bhagavan bodhisattvasya mahāsattvasya pariśuddhaṃ
buddhacakṣuḥ / bhagavān āha / yac chāradvatīputra bodhisattvo
mahāsattvo bodhicittānuttaraṃ vajropamaṃ samādhiṃ samāpadya
sarvākārañātām anuprāpnoti / daśabhis tathāgatabalaiḥ samanvāgato
bhavati / catubhir vvaīśāradyaiḥ samanvāgato bhavati / aṣṭādaśabhir
āveṇikair buddhadharmmaiḥ samanvāgato bhavati / mahāmaitryā
samanvāgato bhavati / mahākaruṇayā samanvāgato bhavati /
mahāmuditaḥ samanvāgato bhavati / mahopekṣayā samanvāgato
bhavati / anāvāraṇena ca buddhavimokṣeṇa samanvāgato bhavati / tad
asya cakṣur yena cakṣuṣā bodhisattvena mahāsattvena sarvākāraṃ
nāsti kiñcid adṛṣtam aśrutam amatam avijñātaṃ / idaṃ śāradvatīputra
bodhisattvasya {Ghosa1913, p. 301} mahāsattvasyānuttaraṃ
samyaksambodhim abhisambuddhasya pariśuddhaṃ buddhacakṣuḥ /
eva śāradvatīputra bodhisattvena mahāsattvena pañca cakṣūṃṣi
pariśodhayitukāmena pratilabdhuḥkāmena ca ṣaṣṭsu pāramitāsu yogaḥ
karaṇīyah / tat kasya hetoḥ / tathā hi / śāradvatīputra ṣaṣṭsu pāramitāsu
sarvakuśaladharmā antargatāḥ sarvvaśrāvakaharmmas ca /
sarvapratyekabuddhadharmas ca / ye khalu te śāradvatīputra samyag
vadanto vadeyuḥ sarvakuśaladharmmasaṃgraha iti prajñāpāramitān te
samyag vadanto vadeyuḥ / tat kasya hetoḥ / janayitrī śāradvatīputra*

Kj

不親近諸佛、是菩薩壽命有量、壽命無量。是菩薩得佛時、比丘衆有量、比丘衆無量。是菩薩得阿耨多羅三藐三菩提時、以菩薩爲僧、不以菩薩爲僧。是菩薩當修苦行・難行、不修苦行・難行。是菩薩一生補處、未一生補處。是菩薩受最後身、未受

最後身。是菩薩能坐道場、不能坐道場。是菩薩有魔、無魔。

如是、舍利弗、是爲菩薩摩訶薩法眼淨」

舍利弗白佛言「世尊、云何菩薩摩訶薩佛眼淨」

佛告舍利弗「有菩薩摩訶薩求佛道心、次第入如金剛三昧、得一切種智。爾時、成就十力・四無所畏・四無闕智・十八不共法・大慈・大悲。是菩薩摩訶薩用一切種智、一切法中無法不見、無法不聞、無法不知、無法不識。

舍利弗、是爲菩薩摩訶薩得阿耨多羅三藐三菩提時、佛眼淨。

如是、舍利弗、菩薩摩訶薩欲得五眼、當學六波羅蜜。何以故。

舍利弗、是六波羅蜜中、攝一切善法、若聲聞法・辟支佛法・菩薩法・佛法。

舍利弗、若有實語、能攝一切善法者、般若波羅蜜是。

舍利弗、般若波羅蜜能生

(LPG 35r)⁵⁴ Dhr 159b20-c16; Mo 9c1-15; Kj 228a29-b20; Xz(II) 22c13-23b8(much detailed); Xz(III) 443b18-444a12; PvsP(K) I 98.10-99.12; PvsP(D) 83.3-85.3; AdsP(Tib.U) ka 66a1-b8; AdsP(Tib.S) ka 72b5-74a1; AdsP(Tib.Pk) ni 43b5-44a6; AdsP(Tib.D) ka 49b1-50a4; PvsP(Tib.U) ka 89b7-90b6; PvsP(Tib.S) ka 99b4-100b5; PvsP(Tib.Pk) nyi 77b8-78b4; PvsP(Tib.D) ka 76a1-b6

1 (prajñāpā)ramit(ai)ṣā[m] (pañcānām ca)kṣuṣā[m] eṣu pa(ṃ)ca[s]u cakṣuṣu bodhisatvā mahāsatvā śikṣitvānuttarām samyaksambodhim abhisambudhyant(e) [•] asti śāradvatīputra bodhisatvo mahāsatvaḥ

2 prajñāpāramitāyām carann abhijñāpāramitām pratilabhate • so (')nekavidham ṛddhividhiṃ pratyanubhavati • sa imām api pṛthivīm kaṃpayati • eko (')pi bhūtvā bahudhā bhavati • bahu-

3 dhābhībhūtvaikībhavati • [ā]bhīrbhāvatirobhāvam⁵⁵ api pratyanubhavati • || tiraḥkuḍyaṃ tiraḥprākāraṃ tiraḥparvatān apy asajjāt kāyena gacchati • tadyathāpi nāmākāśe ākāśe

⁵⁴ ŚsP(Gh) pp. 301-302; ŚsP(Tib.D) ka 183b5-184b2; Xz(I) 45a6-c17.

⁵⁵ [ā]bhīrbhāvatirobhāvam: S.e. for āvirbhāvatirobhāvam. PvsP(K): āvirbhāvaṃ tirobhāvam, ŚsP(Gh): āvirbhavati tirobhāvam.

(208)

4 (')pi paryamkena krā[ma]t[i] • || tadyathāpi nāma pakṣī śakuniḥ
pṛthivyām unmajjanimajjanam⁵⁶ karoti • tadyathāpi nāmodake udate (')py
abhidyamāne⁵⁷ gacchati • || tadyathāpi nāma ma-

5 hāpṛthivyām dhūmayati prajvalaty api • || tadyathāpi nāma mahān
agniskandha imām api sūryācandramasāv evaṃ mahardhikāv evaṃ
mahānubhāvo pāṇinām aparāmārṣṭiḥ

6 yāvad brahmalokam api kāyena vaśam vartayati tayā ca rdhyā na manyate
• tathā hi sa ṛddhiṃ nopalabhate yayā manyeta • svabhāvaśunyatām upādāya
svabhāvavivikta-

7 tām upādāya • svabhāvānutpādatām upādāya • sa na ceta[n]ām apy
utpādayati • || riddhyābhisamskāre<ṇa>⁵⁸ vānyatra sarvajñatāmanasikārāt*
evaṃ khalu śāradvatīputra

8 bodhisatvo mahāsatva prajñāpāramitāyāṃ caran
ṛdhividhisākṣātkriyābhijñājnānam abhinirha<ra>ti • || sa divyena śrotreṇa
viśuddhenātīkrāntamānuṣeṇa ubhau śabdau śṛṇo-

9 ti yad uta divyaṃ mānuṣa[m] vā • na ca tena divyena śrotradhātunā
manyate • ahaṃ śabdām śṛṇomi || tathā hi sa śrotra<ṃ> śabdām ca⁵⁹
nopalabhate • svabhāvaśunyatām upādāya svabhā-

10 vaviviktatām upādāya • svabhāvānutpādatām upādāya sa cetanām api
notpādayati • divyaśrotradhātāv anyatra sarvajñatānamasikārāt* evaṃ khalu
śāradva-

11 tīputra bodhisatvo mahāsatvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran divyaśrotrasā-
kṣātkriyābhijñām⁶⁰ abhinirharati • sa parasatvāṇām parapudgalā-

12 nām cetasaiva cittam yathābhūtam prajānāti || sarāgaṃ cittam sarāgaṃ
cittam iti yathābhūtam prajānāti • || vigatarāgaṃ ci[t]tam [v]i[g]a[t]arāgaṃ

⁵⁶ unmajjanimajjanam: PvsP(K): unmajjanimajjam, ŚsP(Gh): unmajjati na nimajjanam.

⁵⁷ abhidyamāne: S.e. for abhidyamāno? PvsP(K): abhidyamāno.

⁵⁸ riddhyābhisamskāre<ṇa>: ŚsP(Gh): ṛddhyabhinirhāreṇa.

⁵⁹ śrotra<ṃ> śabdām ca: ŚsP(Gh): śrotram śabdāmś ca.

⁶⁰ divyaśrotrasākṣātkriyābhijñā<na>m: PvsP(K): divyaśrotrābhijñāsākṣātkriyājñānam, ŚsP(Gh):
divyaśrotradhātusākṣātkriyābhijñājnānam.

PvsP(K) I

sarvāsāṃ pāramitānāṃ, eṣāṃ ca pañcānāṃ bodhisattvacakṣuṣāṃ, eṣu ca śāriputra pañcasu bodhisattvacakṣuṣu śikṣitvā bodhisattvā mahāsattvā anuttarāṃ samyaksambodhim abhisambudhyante.

iti pañcacakṣur avavādaḥ

atra śāriputra bodhisattvo mahāsattvaḥ prajñāpāramitāyāṃ carann abhijñāpāramitāṃ bhāvayati, so 'nekavidham ṛddhividhiṃ pratyanubhavati, pṛthivīm api kampayati, eko 'pi bhūtvā bahudhā bhavati, bahudhāpi bhūtvā eko bhavati, āvirbhāvaṃ tirobhāvam api pratyanubhavati, tiraḥkuḍyaṃ tiraḥprākāraṃ tiraḥparvatam apy asakto gacchati tadyathāpi nāmākāśe 'pi krāmati tadyathāpi nāma pakṣi śakuniḥ, pṛthivyāṃ apy unmajjanimajjaṃ karoti tadyathāpi nāmodake, udate 'bhidyamāno gacchati tadyathāpi nāma pṛthivyāṃ, dhūmayaty api prajjalaty api tadyathāpi nāma mahān agniskandhaḥ, udakam api kāyāt pramuñcati tadyathāpi nāma mahāmeghaḥ, imāv api sūryācandramasāv evaṃ maharaddhikau mahānubhāvau pāṇinā parāmṛṣati parimārṣti yāvau brahmalokād api kāyaṃ vaśena vartayati, tayā ca ṛddhyā na manyate, tathā hi satām ṛddhiṃ nopalabhate yayā manyate tad api na manyate yenāpi manyate svabhāvasūnyatām upādāya, svabhāvaviviktatām upādāya, svabhāvānupalabdhitām upādāya, sa na ṛddhīcetanām apy utpādayati na ṛddhyabhinirhāracetanāṃ vā anyatra sarvajñatā manasikārāt. evaṃ hi śāriputra bodhisattvo mahāsattvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran ṛddhividhyabhijñāsākṣātkriyājñānam abhinirharati.

sa divyena śrotradhātunā viśuddhenātikrāntamānuṣyakeṇa śabdān śṛṇoti divyān mānuṣyakāṃś ca, na ca tena divyena śrotreṇa manyate, ahaṃ śabdān śṛṇomi, tathā hi sa tarn api śabdaṃ nopalabhate svabhāvasūnyatām upādāya svabhāvaviviktatām upādāya svabhāvānupalabdhitām upādāya, sa na divyaśrotracetanām apy utpādayati, na divyaśrotrābhinirhāracetanāṃ

(210)

vānyatra sarvākārajñatāmanaskārāt. evaṃ hi sārīputra bodhisattvo mahāsattvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran divyaśrotrābhijñāsākṣātkriyājñānam abhinirharati.

sa parasattvānāṃ parapudgalānāṃ cetasaiva yathābhūtaṃ prajānāti, sarāgacittaṃ sarāgacittam iti yathābhūtaṃ prajānāti, vigatarāgaṃ cittaṃ vigatarāgaṃ

ŚsP(Gh)

prajñāpāramitaiṣāṃ pañcānāṃ cakṣuṣāṃ / eṣu ca pañcasu cakṣuṣu bodhisattvā mahāsattvāḥ śikṣitvānuttarāṃ samyak sambodhim abhisambudhyante / asyāṃ sāradvatīputra prajñāpāramitāyāṃ caran bodhisattvo mahāsattvo 'bhijñāpāramitāṃ pratilabhate / so 'nekavidham ṛddhividhiṃ pratyanubhavati / imāṃ eva pṛthivīṃ kampayaty eko 'pi bhūtvā bahudhā bhavati / bahudhāpi bhūtvā eko bhavati / āvirbhavati tirobhāvam api pratyanubhavati / tiraḥ kuḍyaṃ tiraḥ pṛākāraṃ tiraḥ parvatam apy asaṃjñāṃ kāyena gacchati / tadyathāpi nāmākāśe paryyaṃkena krāmati / tadyathāpi nāma śakuniḥ pṛthivyāṃ apy unmajjati na nimajjanaṃ karoti / tadyathāpi nāmodake 'nudake 'py abhiyānena gacchati / tadyathāpi nāma pṛthivyāṃ dhūmayate prajvalaty api / tadyathāpi nāma mahān agniskandhaḥ / imāv api sūryācandramasāv evaṃ maharddhikāv evaṃ mahānubhāvāv evaṃ mahēśākhyau pāṇinā {Ghosa1913, p. 302} parāmārṣtvā brahmalokaṃ kāyena vaśaṃ varttayati tayā carddhyā na manyate / tathā hi samṛddhiṃ nopalabhate yayā manyeta svabhāvasūnyatām upādāya svabhāvānutpādatām upādāya / sa cetanāṃ api notpādayati / ṛddhyā vā ṛddhyabhinirhāreṇa vānyatra sarvavajñatāmanasikārāt / evaṃ khalu sāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran ṛddhi-vidhisākṣātkriyābhijñājñānam abhinirharati / sa divyena śrotradhātunā viśuddhenātīkrāntamānuṣyaken obhayaṅ chabdān śṛṇoti yad uta divyān vā mānuṣyakān vā / na ca tena divyena śrotradhātunā manyate ahaṃ śabdān* śṛṇomīti / tathā hi sa śrotraṃ*

*śabdāmś ca nopalabhate svabhāvaśūnyatām upādāya svabhāvānutpādatām
upādāya / sa cetanām api notpādayati divyaśrotradhātāv anyatra
sarvvajñātāmanasikārāt / evaṃ khalu śāradvatīputra bodhisattvo
mahāsattvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran divya-śrotradhātusākṣātkriyābhijñā
nānam abhinirharati / sa parasattvānāṃ parapudgalānāṃ cetasaiva cittaṃ
yathābhūtaṃ prajānāti / sa sarāgacittaṃ na rāgacittam iti yathābhūtaṃ
prajānāti / sa vigatarāgaṃ cittaṃ vigatarāgaṃ*

Kj

五眼。菩薩學五眼者、得阿耨多羅三藐三菩提。

舍利弗、有菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、修神通波羅蜜、以是神通波羅蜜受種種如意事。能動大地、變一身爲無數身、無數身還爲一身。隱顯自在、山・壁・樹木皆過無闕、如行空中。履水、如地。陵虛、如鳥。出沒地中、如出入水。身出烟焰、如大火聚。身中出水、如雪山水流。日月大德威力、難當而能摩捫乃至梵天身、得自在。亦不著是如意神通。神通事及己身皆不可得。自性空故、自性離故、自性無生故。不作是念『我得如意神通、除爲薩婆若心』

如是、舍利弗、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、得如意神通智證。是菩薩以天耳、淨過於人耳、聞二種聲天聲・人聲、亦不著是天耳神通、天耳與聲及己身皆不可得。自性空故、自性離故、自性無生故。不作是念『我有是天耳、除爲薩婆若心』

如是、舍利弗、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、得天耳神通智證。是菩薩如實知他衆生心。若欲心、如實知欲心。離欲心、

(LPG 35v)⁶¹ Dhr 159c16-160a4; Mo 9c15-25; Kj 228b20-c14; Xz(II) 23b8-24a4; Xz(III) 444a12-b17; PvsP(K) I 99.12-100.23; PvsP(D) 85.3-86.13; AdsP(Tib.U) ka 66b8-67a5; AdsP(Tib.S) ka 74a1-75a3; AdsP(Tib.Pk) ni 44a6-b2; AdsP(Tib.D) ka 50a4-51a1; PvsP(Tib.U) ka 90b6-91b8; PvsP(Tib.S) ka 100b5-102a2; PvsP(Tib.Pk) nyi 78b4-79b3; PvsP(Tib.D) ka 76b6-77b5

⁶¹ ŚsP(Gh) pp. 302-304; ŚsP(Tib.D) ka 184b2-185b1; Xz(I) 45c17-46b7.

(212)

1 (ci)ttam i<ti> yathābhūt(aṃ p)r(a)jānāti • || evaṃ sadoṣaṃ cittaṃ
vigatadoṣaṃ cittaṃ samohaṃ cittaṃ vigatamohaṃ cittaṃ satṛṣṇaṃ cittaṃ
vigatatrṣṇaṃ

2 cittaṃ sopādānaṃ cittaṃ anupādānaṃ cittaṃ • saṃkṣiptaṃ cittaṃ
vikṣiptaṃ cittaṃ • parittaṃ⁶² cittaṃ vipulaṃ cittaṃ • mahadgataṃ cittaṃ
apramāṇaṃ cittaṃ samāhitaṃ cittaṃ asamāhitaṃ cittaṃ •

3 vimuktaṃ cittaṃ avimuktaṃ cittaṃ • sāsraṃ cittaṃ anāsraṃ cittaṃ
sāṅgaṃ cittaṃ anāṅgaṃ cittaṃ • sottaraṃ cittaṃ sottaraṃ cittaṃ iti
yathābhūtaṃ prajānāti • || anuttaraṃ

4 cittaṃ anuttaraṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti • || tena ca na
manyate • tathā hi ta<c> cittaṃ⁶³ acittaṃ acintyatām upādāya • || so (')haṃ
prajānāmīti na manyate • tathā hi

5 sa tad eva cittaṃ nopalabhate • yena manyeta svabhāvaśūnyatām upādāya
• svabhāvaviviktatām upādāya • svabhāvānutpādatām upādāya • sa cetanām
api [n]o-

6 tpādāyati • citte (')nyatra sarvākārajñātāmanasikārāt* evaṃ [kh]alu
śāradvatīputra bodhisatvo mahāsatvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran sarvasatva-
cittacaritābhijñāsākṣā-

7 tk[r]iyājñānam abhinirharati • so (')nekavidhāṃ pūrvenivāsānusmṛ[ti]-
jñānasākṣātkṛyābhijñānam abhinirharati • sa ekam api cittaṃ anusmarati yāva
cittaśatam api • eka-

8 m api divasaṃ yāva divasaśatam api ekam api māsaṃ yāvan māsaśatam
api • ekam api varṣaṃ yāvad varṣaśatam api • ekam api kalpaṃ yāvat
kalpaśa[ta]-

9 m api • yāvad anekāny api kalpasahasrāṇy anekāny api kalpaśatasahasrāṇy
anekāny api kalpakoṭīniyutaśatasahasrāṇy anusmaranti • yatrāham āsam e-

10 vaṃnāmaivaṃgotra evaṃjātya [e]vamāhāra evaṃcirasthitika

⁶² parittaṃ: PvsP(K), ŚsP(Gh): parittaṃ.

⁶³ ta<c> cittaṃ: PvsP(K), ŚsP(Gh): tac cittaṃ.

evamāyusparyantah sa tataś cutah⁶⁴ sann amutropapannah yāvat tataś cutah⁶⁵
sann ihāsmṃ upapannah evam sā-

11 [k]āraṃ sodeśaṃ sanirdeśaṃ anekavidhaṃ pūrvenivāsam anusmarati • ||
tena ca pūrvenivāsānusmrṭyabhijñāñānena na manyate • tathā hi ta<j>
jñānam ajñānam acintyatām upā-

12 dāya • [s]o ('ha)ṃ [p](ra)jānāmiti na manyate • tathā hi tad eva
jñānaṃ nopalabhate • yena manyate • svabhāvasūnyatām upādāya
svabhāvaviviktatām upā-

PvsP(K) I

*cittam iti yathābhūtaṃ prajānāti, sadoṣaṃ cittaṃ sadoṣaṃ cittaṃ iti
yathābhūtaṃ prajānāti, vītadoṣaṃ cittaṃ vītadoṣaṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ
prajānāti, samohaṃ cittaṃ samohaṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti,
vītamohaṃ cittaṃ vītamohaṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti, satṛṣṇaṃ
cittaṃ satṛṣṇaṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti, vīatatrṣṇaṃ cittaṃ
vīatatrṣṇaṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti, sopādānaṃ cittaṃ sopādānaṃ
cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti, nirūpādānaṃ cittaṃ nirūpādānaṃ
cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti, saṃkṣiptaṃ cittaṃ saṃkṣiptaṃ cittaṃ iti
yathābhūtaṃ prajānāti, vikṣiptaṃ cittaṃ vikṣiptaṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ
prajānāti, parittaṃ cittaṃ parittaṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti,
vipulaṃ cittaṃ vipulaṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti, mahadgataṃ
cittaṃ mahadgataṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti, samāhitaṃ
cittaṃ samāhitaṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti, asamāhitaṃ cittaṃ
asamāhitaṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti, viviktaṃ cittaṃ viviktaṃ
cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti, aviviktaṃ cittaṃ aviviktaṃ cittaṃ iti
yathābhūtaṃ prajānāti, sāsraṃ cittaṃ sāsraṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ
prajānāti, anāsraṃ cittaṃ anāsraṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti,*

⁶⁴ cutah: PvsP(K): cyuto, ŚsP(Gh): cutah.

⁶⁵ cutah: PvsP(K): cyuta, ŚsP(Gh): cuta.

(214)

sāṅgaṇaṃ cittaṃ sāṅgaṇaṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti, anaṅgaṇaṃ cittaṃ anaṅgaṇaṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti, sottaraṃ cittaṃ sottaraṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti, anuttaraṃ cittaṃ anuttaraṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti, tena ca na manyate, tathā hi tac cittaṃ acittaṃ acintyatām upādāya, so 'haṃ prajānāmīti na manyate, tad eva cittaṃ nopalabhate svabhāvasūnyatām upādāya, svabhāvaviviktatām upādāya svabhāvānupalabdhitām upādāya, na sa paracittacetanām apy utpādayati, na paracittābhinirhāracetanām vānyatrasarvākārajñātāmanasikārāt. evaṃ hi śāriputra bodhisattvo mahāsattvaḥ praññāpāramitāyāṃ caran sarvasattvacittacaritābhijñāsākṣātkriyājñānam abhinirharati.

pūrvanivāsānumṛtijñānena sa ekām api jātim anusmarati, dve tisro yāvaj jātiśatasahasrāṇy apy anusmarati, sa ekam api cittaṃ anusmarati yāvac cittaśatam api, ekam api divasaṃ divasaśatam api, ekam api māsaṃ māsaśatam api, ekam api varṣaṃ varṣaśatam api, ekam api kalpaṃ kalpaśatam api, anekāni api kalpaśatāny anekāny api kalpasahasrāṇy anekāny api kalpaśatasahasrāṇy anekāny api kalpakotiṇiyutaśatasahasrāṇi anusmarati yāvat pūrvāntakoṭim apy anusmarati, amutrāham āsam evaṃnāmā evaṃgotra evaṃjātir evamāhāra evaṃcirasthitikaḥ, evamāyusṣparyantaḥ, sa tataś cyuto 'mutropapannaḥ, tataś cyuta ihāsmi upapanna iti, sa evaṃ sākāraṃ sādṛśaṃ sanirdeśam anekavidhaṃ pūrvanivāsam anusmarati, tena ca pūrvanivāsānumṛtyabhijñānena na manyate, tathā hi tajñānam ajñānam acintyatām upādāya, so 'haṃ prajānāmīti na manyate, sa tad eva jñānaṃ nopalabhate svabhāvasūnyatām upādāya svabhāvaviviktatām upā-

ŚsP(Gh)

cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti / sadoṣacittaṃ sadoṣacittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti / vigatadoṣaṃ cittaṃ vigatadoṣaṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti / samohaṃ cittaṃ samohaṃ cittaṃ iti

yathābhūtaṃ prajānāti / vigatamohaṃ cittaṃ vigatamohaṃ cittaṃ iti
yathābhūtaṃ prajānāti / satṛṣṇācittaṃ satṛṣṇācittaṃ iti yathābhūtaṃ
prajānāti / {Ghosa1913, p. 303} vigatatrṣṇaṃ cittaṃ vigatatrṣṇaṃ cittaṃ
iti yathābhūtaṃ prajānāti / sopādānaṃ cittaṃ sopādānaṃ cittaṃ iti
yathābhūtaṃ prajānāti / anupādānaṃ cittaṃ anupādānaṃ cittaṃ iti
yathābhūtaṃ prajānāti / vikṣiptacittaṃ vikṣiptacittaṃ iti yathābhūtaṃ
prajānāti / parittaṃ cittaṃ parittaṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti /
vipulaṃ cittaṃ vipulaṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti / mahadgataṃ
cittaṃ mahadgataṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti / apramāṇaṃ cittaṃ
apramāṇaṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti / samāhitaṃ cittaṃ samāhitaṃ
cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti / asamāhitaṃ cittaṃ asamāhitaṃ
cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti / viviktaṃ cittaṃ viviktaṃ cittaṃ iti
yathābhūtaṃ prajānāti / aviviktaṃ cittaṃ aviviktaṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ
prajānāti / sāsraṃ cittaṃ sāsraṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti /
anāsraṃ cittaṃ anāsraṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti / sāṅgaṇaṃ
cittaṃ sāṅgaṇaṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti / anaṅgaṇaṃ cittaṃ
anaṅgaṇaṃ cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti / sottaraṃ cittaṃ sottaraṃ
cittaṃ iti yathābhūtaṃ prajānāti / anuttaraṃ cittaṃ anuttaraṃ cittaṃ iti
yathābhūtaṃ prajānāti / tena ca paracittajñānena na manyate / tathā hi
tac cittaṃ acittaṃ acintyatām upādāya / so 'haṃ prajānāmiti na manyate
/ tathā hi sa tac cittaṃ nopalabhate yena manyeta svabhāvasūnyatām
upādāya / svabhāvaviviktatām upādāya / svabhāvānutpādatām upādāya
/ sa cittajñānacetanām api notpādayati / na cittajñānābhinirhāracetanām
anyatra sarvvañātāmanasikārāt / evaṃ {Ghosa1913, p. 304} khalu
śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran sarvasattva
cittacaritasākṣātkriyābhijñā-jñānam abhinirharati / so 'nekavidhapūrvvanivāsān
usmṛtisākṣātkriyābhijñā-jñānam abhinirharati / ekam api cittaṃ anusmarati
yāvāc cittaśatam apy anusmarati / ekam api divasam anusmarati
yāvāc dviśatam apy anusmarati / ekam api māsam anusmarati

(216)

*yāvan māsaśatam apy anusmarati / ekam api varṣam anusmarati
yāvad varṣaśatam apy anusmarati / ekam api kalpam anusmarati yāvāt
kalpaśatam apy anusmarati / yāvāt anekāny api kalpaśatāny anusmarati /
anekāny api kalpasahasrāny anusmarati / anekāny api kalpaśatasahasrāny
anusmarati / anekāny api kalpakoṭīniyutaśatasahasrāny anusmarati /
atrāham evanāmaivaṃgotra evajātir evamāhāra evaṃcirasthitikaḥ
evamāyuhṣparyyantaḥ so 'haṃ tataś cutaḥ sann atropapannaḥ / yāvāt tataś
cuta ihopapannaḥ iti / sākāraṃ soddeśaṃ sanidarśam ātmanaḥ pareṣāñ
cānekavidhaṃ pūrvvanivāsam anusmarati / tena ca pūrvvanivāsānusrīti-
sākṣātkriyābhijñāñjānena na manyate / tathā hi taj jñānam ajñānam
acintyatām upādāya / so 'haṃ prajānāmīti na manyate / tathā hi sa tad
eva jñānaṃ nopalabhate yena manyeta / svabhāvasūnyatām upādāya
svabhāvaviviktatām upā*

Kj

如實知離欲心。瞋心、如實知瞋心。離瞋心、如實知離瞋心。癡心、如實知癡心。離癡心、如實知離癡心。渴愛心、如實知渴愛心。無渴愛心、如實知無渴愛心。有受心、如實知有受心。無受心、如實知無受心。攝心、如實知攝心。散心、如實知散心。小心、如實知小心。大心、如實知大心。定心、如實知定心。亂心、如實知亂心。解脫心、如實知解脫心。不解脫心、如實知不解脫心。有上心、如實知有上心。無上心、如實知無上心。亦不著是心。何以故。是心非心相、不可思議故、自性空故、自性離故、自性無生故。不作是念『我得他心智證、除爲薩婆若心』

如是、舍利弗、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、得他心神通智證。是菩薩以宿命智證通、念一心乃至百心、念一日乃至百日、念一月乃至百月、念一歲乃至百歲、念一劫乃至百劫・無數百劫・無數千劫・無數百千劫乃至無數百千萬億劫世。我是處、如是姓、如是名字、如是生、如是食、如是久住、如是壽限、如是長壽、如是受苦樂。我是中死、生彼處、彼處死、生是處。有相有因緣、亦不著是宿命神通。宿命神通事及己身皆不可得。自性空故、自性離故、

(LPG 36r)⁶⁶ Dhr 160a4-b11; Mo 9c25-10a5; Kj 228c15-229a5; Xz(II) 24a4-b17; Xz(III) 444b17-c20; PvsP(K) I 100.23-101.24; PvsP(D) 86.13-88.13; AdsP(Tib. U) ka 67a5-69a1; AdsP(Tib.S) ka 75a3-76a6; AdsP(Tib.Pk) ni 44b2-45b4; AdsP(Tib.D) ka 51a1-b5; PvsP(Tib.U) ka 91b8-93a4; PvsP(Tib.S) ka 102a2-103b7; PvsP(Tib.Pk) nyi 79b3-80b2; PvsP(Tib.D) ka 77b5-79a3

1 dāya svabhāvānutpā[da]tām upādāya • sa cetanām api notpādayaty anusmṛtijñāne • anyatra sarvajñatāmanasikārāt* evaṃ khalu śāradvatīputra bodhisa-

2 tvo mahāsatvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran [p]ūrvenivāsānusmṛtijñāna-sāk[ṣ]āt[k]riyābhijñājnānam abhinirharati • sa divyena cakṣuṣā viś[u]-d[dh]enātikrāntamānuṣ[e]ṇa sa-

3 tvān paśyati • cyavamānān upapadyamānān suvarṇā[n] durvarṇān hīnā[n] praṇītān sugatān durgatān* yathākarmopagān satvān prajānāti • || amī bhavaṃtaḥ satvā kāyaduśca-

4 ritena samanvāgatā vāgduścaritena manoduśca<ri>tena samanvāgatāḥ āryāṇām apavādakā mithyādṛṣṭayas taddhetos tatpratrayayaṃ kāyasya bhedād apāyad[u]-

5 rgativinipātāṃ narakeṣūpapad[y]ante • || amī punar bhavaṃtaḥ satvāḥ kāyasuśca«suca»ritena samanvāgatā vāksucaritena manaḥsucaritena samanvāga-

6 tāḥ āryāṇām anapavādakāḥ samyagdṛṣṭaya taddhetos tatpratrayayaṃ kāyasya bhedāt sugatau svargaloke deveṣūpapadyaṃ«te» iti • || samantād daśasu dikṣu lokadhātuṣu dharmadhātuparame

7 loke ā«kā»śadhātuparya«va»sāne ṣaḍgatikānāṃ satvānāṃ cyutopapādaṃ yathābhūtaṃ prajānāti • || tena ca na manyate • tathā hi tac cakṣur acakṣur acintyatām upādāya • so (?)haṃ pra-

⁶⁶ ŚsP(Gh) pp. 304-306; ŚsP(Tib.D) ka 185b1-186b7; Xz(I) 46b7-c4.

(218)

8 jānāmiti tena manyate • tathā hi tad eva cakṣur nopalabhate • yena manyeta • svabhāvaśunyatās upādāya • svabhāvaviviktatām upādāya • svabhāvānutpādatām upādā-

9 ya • sa cetanām api notpādayati • cakṣuṣy anyatra sarvajñatāmanasikārāt* || evaṃ khalu śāradvatīputra bodhisatvo mahāsattvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran divyacakṣuḥ

10 sāksātkriyājñānābhijñānam abhinirharati • sa āsravakṣayasāksātkriyābhijñānjñānam abhinirharati • || sa na śrāvakabhūmiṃ vā pratyekabhūmiṃ vānuprāpnoti • || na ca kaṃcid dharmam

11 paśyata • yo uttarāṃ samyaksambodhim abhisambudhyeta • sa tayāsravakṣayajñānasāksātkriyābhijñāyā na manyate • tathā hi ta<j> jñānam ajñānam aciṃtyatvāt* so (')haṃ prajānāmiti

12 na manyate • tathā hi tām evāsravakṣayajñānasāksātkriyābhijñānam nopalabhate • yayā manyeta svabhāvaśunyatām upādāya • svabhāvaviviktatām upādāya • svabhāvā-

PvsP(K) I

dāya svabhāvānupalabdhitām upādāya, na sa pūrvanivāsānusmṛticetanām apy utpādayati, na pūrvanivāsānusmṛtyabhinirhāracetanāṃ vā anyatra sarvākārājñatāmanasikārāt. evaṃ hi śāriputra bodhisatvo mahāsattvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran pūrvanivāsānusmṛtisāksātkriyājñānam abhinirharati.

sa divyena cakṣuṣā viśuddhenātikrāntamānuṣyakeṇa sattvān paśyati cyavamānān utpadyamānān suvarṇān durvarṇān hinān prañītān sugatau durgatau yathākarmopagān sattvān prajānāti, amī bhavantaḥ sattvāḥ kāyasucaritena samanvāgatāḥ vāksucaritena samanvāgatāḥ manaḥsucaritena samanvāgatāḥ, āryāṇām anapavādakāḥ samyagdr̥ṣṭayaḥ tena kāyavānmanaḥsucaritena hetunā sugatau svargaloka upapadyante.

ime punar bhavantaḥ sattvāḥ kāyaduścaritena samanvāgatāḥ,

*vāgduścaritena samanvāgatāḥ, manoduścaritena samanvāgatāḥ, āryāṇām
 apavādakāḥ mithyādr̥ṣṭayas te mithyādr̥ṣṭīkarmasamādānahetoḥ kāyasya
 bhedāt paraṃ maraṇād apāyadurgativinipātaṃ narakeṣūpapadyante.
 iti hi divyena cakṣuṣā viśuddhenātīkrāntamānuṣyakeṇa daśadiśi
 loke sarvalokadhātuṣu dharmadhātuparame ākāśadhātuparyavasāne
 ṣaḍgatikānāṃ sattvānāṃ cyutopapādaṃ yathābhūtaṃ prajānāti.
 tena ca na manyate tathā hi tac cakṣur acakṣur acintyatām upādāya, so
 'haṃ paśyāmīti na manyate, tad eva cakṣur nopalabhate svabhāvaśūnyatām
 upādāya, svabhāvaviviktatām upādāya, svabhāvānupalabdhitām
 upādāya, na sa divyacakṣuścetanām apy utpādayati, na
 divyacakṣurabhīrharacetanāṃ vā anyatra sarvākārajñātāmanasikārāt.
 evaṃ hi śāriputra bodhisattvo mahāsattvaḥ prajñāpāramitāyāṃ
 caran divyacakṣurabhijñāsākṣātkriyājñānam abhinirharati, so
 'nutpādasākṣātkriyābhijñājñānam abhinirharati, na ca śrāvakabhūmau
 vā pratyekabuddhabhūmau vā patati, nāpy anyañ kañcid dharmam
 āśaṃsati anyatrānuttarāṃ samyaksaṃbodhim abhisamḥotsyamīti, sa
 tayā āsravakṣaya sākṣātkriyābhijñājñānābhinirhārakuśalatayā na manyate
 tathā hi taj jñānam ajñānam acintyatām upādāya, so 'haṃ prajānāmīti
 na manyate, tad eva ca jñānaṃ nopalabhate svabhāvaśūnyatām upādāya
 svabhāvaviviktatām upādāya svabhāvā-*

ŚsP(Gh)

*dāya / svabhāvān utpādatām upādāya sa cetanām api
 notpādayati / anusmṛtijñānenānyatra sarvvajñātāmanasikārāt / evaṃ
 khalu śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran
 pūrvvanivāsānusmṛtisākṣātkriyābhijñājñānam abhinirharati / sa divyena
 cakṣuṣā viśuddhenātīkrāntamānuṣeṇa sattvān paśyati / cyavamānān
 {Ghosa1913, p. 305} upapadyamānān suvarṇān durvvarṇān hīnān praṇītān
 sugatān durgatān yathākarmopagatān sattvān vijānāti / amī bhavantaḥ*

(220)

sattvāḥ kāyaduścaritena samanvāgatāḥ vāgduścaritena samanvāgatāḥ
manoduścaritena samanvāgatāḥ / āryānām apavādakāḥ mithyādr̥ṣṭayas
taddhetos tatpratyaayaṃ kāyasya bhedād apāyadurgativinipātaṃ
narakeṣūpapadyante / amī punar bhavantaḥ kāyasucaritena samanvāgatāḥ
vāksucaritena samanvāgatāḥ manaḥsucaritena samanvāgatāḥ āryānām
anapavādakāḥ samyagdr̥ṣṭayas taddhetos tatpratyaayaṃ kāyasya bhedāt
sugatau svargaloke deveṣūpapadyante iti samantād daśasu dikṣu
sarvalokadhātuṣu dharmmadhātuparame loka ākāśadhātuparyavasāne
ṣaḍgatikānāṃ cyutopapādaṃ yathābhūtaṃ prajānāti / tena ca na
manyate / tathā hi tac cakṣur acakṣur acintyatām upādāya / so 'haṃ
paśyāmīti na manyate / tathā hi sa tad eva cakṣur nopalabhate yena
manyeta / svabhāvasūnyatām upādāya svabhāvaviviktatām upādāya
svabhāvānutpādatām upādāya / sa divyacakṣuścetanām api notpādayati /
na divyacakṣurabhinirhāracetanām anyatra sarvākārajñātāmanasikārāt /
evaṃ khalu śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvaḥ prajñāpāramitāyān
caran divyacakṣuḥsākṣātkriyābhijñājanām abhinirharati / na ca
śrāvabhūmiṃ vā pratyekabuddhabhūmiṃ vānuprāpnoti / na kiñcid
dharmmaṃ paśyati yo 'nuttarāṃ samyaksambodhim abhisambudhyate / sa
tayābhijñayā vajropamaṃ samādhim adhigamya sarvvavāsanānusandhi
kleśaprahāṇaṃ kurute / na ca tayāśrāvākṣayajñānasākṣātkriyābhijñayā
manyate / {Ghosa1913, p. 306} tathā hi tajjñānam ajñānam acintyabhṛt /
ahaṃ prajānāmīti na manyate / tathā hi sa tām evāśrāvākṣayajñānasā-
kṣātkriyābhijñāṃ nopalabhate / yayā manyeta / svabhāvasūnyatām
upādāya / svabhāvaviviktatām upādāya / svabhāvā-

Kj

自性無生故。不作是念『我有是宿命神通、除爲薩婆若心』

如是、舍利弗、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、得宿命神智證。是菩薩以天眼見衆生死時生時・端正醜・惡處好處・若大若小、知衆生隨業因緣。是諸衆生身惡業

成就、口惡業成就、意惡業成就故、謗毀賢聖人、受邪見因緣故、身壞、墮惡道、生地獄中。是諸衆生身善業成就、口善業成就、意善業成就、不謗毀賢聖人、受正見因緣故、命終入善道、生天上。亦不著是天眼通、天眼通事及己身皆不可得。自性空故、自性離故、自性無生故。不作是念『我有是天眼神通、除爲薩婆若心』如是、舍利弗、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、得天眼神通智證、亦見十方如恒河沙等世界中衆生生死乃至生天上。四神通亦如是。是菩薩摩訶薩漏盡神通。雖得漏盡神通不墮聲聞・辟支佛地、乃至阿耨多羅三藐三菩提。亦不依異法、亦不著是漏盡神通。漏盡神通事及己身皆不可得。自性空故、自性離故、自性

(LPG 36v)⁶⁷ Dhr 160b11-c5; Mo 10a6-17; Kj 229a5-28; Xz(II) 24b17-26a29(much expanded); Xz(III) 444c20-445a16; PvsP(K) I 101.24-102.25; PvsP(D) 88.13-89.13; AdsP(Tib.U) ka 69a1-70a2; AdsP(Tib.S) ka 76a6-77b3; AdsP(Tib.Pk) ni 45b4-46a8; AdsP(Tib.D) ka 51b5-52b2; PvsP(Tib.U) ka 93a4-94b5; PvsP(Tib.S) ka 103b7-105a4; PvsP(Tib.Pk) nyi 80b2-81b7; PvsP(Tib.D) ka 79a3-80a3

1 nutpādatām upādāya • sa cetanām api notpādayaty āsraṅvakṣayajñāne
(*)nyatra sarvākārajñātāmanasikārāt* evaṃ khalu śāradvatīputra bodhisatvo
mahāsatvaḥ prajñāpāra-

2 mitāyāṃ caran nāsraṅvakṣayajñānasākṣātkṛyābhijñām abhinirharati • ||
evaṃ khalu śāradvatīputra bodhisatvo mahāsatvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran
ṣaḍabhijñā paripūrayat{y}i

3 vardhate (*)nuttarāyāṃ samyaksambodhau || asti śāradvatīputra bodhisatvā
mahāsatvāḥ prajñāpāramitāyāṃ caranto dānapāramitāyāṃ sthitvā
sarvajñatāyāḥ panthānaṃ śodhayaṃty atya-

4 ntaśunyatāyā anavagrhitacittatām upādāya || asti śāradvatīputra bodhisatvā
mahāsatvāḥ prajñāpāramitāyāṃ carantaḥ śīlapāramitāyāṃ sthitvā sarvajñatā-

5 yāḥ panthānaṃ śodhayaṃty atyantaśunyatāyā anaddhyāpatitām upādāya
|| asti śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvāḥ prajñāpāramitāyāṃ carantaḥ

⁶⁷ ŚsP(Gh) pp. 306-307; ŚsP(Tib.D) ka 186b7-187b6; Xz(I) 46c4-49c1.

(222)

kṣāntipāramitā-

6 yāṃ sthitvā sarvajñatāyāḥ panthānaṃ śodhayaty atyantaśunyatayā akṣobhagatām⁶⁸ upādāya • || asti śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvāḥ prajñāpāramitāyāṃ caranto

7 vīryapāramitāyāṃ sthitvā sarvajñatāyāḥ panthānaṃ śodhayamty atyantaśunyatayā kāyikacaitasikavīryāsraṃsanatām upādāya • || asti śāradvatīputra bodhisatvā

8 mahāsatvāḥ prajñāpāramitāyāṃ caranto dhyānapāramitāyāṃ sthitvā sarvajñatāyāḥ panthānaṃ śodhayamty atyantaśunyatayā avikṣiptacittatām upādāya • ||

9 asti śāradvatīputra bodhisatvā mahāsatvāḥ prajñāpāramitāyāṃ carantaḥ prajñāpāramitāyāṃ sthitvā sarvajñatāyāḥ panthānaṃ śodhayamty atyantaśunyatayā dauṣpra-

10 jñacittānupalabdhitām upādāya • || evaṃ khalu śāradvatīputra bo[dhi]-satvā mahāsatvāḥ prajñāpāramitāyāṃ carantaḥ ṣaṭsu pāramitāsu sthitvā sarvajñatāyāḥ

11 panthānaṃ śodhayamty atyantaśunyatayā anāgamanāgamanatām upādāya • || aparigrahatām upādāya • dānaṃ parigrahatām upādāya prajñapyate •

12 śīlaṃ duḥśīlatām upādāya • kṣāntiḥ kṣobhaṇatām upādāya : vīryaṃ kusīdatām upādāya • samādhir asamāhitatām upādāya • prajñā duṣpra-

PvsP(K) I

*nupalabdhitām upādāya, na sa āsraṃśayacetanām apy utpādayati nāsra-
vaḥkṣayābhijñābhinirhāracetanāṃ vānyatra sarvākārajñatāmanasikārāt. evaṃ
hi śāriputra bodhisattvo mahāsattvaḥ prajñāpāramitāyāṃ carann āsraṃśayā-
bhijñāsākṣātkriyājñānam abhinirharati.*

*evaṃ punaḥ śāriputra bodhisattvasya mahāsattvasya prajñāpāramitāyāṃ
carantaḥ ṣaḍabhiññāḥ paripūryante pariśudhyante ca, abhiññāḥ śāriputra*

⁶⁸ akṣobhagatām: S.e. for akṣobhaṇatām. PvsP(K), ŚsP(Gh): akṣobhaṇatām.

*parisuddhāḥ sarvākārajñatām arpayanti,
santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvāḥ prajñāpāramitāyāṃ caranto
dānapāramitāyāṃ sthitvā sarvākārajñatāpanthānaṃ śodhayanti,
atyantaśūnyatayā na ca gṛhītātām upādāya.*

*santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvāḥ prajñāpāramitāyāṃ carantaḥ
śīlapāramitāyāṃ sthitvā sarvākārajñatāpanthānaṃ śodhayanti,
atyantaśūnyatayā āpattyanadhyāpattitām upādāya.*

*santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvāḥ prajñāpāramitāyāṃ carantaḥ
kṣāntipāramitāyāṃ sthitvā sarvākārajñatāpanthānaṃ śodhayanti,
atyantaśūnyatayā akṣobhaṇatām upādāya.*

*santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvāḥ prajñāpāramitāyāṃ caranto
vīryapāramitāyāṃ sthitvā sarvākārajñatāpanthānaṃ śodhayanti,
atyantaśūnyatayā kāyikacaitasikavīryāsraṃsanatām upādāya.*

*santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvāḥ prajñāpāramitāyāṃ caranto
dhyānapāramitāyāṃ sthitvā sarvākārajñatāpanthānaṃ śodhayanti,
atyantaśūnyatayā avikṣiptacittatām upādāya.*

*santi śāriputra bodhisattvā mahāsattvāḥ prajñāpāramitāyāṃ carantaḥ
prajñāpāramitāyāṃ sthitvā sarvākārajñatāpanthānaṃ śodhayanti,
atyantaśūnyatayā dauṣprajñacittaparivarjanatām upādāya.*

*evaṃ khalu śāriputra bodhisattvā mahāsattvāḥ prajñāpāramitāyāṃ
carantaḥ ṣaṭsu pāramitāsu sthitvā sarvākārajñatāpanthānaṃ śodhayanti,
atyantaśūnyatām upādāya, dānaṃ parigrahatām upādāya prajñapyate,
śīlaṃ dauḥśīlyam upādāya prajñapyate, kṣāntir akṣāntitām upādāya
prajñapyate, vīryaṃ kauśīdyam upādāya prajñapyate, samādhir
asamāhitatām upādāya prajñapyate, prajñā dauṣpra-*

ŚsP(Gh)

*nutpādatām upādāya / sa āśravakṣayaññānacetanām api notpādayati /
nāśravakṣayasākṣātkriyābhijñāññānābhinirhāracetanām anyatra*

sarvākārajñatāmanasikārāt / evaṃ khalu śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran sa āśravakṣayasākṣātkriyābhijñāñānam abhinirharati / evaṃ ca punaḥ śāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran ṣaḍ abhijñāḥ paripūrayati / varddhate 'nuttarayā samyaksambodhyā / santi śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ prajñāpāramitāyāṃ caranto dānapāramitāyāṃ sthitvā sarvākārajñatāyāḥ panthānaṃ śodhayanti / atyantaśūnyatayā anavagrhitacittatām upādāya / santi śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ ye prajñāpāramitāyāṃ carantaḥ śīlapāramitāyāṃ sthitvā sarvākārajñatāyāḥ panthānaṃ śodhayanti / atyantaśūnyatayā āpattyanadhyaḥpattitām upādāya / santi śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvā ye prajñāpāramitāyāṃ carantaḥ kṣāntipāramitāyāṃ sthitvā sarvākārajñatāyāḥ panthānaṃ śodhayanti atyantaśūnyatayā akṣobhaṇatām upādāya / santi śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ ye prajñāpāramitāyāṃ carantaḥ vīryapāramitāyāṃ sthitvā sarvākārajñatāyāḥ panthānaṃ śodhayanti atyantaśūnyatayā kāyikacetasikavīryāsraṃsanatām upādāya / santi śāradvatīputra bādhisattvā mahāsattvāḥ ye prajñāpāramitāyāṃ caranto dhyānapāramitāyāṃ {Ghosa1913, p. 307} sthitvā sarvākārajñatāyāḥ panthānaṃ śodhayanti atyantaśūnyatayā avikṣiptacittatām upādāya / santi śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ ye prajñāpāramitāyāṃ carantaḥ prajñāpāramitāyāṃ sthitvā sarvākārajñatāyāḥ panthānaṃ śodhayanti atyantaśūnyatayā dauḥprajñacittānupalabdhitām upādāya / evaṃ śāradvatīputra bodhisattvā mahāsattvāḥ prajñāpāramitāyāṃ carantaḥ ṣaṭsu pāramitāsu sthitvā sarvākārajñatāyāḥ panthānaṃ śodhayanti atyantaśūnyatayā anāgamanāgamanatām upādāya / aparigrahatām upādāya / dānaṃ parigrahatām upādāya prajñāpyate / śīlam aśucitām upādāya prajñāpyate / kṣāntiṃ kṣobhaṇatām upādāya prajñāpyate / vīryaṃ kusīdatām upādāya prajñāpyate / samādhir asamāhitam upādāya prajñāpyate / prajñāṃ duḥpra-

Kj

無生故。不作是念『我得漏盡神通、除爲薩婆若心』

如是、舍利弗、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、得漏盡神通智證。

如是、舍利弗、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、具足神通波羅蜜、具足神通波羅蜜已、增益阿耨多羅三藐三菩提。

舍利弗、有菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、住檀那波羅蜜、淨薩婆若道。畢竟空、不生慳心故。

舍利弗、有菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、住尸羅波羅蜜、淨薩婆若道。畢竟空、罪・不罪不著故。

舍利弗、有菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、住羼提波羅蜜、淨薩婆若道。畢竟空、不瞋故。

舍利弗、有菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、住毘梨耶波羅蜜、淨薩婆若道。畢竟空、身心精進、不懈怠故。

舍利弗、有菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、住禪那波羅蜜、淨薩婆若道。畢竟空、不亂・不昧故。

舍利弗、有菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、住般若波羅蜜、淨薩婆若道。畢竟空、不生癡心故。

如是、舍利弗、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、住六波羅蜜、淨薩婆若道。畢竟空故、不來・不去故、不施・不受故、非戒・非犯故、非忍・非瞋故、不進・不怠故、不定・不亂故、不智・不愚

(LPG 37r)⁶⁹ Dhr 160c5-c24; Mo 10a17-b5; Kj 229a28-b18; Xz(II) 26a29-c11; Xz(III) 445a16-445b15; PvsP(K) I 102.25-103.23; PvsP(D) 89.13-91.8; AdsP(Tib. U) ka 70a2-71a2; AdsP(Tib.S) 77b3-78b6; AdsP(Tib.Pk) ni 46a8-47a4; AdsP(Tib.D) ka 52b2-53a6; PvsP(Tib.U) ka 94b5-95b7; PvsP(Tib.S) ka 105a4-106a7; PvsP(Tib.Pk) nyi 81b7-82b5; PvsP(Tib.D) ka 80a3-81a2

⁶⁹ ŚsP(Gh) pp. 307-309; ŚsP(Tib.D) ka 187b6-188b6; Xz(I) 49c1-50a25.

(226)

1 {...} jñā[m u]pādāya • [p]ra(jñap)y(ate sa) ti(r)ṇa it(i) na [m]anya(te)
atīrṇa iti na manyate • śilavān iti na manyate • duḥśīla iti na manyate •
kṣāntisaṃpanna iti na manyate • krodha[n]a iti

2 na manyate • ārabdhavīrya iti na manyate • kusīda iti na manyate •
samāhita iti na manyate • asamāhita iti na manyate • prājña iti na manyate •
duṣṭprajña iti na manya-

3 te • ākruṣṭa iti na manyate • vandita iti na manyate • yāvat satkṛta
iti na manyate • asatkṛta iti na manyate • tat kasya hetoḥ na hi
śāradvatīputrānutpāda ākruṣṭo veti

4 manyate • vandito veti manyate • satkṛto veti manyate • asatkṛto
veti manyate • tat kasya hetoḥ tathā hi prajñāpāramitā sarvamanyatā
samucchinnanti • iha śāradvatīputra

5 bodhisatvasya mahāsatvasya prajñāpāramitāyāṃ carato ye guṇā bhavanti
• te sarvaśrāvakaप्रत्येकबुद्धहानाम् na saṃvidyante • sa imān guṇān
paripūrayan satvāṃś ca paripācaya-

6 to buddhakṣetraṃ ca pariśodhayati • sarvākārajñatāṃ cānuprāpnoti • ||
punar aparāṃ śāradvatīputra bodhisatvo mahāsatva prajñāpāramitāyāṃ
caran sarvasatvānām antike sama-

7 cittatām utpādayati • sarvasatvānām antike samacittatām utpādyā
sarvadharmasamatāṃ pratilabhate • sarvadharmasamatāṃ pratilabhya
sarvasatvān sarvadharmasamatāyāṃ

8 pratiṣṭhāpayati • sa dṛṣṭa eva dharme buddhānām bhagavatāṃ pry[o]
bhavati manāś ca • sarvabodhisatvānām ca • sarvaśrāvakānām ca •
sarvapratyekabuddhānām ca priyo bhavati ma-

9 nāpaś ca • sa yatra yatropapadyate • tatra tatra na jātu cakṣuṣā
amanāpāni rūpāni paśyati • na śrotreṇāmanāpāṃc chabdāṃc chṛṇoti⁷⁰ na
ghrāṇeṇāmanāpān gandhāṃ ji{ṃ}ghraṃti •

⁷⁰ śrotreṇāmanāpāṃc chabdāṃc chṛṇoti: PvsP(K): śrotreṇāmanaāpān śabdān śṛṇoti, ŚsP(Gh):
śrotreṇāmanāpān* śabdān* śṛṇoti.

10 na jihvayā manāpān rasān āsvādayati • na kāyenāmanāpān sparśāṃ
 sprśānti || na manasā amanāpān dharmān vijānāti • evaṃ khalu
 śāradvatīputra bodhisatvo mahāsatvaḥ

11 prajñāpāramitāyāṃ caran na parihīyate (')nuttarāyāḥ samyaksaṃbodheḥ
 asmin khalu punaḥ prajñāpāramitānirdeśe nirdiśyamāne trīṇi bhikṣuśatāni
 yathā prāvṛtaś cīvarai-

12 r bhagavantam abhicchādayaṃti sma • anuttarāyai ca samyaksaṃbodhaye
 cittam utpādayanti • || atha khalu bhagavāṃs tasyāṃ velāyāṃ smitaṃ
 prādurakāriṣit* athāyuṣmā-

PvsP(K) I

*jñam upādāya prajñāpyate, sa tīrṇa iti na manyate, na tīrṇa iti na
 manyate, dānaṃ parigraha iti na manyate, śīlaṃ dauḥśīlyam iti na
 manyate, kṣāntiḥ kṣobha iti na manyate, vīryaṃ kauśīdyam iti na manyate,
 samādhir asamāhiteti na manyate, prajñādausprajñam iti na manyate,
 ākruṣṭo 'ham iti na manyate, vandito 'ham iti na manyate, satkṛto 'ham iti
 na manyate, asatkṛto 'ham iti na manyate. tat kasya hetoḥ? na hi śāriputra
 anutpāda ākruṣṭo 'ham iti manyate, vandito 'ham iti manyate, satkṛto
 'ham iti manyate, asatkṛto 'ham iti manyate. tat kasya hetoḥ? tathā hi
 prajñāpāramitā sarvamananāḥ samucchinnati, iha śāriputra bodhisattvasya
 mahāsattvasya prajñāpāramitāyāṃ carato ye guṇā bhavanti na te sarve
 śrāvakaḥ pratyekabuddhānāṃ saṃvidyante, sa imān guṇān paripūrayan
 sattvāṃs ca paripācayati buddhakṣetraṃ ca pariśodhayati sarvākārajñatāṃ
 cānuprāpnoti.*

*punar aparaṃ śāriputra bodhisattvo mahāsattvaḥ prajñāpāramitāyāṃ
 caran sarvasattvānāṃ antike samacittatām utpādayati, sarvasattvānāṃ
 antike samacittatām utpādyā sarvadharmasamatāṃ pratilabhate,
 sarvadharmasamatāṃ pratilabhya sarvasattvān sarvadharmasamatāyāṃ
 pratiṣṭhāpayati, sa drṣṭa eva dharme buddhānāṃ bhagavatāṃ priyo*

(228)

*bhavati manaāpaś ca, sarvabodhisattvānāṃ ca sarvaśrāvakānāṃ
ca pratyekabuddhānāṃ ca priyo bhavati manaāpaś ca, sa yatra
yatropapadyate tatra tatra na jātu cakṣuṣā amanaāpāni rūpāṇi paśyati,
na śrotreṇāmanaāpān śabdān śṛṇoti, na ghrāṇeṇāmanaāpān gandhāṅ
jighrati, na jihvayāmanaāpān rasān āsvādayati, na kāyenāmanaāpān
sparśān spṛśati, na manasāmanaāpān dharmān vijānāti, na ca parihīyate
'nuttarāyāḥ samyaksaṃbodheḥ.*

*asmin khalu punaḥ prajñāpāramitānirdeśe nirdiśyamāne trīṇi
bhikṣuṇīsatāni bhagavantaṃ yathāvṛtaiś cīvarair abhicchādayāmāsur
anuttarāyāṃ samyaksaṃbodhau cittāny utpādayāmāsuḥ. atha khalu
bhagavāṃs tasyāṃ velāyāṃ smitam akarot.*

atha khalv āyuṣmā-

ŚsP(Gh)

*jñatām upādāya prajñapyate / sa tīrṇa iti na manyate / atīrṇa iti na
manyate / sa dātā iti na manyate / adātā iti na manyate / śīlavān iti na
manyate / duḥśīla iti na manyate / kṣāntiṃ sampanna iti na manyate /
krodhana iti na manyate / ārabdhavīrya iti na manyate / kusīda iti na
manyate / samāhita iti na manyate / asamāhita iti na manyate / prājña
iti na manyate / duḥprajña iti na manyate / ākruṣṭa iti na manyate
/ vandita iti na manyate / satkṛta iti na manyate / asatkṛta iti na
manyate / tat kasya hetoḥ / na hi śāradvatīputra anutpāda ākruṣṭo veti
manyate vandito veti manyate / satkṛto veti {Ghosa1913, p. 308} manyate
/ asatkṛto veti manyate / tat kasya hetoḥ / tathā hi prajñāpāramitā
sarvvaṃ anyatāṃ samucchīnatti / iha śāradvatīputra bodhisattvasya
mahāsattvasya prajñāpāramitāyāṃ carato ye guṇā bhavanti / tena
śrāvakaḥ pratyekabuddhānāṃ saṃvidyante / sa imān guṇān paripūrayan
sattvāṃś ca paripārayanti / buddhakṣetraṅ ca pariśodhayanti /
sarvākārajñatāṅ cānuprāpnoti /*

*punar aparaṃ sāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvaḥ prajñāpāramitāyāṃ
 caran sarvvasattvānām antike samacittatām utpādyati /
 sarvasattvānām antike samacittatām utpādyā sarvva dharmmasamatām
 pratilabhate / sa sarvva dharmmasamatām pratilabhya sarvvasattvān
 sarvva dharmmasamatāyāṃ pratiṣṭhāpayati / sa dr̥ṣṭa eva
 dharmme buddhānām bhagavatām priyo bhavati / manāpas ca /
 sarvva bodhisattvānāṃ ca sarvvaśrāvākānāṃ ca pratyekabuddhānāṃ ca priyo
 bhavati / manāpas ca / sa yatra yatropapadyamāna upapadyate tatra tatra
 na jātu cakṣuṣā amanāpāṇi rūpāṇi paśyati / na śrotreṇāmanāpān* śabdān*
 śṛṇoti / na ghrāṇeṇāmanāpān gandhān jighrati / na jihvayāmanāpān rasān
 āsvādayati / na kāyēnāmanāpān sparśān spr̥ṣati / na manasāmanāpān
 dharmmān vijānāti / evaṃ khalu sāradvatīputra bodhisattvo mahāsattvaḥ
 prajñāpāramitāyāṃ caran na parihīyate 'nuttarāyāḥ samyaksambodheḥ /
 asmin khalu punaḥ prajñāpāramitānirdeśe nirdiśyamāne triṇi bhikṣusātāni
 yathāprāvṛtaiś cīvarair bhagavantam abhicchādayanti sma / anuttarāyāṃ
 {Ghosa1913, p. 309} samyaksambodhau cittam utpādayanti sma / atha
 khalu bhagavāṃs tasyāṃ velāyāṃ smitaṃ prādura kārṣit / athāyusmā-*

Kj

故。爾時、菩薩摩訶薩不分別布施・不布施、持戒・犯戒、忍辱・瞋恚、精進・懈怠、定心・亂心、智慧・愚癡、不分別毀害・輕慢・恭敬。何以故。

舍利弗、無生法中無有受毀者、無有受害者、無有受輕慢恭敬者。

舍利弗、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜、得如是諸功德。聲聞・辟支佛所無有得。是功德具足、成就衆生、淨佛國土、得一切種智。

復次、舍利弗、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、一切衆生中生等心。一切衆生中生等心已、得一切諸法等。得一切諸法等已、立一切衆生於諸法等中。是菩薩摩訶薩現世爲十方諸佛所愛念、亦爲一切菩薩・一切聲聞・辟支佛所愛念。是菩薩在所生處、眼終不見不愛色、乃至意不覺不愛法。

如是、舍利弗、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜、不減於阿耨多羅三藐三菩提」

(230)

說是般若波羅蜜品時、三百比丘從座起、以所著衣上佛、發阿耨多羅三藐三菩提心。
佛、爾時、微笑、種種色光從口中出。

爾時、慧命

(LPG 37v)⁷¹ Dhr 160c24-161a14; Mo 10b5-22; Kj 229b19-c8; Xz(II) 26c11-27a12; Xz(III) 445b16-c15; PvsP(K) I 103.23-104.28; PvsP(D) 91.8-93.3; AdsP(Tib.U) ka 71a2-72a4; AdsP(Tib.S) ka 78b6-80a5; AdsP(Tib.Pk) ni 47a4-48a2; AdsP(Tib.D) ka 53a6-54a5; PvsP(Tib.U) ka 95b7-97a4; PvsP(Tib.S) ka 106a7-107b5; PvsP(Tib.Pk) nyi 82b5-83b6; PvsP(Tib.D) ka 81a2-82a2

1 n ānanda utthāyāsanād ekāmsam uttarāsaṃgaṃ kṛtvā dakṣiṇaṃ
jānumaṇḍalaṃ pṛthivyāṃ pratiṣṭhāpya yena bhagavāms tenāṃjaliṃ
praṇamayya⁷² bhagavantam etad avocat* ko bhagavan hetuḥ

2 kaḥ pratyaya smitasyāviṣkaraṇe nāhetu nāpratyayaṃ tathāgatā
arhantaḥ samyaksambuddhā smitam āviṣkurvanti • || evam ukte bhagavān
āyusmantam ānandam etad avocat* etāny ā-

3 nanda trīṇi bhikṣusātāny ekaśaṣṭitame kalpe mahāketunāmānas tathāgatā
arhantaḥ samyaksambuddhā loke u«papa»tsyante • tārakopame kalpe eta itaś
cutāḥ⁷³ akṣobhyasya ta-

4 thāgatasyārghataḥ samyaksambuddhasya buddhakṣetra upapatsyante • ||
śaṣṭiś ca devaputrasahasrāny anayā dharmadeśanayā paripācitāni • tāni
maitreyasya tathāgatasyārha-

5 taḥ samyaksambuddhasyāntike parinirvāsyanti • || atha buddhānubhāvena
tasmin samaye pūrvasyān diśi buddhasahasraṃ tāś catasraḥ pariṣada ito
niṣaṇṇā eva paśyanti sma • yā-

6 vat samantād daśasu dikṣv ekaikasyān diśi buddhasahasraṃ
buddhasahasraṃ paśyanti sma • na ca tā[n] buddhakṣetraguṇavyūhān iha

⁷¹ ŚsP(Gh) pp. 309-310; ŚsP(Tib.D) ka 188b6-189b7; Xz(I) 50a25-c22.

⁷² praṇamayya: PvsP(K), ŚsP(Gh): praṇamya.

⁷³ cutāḥ: PvsP(K): cyutāni, ŚsP(Gh): cyutāḥ.

sahāyāṃ lokadhātau paśyanti sma • yā buddhakṣetragu-
 7 ṇavyūhāṃs teṣāṃ buddhānāṃ bhagavatāṃ teṣu lokadhātuṣu paśyanti sma •
 atha tataḥ parśado daśabhiḥ prāṇisahasrai praṇi»{kṛ}dhānaṃ kṛtaṃ vayaṃ
 tathā kariṣyāmo yena karmaṇā
 8 kṛtenātra buddhakṣetreṣūpapatsyāmahe • atha bhagavāṃs teṣāṃ
 kulaputrāṇāṃ āśayaṃ viditvā smitaṃ prādurakārṣīt* athāyūsmān ānando
 yāvad bhagavantam etad avo-
 9 cat* ko bhagavaṃ hetu kaḥ pratyaya smitasyāviṣkaraṇe nāhetu
 nāpratyayaṃ buddhā bhagavanta smitam āviṣkurvanti sma • || bhagavān
 āha • paśyasi tvam ānandehamāni⁷⁴ daśaprā-
 10 ṇisahasrāṇi āha • paśyāmi bhagavan <•> bhagavān āha • etāny ānanda
 daśa prāṇisahasrāṇitās cutvātra⁷⁵ buddhakṣetreṣūpapatsyante • || na jātu
 virahitā bhavi-
 11 śyanti tathāgatair arhadbhiḥ samyaksambuddhais tataḥ paścād
 vyūharājanāmakās tathāgatā arhantaḥ samyaksambuddhā loke bhaviṣyanti •
 athāyūṣmaṃc chāradvatīputra āyu-
 12 śmāṃś ca maudgalyāyanaḥ [āy](u)ṣ[m]āṃś⁷⁶ [c]a subh[ūt]i[h] [ā]y[u]ṣ-
 [m]āṃś⁷⁷ ca kāśyapaḥ ete cānye ca sambahulā abhijñātābh[i]jñātā bhikṣavo
 bodhisatvās ca mahāsatvā bhikṣubhikṣuṇyu-

PvsP(K) I

*n ānandaḥ samutthāyāsanād ekāṃsam uttarāsaṅgaṃ kṛtvā dakṣiṇaṇ
 jānumaṇḍalaṃ pṛthivyāṃ pratiṣṭhāpya yena bhagavāṃs tenāñjaliṃ
 praṇamya bhagavantam etad avocat: ko bhagavan hetuḥ kaḥ pratyayaḥ
 smitasya prādurbhāvāya, nāhetukaṃ nāpratyayaṃ buddhā bhagavantaḥ
 smitaṃ prāduṣkurvanti?*

⁷⁴ ānandeha (')māni: PvsP(K), ŚsP(Gh): ānandemāni.

⁷⁵ cutvātra: PvsP(K): cyutāni, ŚsP(Gh): cyutvā.

⁷⁶ [āy](u)ṣ[m]āṃś: PvsP(K), ŚsP(Gh): āyūṣmāṃś.

⁷⁷ subh[ūt]i[h] [ā]y[u]ṣ[m]āṃś: PvsP(K), ŚsP(Gh): subhūtir āyūṣmāṃś.

(232)

bhagavān āha: etāny ānanda trīṇi bhikṣuṇīśatāni ekaśaṣṭitame kalpe mahāketunāmānas tathāgatā arhantaḥ samyaksaṃbuddhā loke utpatsyante, tārakopame kalpe itas cyutāni santi akṣobhyasya tathāgatasyārhataḥ samyaksaṃbuddhasya buddhakṣetre upapatsyate, ṣaṣṭiś ca devaputrasahasrāṇi yāni yāny anayā dharmadeśanayā paripācitāni tāni tāni maitreyasya tathāgatasyārhataḥ samyaksaṃbuddhasyāntike parinirvāsyanti.

atha khalu bhagavato 'nubhāvena tasyāṃ velāyāṃ pūrvasyāṃ diśi buddhasahasraṃ paśyanti sma, catasraḥ pariśado bhagavataḥ śākyamuneḥ parśanmaṇḍalād, evaṃ dakṣiṇasyāṃ diśi buddhasahasraṃ paśyanti, paścimāyāṃ diśi buddhasahasraṃ paśyanti, uttarasyāṃ diśi buddhasahasraṃ paśyanti, uttarapūrvasyāṃ diśi buddhasahasraṃ paśyanti, pūrvadakṣiṇasyāṃ diśi buddhasahasraṃ paśyanti, dakṣiṇapaścimāyāṃ diśi buddhasahasraṃ paśyanti, paścimottarasyāṃ diśi buddhasahasraṃ paśyanti, adha ūrdhvam ekaikasyāṃ diśi buddhasahasraṃ paśyanti, mahato buddhakṣetraguṇavyūhāṃ paśyanti, na ceha sahāyāṃ lokadhātau tātān buddhakṣetraguṇavyūhān paśyanti yān daśasu dikṣu teṣāṃ buddhānāṃ bhagavatāṃ buddhakṣetraguṇavyūhān paśyanti sma.

atha khalu bhagavataḥ śākyamuneḥ parśanmaṇḍalād daśabhiḥ prāṇisahasraiḥ praṇidhānāni kṛtāni vayaṃ tāni puṇyāni kariṣyāmo yaiḥ puṇyair eteṣu buddhakṣetreṣūpapatsyāmaha iti.

atha khalu bhagavāṃs teṣāṃ kulaputrāṇāṃ āśayaṃ viditvā tasyāṃ velāyāṃ smitam akarot.

ānanda āha: ko bhagavan hetuḥ kaḥ pratyaḡaḥ smitasya prādurbhāvāya? bhagavān āha: paśyasi tvam ānandemāni daśaprāṇisahasrāṇi.

ānanda āha: paśyāmi bhagavan.

bhagavān āha: etāny ānanda daśaprāṇisahasrāṇi itas cyutāni teṣu daśasu dikṣu buddhakṣetrasahasreṣūpapatsyante, na ca kadācit tathāgatavirahitāni bhaviṣyanti, tataḥ paścād vyūharājanāmānas tathāgatā loke utpatsyante.

*atha khalv āyuṣmān śāriputra āyuṣmāṃś ca mahāmaudgalyāyana
āyuṣmāṃś ca subhūtir āyuṣmāṃś ca mahākāśyapaḥ, ete cānye ca
saṃbahulā abhijñātā abhijñātā bhikṣavo bodhisattvās ca bhikṣubhikṣuṇy u-*

ŚsP(Gh)

*n ānanda utthāyāsanād ekāṃsam uttarāsaṅgaṃ kṛtvā
dakṣiṇajānumaṇḍalaṃ pṛthivyāṃ pratiṣṭhāpya yena bhagavāṃs
tenāñjaliṃ praṇamya bhagavantam etad avocat / ko bhagavan hetuḥ
kaḥ pratyayaḥ smitasyāviṣkaraṇe / nāhetukaṃ nāpratyayaṃ tathāgatā
arhantaḥ samyaksambuddhāḥ smitam āviṣkurvanti / evam ukte
bhagavān āyuṣmantam ānandam etad avocat / etāny ānanda trīṇi
bhikṣuśatāni ekaśaṣṭe kalpe mahāketunāmānas tathāgatā arhantaḥ
samyaksambuddhāḥ loke utpatsyante / tārakopame kalpe ta eta itaś
cyutāḥ samānā akṣobhyasya tathāgatasyārhantaḥ samyaksambuddhasya
buddhakṣetre upapatsyante / ṣaṣṭyā ca devaputra sahasraiḥ kāmāvacarair
anuttarāyāṃ samyaksambodhau cittāny utpādītāni / tāni ca maitreyaṃ
tathāgatam arhantaṃ samyaksambuddham ārāgayiṣyanti / tatraiva
ca brahmacāryaṃ carīṣyanti / sa ca maitreyaḥ tathāgatas tān
vyākariṣyaty anuttarāyāṃ samyaksambodhāu iti / atha buddhānubhāvena
tasmin samaye tās catasraḥ parśada iti niṣannā eva pūrvvasyāṃ diśi
buddhasahasraṃ paśyanti sma / dakṣiṇasyāṃ diśi buddhasahasraṃ
paśyanti sma / paścimāyāṃ diśi buddhasahasraṃ paśyanti sma /
uttarasyān diśi buddhasahasraṃ paśyanti sma / uttarapūrvvasyān diśi
buddhasahasraṃ paśyanti sma / pūrvvadakṣiṇasyān diśi buddhasahasraṃ
paśyanti sma / dakṣiṇapaścimāyān diśi buddhasahasraṃ paśyanti
sma / paścimottarasyān diśi buddhasahasraṃ paśyanti sma / adhastād
diśi buddhasahasraṃ paśyanti sma / upariṣṭād diśi buddhasahasraṃ
paśyanti sma / na ca tān buddhakṣetraguṇavyūhān {Ghosa1913, p. 310}
iha sahāyāṃ lokadhātau paśyanti sma / yān buddhakṣetraguṇavyūhāṃs*

*teṣāṃ buddhānāṃ bhagavatāṃ teṣu lokadhātuṣu paśyanti sma / atha tataḥ
 parśado daśapraṇisahasrāṇi praṇidhānam akārṣuḥ / vayaṃ karma tathā
 kariṣyāmo yena karmaṇā kṛtenātra buddhakṣetreṣūpapatsyāma iti / atha
 bhagavāṃs teṣāṃ kulaputrāṇāṃ āśayaṃ viditvā smitaṃ prādurakārṣit /
 athāyuṣmān ānanda utthāyāsanād ekāṃsam uttarāsaṅgaṃ kṛtvā
 dakṣiṇajānumaṇḍalaṃ pṛthivyāṃ pratiṣṭhāpya yena bhagavāṃs
 tenāñjaliṃ praṇamya bhagavantam etad avocat / ko bhagavan hetuḥ kaḥ
 pratyayaḥ smitasyāviṣkaraṇe / nāhetu nāpratyayaṃ buddhā bhagavantaḥ
 smitam āviṣkurvanti / bhagavān āha / paśyasi tvam ānandemāni daśa
 prāṇisahasrāṇi / āha / paśyāmi bhagavan / bhagavān āha / etāny ānanda
 daśa prāṇisahasrāṇi itas cyutvā tatra buddhakṣetreṣūtpatsyante / na
 ca jātu virahitā bhaviṣyanti tathāgatair arhadbhiḥ samyaksambuddhais
 tataḥ paścād vyūharājanāmānas tathāgatā arhantaḥ samyaksambuddhā
 loke bhaviṣyanti / athāyuṣmān* śāradvatīputra āyuṣmāṃs ca
 mahāmaudgalyāyana āyuṣmāṃs ca subhūtir āyuṣmāṃs ca pūrṇo
 maitrāyaṇīputra āyuṣmāṃs ca mahākāśyapa ete cānye ca saṃbahulā
 abhijñātābhijñātā bhikṣavo bodhisattvās ca mahāsattvā bhikṣubhikṣuṇyu-*

Kj

阿難從座起、整衣服、合掌、右膝著地、白佛言「佛何因緣微笑」

佛告阿難「是三百比丘、從是已後六十一劫當作佛、皆號名大相。是三百比丘捨此身、當生阿閼佛國。及六萬欲天子皆發阿耨多羅三藐三菩提心、於彌勒佛法中出家行佛道」

是時、佛之威神故、此間四部衆見十方面各千佛。是十方國土嚴淨、此娑婆國土所不及。

爾時、十千人作願「我等修淨願行。修淨願行故、當生彼佛世界」

爾時、佛知是善男子深心、而佛微笑、種種光從口中出。阿難整衣服、合掌、白佛「佛何因緣微笑」

佛告阿難「汝見是十千人不」

阿難言「見」

佛言「是十千人於此壽終、當生彼世界、終不離諸佛、後當作佛、皆號莊嚴王佛」

摩訶般若波羅蜜經 歎度品第五

爾時慧命舍利弗・慧命大目犍連・慧命須菩提・慧命摩訶迦葉、如是等諸多知識
比丘、及諸菩薩摩訶薩・諸優

